

設計施工BIMプロセスに欠かせなくなった BIM 360によるBIMモデル連携

前田 哲哉

東洋建設株式会社 建築事業本部 設計部部長

DX（デジタルエクスペリエンス）デザイinguループ長



スピーカーのご紹介

経歴

1989年、日本大学工学研究科博士前期課程終了後、東洋建設株式会社に入社。意匠設計者として従事する傍ら、翌年より導入されたAutoCADを設計ツールとするための整備と開発に従事。

翌1990年3DCADによる設計プロセスの試行を担当する。

導入されたシステムは、INTERGRAPHシステム（InterAct3050、MS32、Project Architect）

1997年、建築CALS総プロ 技術体系分科会（B-CALS200X）プロダクトモデルWGにて「建築プロダクトモデルの枠組みとスキーマの詳細化」について検討するWGに参加。「エскиス段階でのゾーニング計画・動線計画」、「基本設計段階の建築プロダクトモデル」を担当。

1998年IAI日本支部に参加するとともに社内において建築CALS導入に向けて取組みを開始。

2004年、はじめて本格的な3D設計を試行。小規模アリーナの企画提案から基本、実施、工事監理まで一貫して3次元で設計検討を行った。工事監理では設計変更、内外装仕上げ決定などの合意形成にビジュアリゼーションを活用。屋根は膜構造で鉄骨3Dデータを鉄骨Fabと共有。Tekla Structuresに取り込み部材製作に活用。

2012年、国土交通省初の施工BIM試行事業（新宿労働総合庁舎新築工事）にBIMマネージャーとして参加。建築-設備連携におけるIFC変換の可能性を実感。

2014年、社内にBIM整備WGを発足させWGリーダーとして設計施工一貫BIMプロセスの開発と推進を担当。

今年度よりBIM-DPX開発推進プロジェクトリーダーとして設計施工一貫BIMプロセスの開発と推進を担当。

国土交通省による「令和2年度BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業」に応募し、連携事業として採択される。

AutoCAD®
Tekla® Structures
BIM-DPX®

設計施工BIMプロセスに欠かせなくなったBIM 360

BIM 360は、プロジェクト関係者がプロジェクトの
『どの段階からでも参加可能なシームレスなデータ連携と共有』
ができる仕組みを“簡単かつ即座”に構築できる。

BIM360上で展開されるプロジェクトに参加するために特別なソフトウェアは必要ありません。スマートフォン、タブレット端末、PCがあれば、BIMモデルのビューイング、マークアップ、ワークフロー（指摘事項）、データ共有、受け渡しが行える他、現場で撮影した写真をワークフロー（指摘事項）で管理することもできます。
発注者の早期段階からの参加によるBIMモデル共有は、合意形成の進捗と顧客満足を確実に向上させます。

また、BIM 360 Design collaboration , Model Coordination を導入することでコンカレント設計やアクティブ干渉チェックへとプロセス連携の幅が広がります。
モデル変更のたびにモデル統合する必要がなくなり、面倒な統合作業から解放されます。

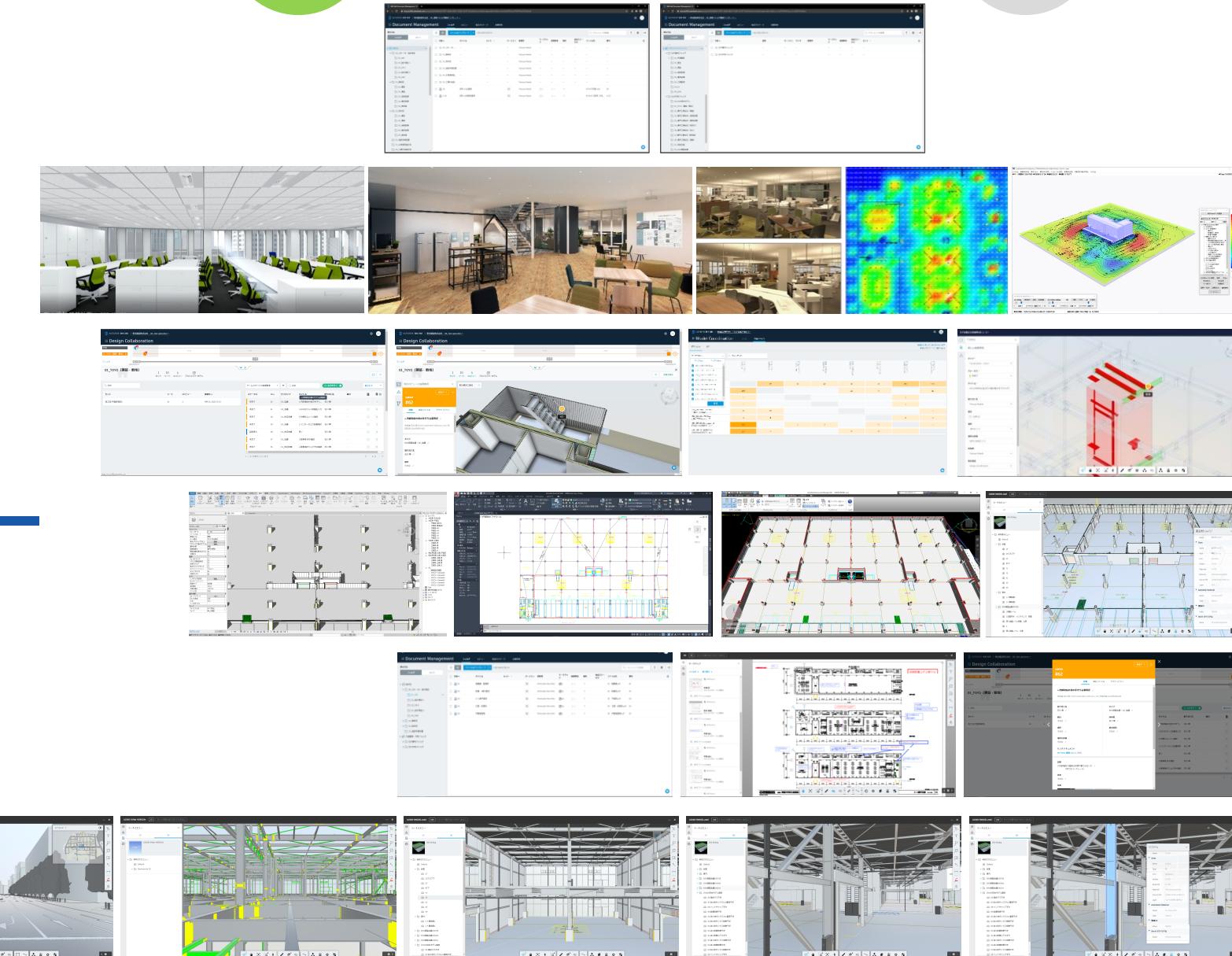
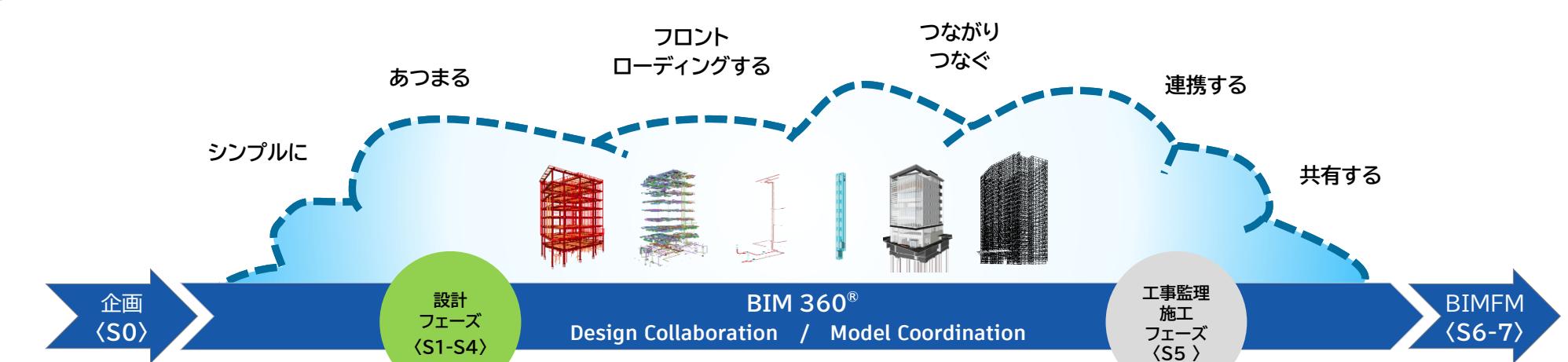
発注者をはじめとする会社の枠を超えたプロジェクト関係者の参加は、設計施工業務プロセスにおける「ニューノーマル」といえるでしょう。
しかしながら既存のプロセスを新しいデジタルプロセスへ根底から置換えるためには、立ちはだかる壁を乗り越えていかなければなりません。
このクラスでは、これまで実践してきた経験を通じ、BIM360でデータをつなげるポイントをご紹介します。

自身のBIMモデルが、「コラボレートしている他の担当者にどのような影響を与えるのか」、お互いが「気持ちよくBIMモデルを共有する」ためのヒントをお伝えします。

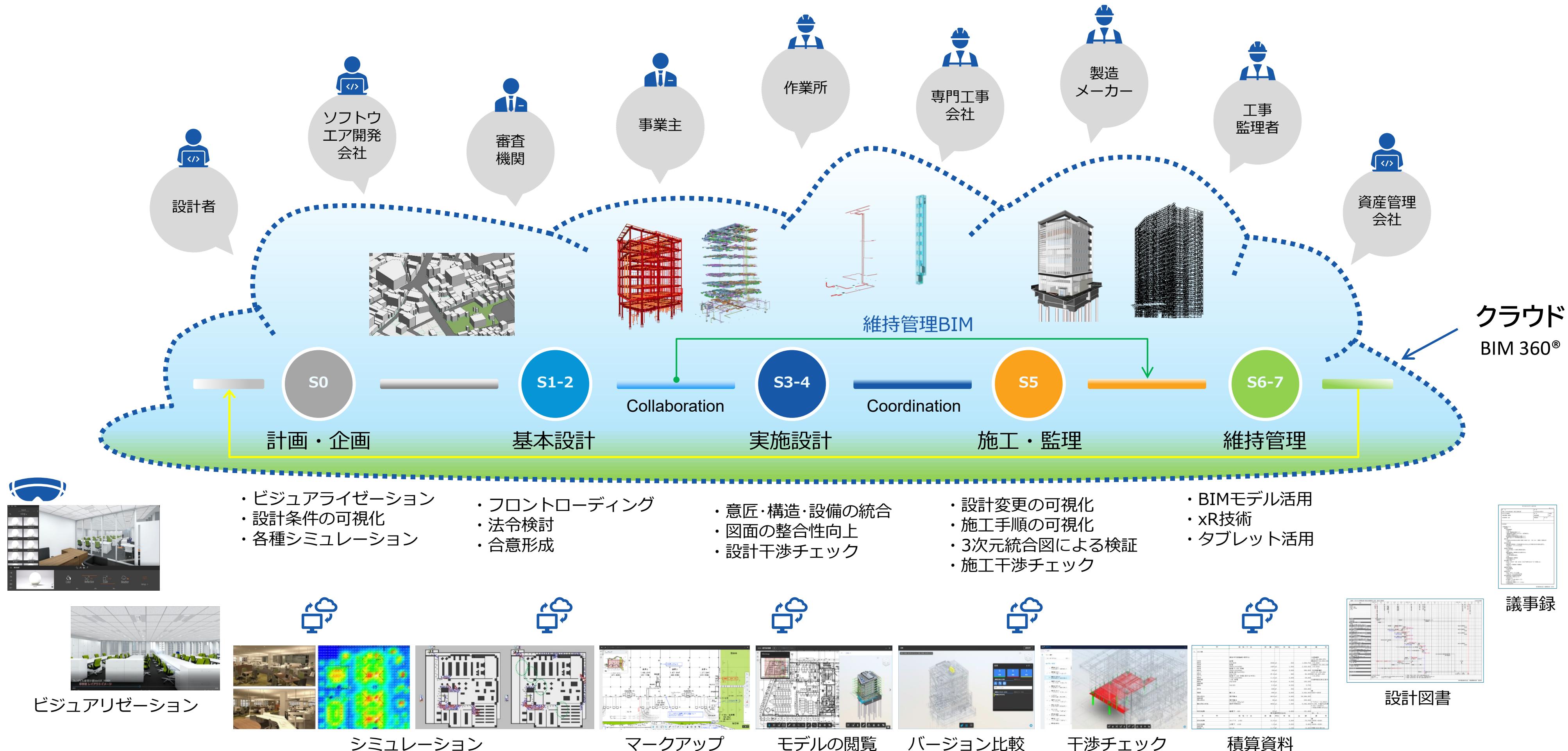
BIM 360を活用する7つのテーマ

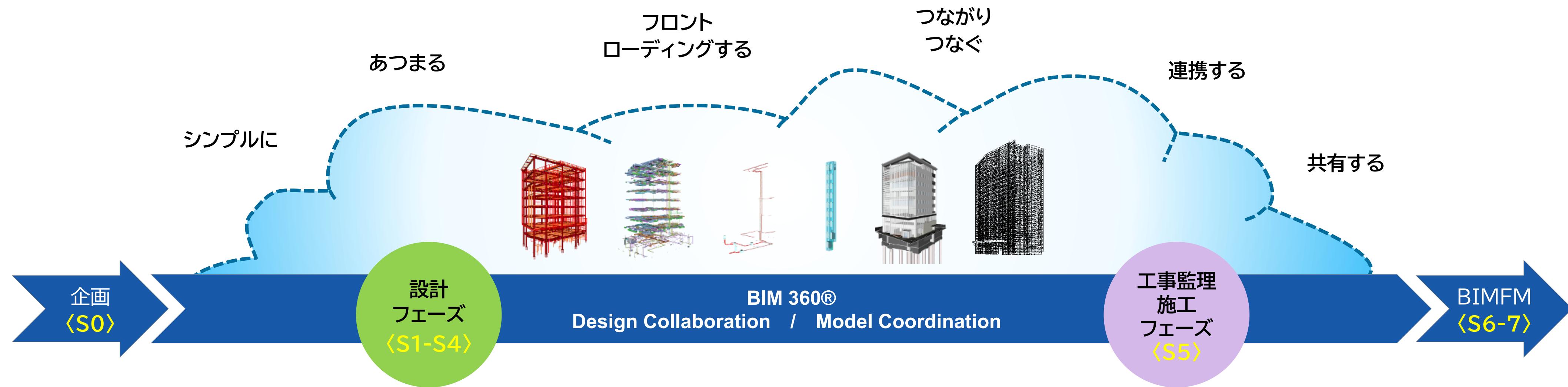
では、BIMモデルデータ連携イメージを共有していきましょう！

1. クラウド プラットフォームとしてのBIM 360
2. BIM 360 を機能的に利用するためのフォルダ構成
3. Revitモデルを中心とした各種ソフトとのBIMデータ連携
4. BIM 360 Design collaboration と Model Coordination
5. Revit、Navisworks、AutoCADでリッチな統合モデル構築
6. マークアップと指摘事項を使ったシンプルなデザインレビュー
7. BIMモデルバーチャル現場巡回を効果的に行うポイント



すべてのプロジェクト関係者がボーダレスにつながる





S0~S7：7つの業務区分（S:ステージ）とは

S0～S7：7つの業務区分（S:ステージ）とは

建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン

（第1版）

令和2年3月
建築BIM推進会議

4. そのほか 留意事項等
4-1. 業務区分（ステージ）の考え方

(形状と情報の詳細度ごとの区分分け)
形状と情報の詳細度の管理が、標準ワークフローの最重要項目の一つであるため、形状と情報の詳細度が変わる段階で、ワークフローを区分し、管理していく方法が有効です。参考として、海外で定められた様々なワークフローでは、日本の従来のワークフローよりも、業務が細かく区分されています。

(7つの業務区分（ステージ）と、従来のワークフローの業務区分との変更点)
下記の7つの業務区分を設定します。

S0：事業計画の検討・立案
S1：条件整理のための建築計画の検討・立案
S2：基本的な機能・性能の設定
S3：機能・性能に基づいた一般図（平面、立面、断面）の確定
S4：工事の的確に行うことが可能な設計図書の作成
S5：施工等、維持管理BIM作成
S6：建築物の性能・仕様の完成確認と引渡し
S7：維持管理・運用

従来のワークフローの業務区分との変更点は、主に下記の7点です。

1) S0、S1企画・基本計画の段階でのBIMの活用を位置づけた
企画、基本計画といった初期段階は非常に重要です。S0企画段階ではBIMを活用する場合、建築物の規模や用途、活用イメージ等の事業の概要を企画立案するとともに、建築物が生み出す価値や効用の大きさを分析の上、事業が成立するか否かも含め事業の予算枠を検討します。その後、S1基本計画段階で、具体化しつつある建築物の計画に対して事業の予算枠や事業成立を確認しつつ、具体的に建築物やその部分の品質、全体の事業スケジュール、建築基準法の規制等の設計と条件等を検討し、事業の予算枠の配分等のコスト計画を立て、更に今後の設計等でのBIMの活用を判断します。

特に、S0企画段階、S1基本計画段階での詳細なコスト計画の検討は、今後の設計等の契約の前提条件となり、また必要な予算をできるだけ正確に見込むためにも非常に重要です。その点、BIMを活用することで、S0企画段階、S1基本計画段階でのコストの検証は更に効率化・精緻化します。現在でも、これらの段階では統計値・類似案件データの活用、積上げ概算等による検証が行われていますが、今後BIMの活用が進み、類似案件データからBIMから得られる情報に対応したコストデータの蓄積と体系化が行われ、これらの段階で飛躍的にコスト計画が精緻化していくことが期待されます。

2) S2：基本設計に構造・設備の基本設計モデルの作成を含めた
従来の設計業務に係る業務報酬基準の基本設計標準業務では、構造と設備に関しては計画概要書、計画説明書までとなっており、具体的な図面を求めていません。しかし意匠計画を固める上では、構造の仮定断面や、設備スペースは基本設計段階で検討されています。基本設計を固める上で根拠となっている構造計画、設備計画は、基本設計段階のBIMモデルに入れておく、というのが考え方です。

4. そのほか 留意事項等
4-1. 業務区分（ステージ）の考え方

3) S3、S4:実施設計の段階を二つに分けた
モデルの形状詳細度と属性情報量に応じて、二つの業務区分に分けています。実施設計前半で、設計内容（3Dモデルの属性情報）は、ほぼ固まります。後半では必要な引き出し線や文字情報等を2Dによる加筆作業、更にはBIM以外の基準図や部分詳細図等（2D）を加えます。

実施設計の段階を二つに分けていますが、S3実施設計前半の終了時に、構造躯体や外部仕上げ等の工事金額が大きい項目等を中心に精度の高い概算工事費を算出して、目標コストの確認を行うことが重要です。S3でBIMの入力内容がより具体化され、各部材等のデータ精度を効率的に上げて集計することが可能となるため、概算工事費の算出が容易となり、建築生産を通じてコスト管理が効率化します。建築生産を通じて、目標コストを定め、建築等に必要な工事費と成果物である建築物が生み出す価値や効用の大きさを比較し、調整しつつ目標を最大化するためのコスト管理を段階的に行なうことは、発注者にとって非常に重要です。S4実施設計後半だけでなく、S3実施設計前半の終了時に適切にコストの確認を行なうことは、基本設計からの設計変更やコスト変動を確認するだけでなく、今後の発注戦略の核となる情報を事前に固めていくことになるので、特に重要です。

また、施工技術コンサルティング業者は、設計者に対して、その専門分野に応じて、必要に応じて提案を行います。

4) S5：施工等、維持管理BIM作成を位置づけた
施工段階では、施工者により、施工計画、施工図・製作図の作成、加工図の検査、施工記録・検査記録、試験記録・検査記録等様々な業務が行われます。施工者は、当該建築物の特徴を鑑みて、詳細形状や具体的仕様、設備機器等の情報を入力し、生産性と品質の向上を目的とした施工BIMを作成・活用し、施工・現場管理等を実施します。

また、維持管理BIM作成者は、維持管理・運用に必要な情報（例：施工段階で決まる設備施工情報、設備機器の品番・耐用年数等）について、施工者が当該情報を確定し、提供された際には、維持管理BIMに入力し、維持管理・運用に必要な維持管理BIMを作成します。

5) S6：引渡しの段階でのBIMモデルの作成を定めた
維持管理BIMを発注者に引き渡す段階を設定しました。この段階では、維持管理BIMを維持管理システムへ連携させることや、建築物の竣工・引き渡し後の工事や備え付けた什器・備品等の情報入力等が考えられます。別途工事、オーナー直発注工事が行われている場合は、その情報との統合も考えられます。

例えば維持管理BIMを維持管理システムへ連携させる場合、その措置だけでなく、活用するソフトウェア等の違いによるデータの変換作業等も想定されることから、この段階をきちんと確保することが必要です。

また、これらの作業については、標準ワークフローには明示しておりませんが、S5の例えは維持管理BIM作成業務の一環として行なう場合もあれば、S7の維持管理業務等で

4. そのほか 留意事項等
4-1. 業務区分（ステージ）の考え方

行う場合もあると考えられます。それぞれの案件の実態に応じて適切に役割分担することが重要です。

なお、今後の維持管理・運用だけでなく、改修等を見据えた場合、竣工時点のBIMとして、維持管理BIMをこの段階で点検データとして保存しておくことが望ましいと考えられます。当該データとしてどのようなものが必要かどうか、関係者間でよく協議する必要があります。

6) S7：維持管理・運用でのBIMの活用を位置づけた
維持管理者は、BIMを活用し、日常的なマネジメント業務（日常清掃、空調・照明等の設備の日常点検等、防災・セキュリティ管理等）での3Dモデル活用や経営の観点への寄与など、効率的な維持管理を行います。

7) その他 設計から施工段階への受渡しのための「施工準備」の確保
業務区分としては分けられませんが、設計から施工段階に適切にデジタル情報を受渡し、施工段階の当初から、スムーズに施工検討等に着手することにより、生産性の向上を図ることが望れます。現状では、施工準備の段階が契約上曖昧になっていることが多く、工事請負契約（元請負契約）の締結後、早期に設備施工者や専門工事施工者が参画できる環境にはなっていません。設備施工者や設備メーカーが早期に関与可能な環境を整えるためにも、適切に受け渡しが行われるよう必要な期間を確保する等留意することが重要です。

ここでは、主に次の5つを行います。

①下請け選定を行う。
②選定時に生じたVE（バリューエンジニアリング）やCD（コストダウン）、質疑回答等のうち設計内容に関する変更を設計者がBIMモデルに反映し、確定したBIMモデルを作成する。
③施工着手前に、施工計画や仮設モデル等を作成する。
④設備施工者や専門工事施工者の施工体制の早期決定を準備する。
⑤BIMモデルの作成意図、データ構成を伝達し、適切に受け渡す

（留意点）
設計業務については、現在の業務報酬基準ではBIMについては対象とされていませんので、標準ワークフローや業務区分については、現在の業務報酬基準にとらわれずに提案しています。
標準ワークフローに基づき、効率化される部分や、業務として明確化したもの等々考えられますが、業務報酬については、今後産業や社会全般でBIMが広く活用された際の実態等を踏まえつつ、前述のとおり今後の検討課題としています。
また、例えば設計変更等、各ステージで定めた事項を遡って変更が生じた場合には、当然ながら当該変更への業務が発生することとなり、契約内容等に応じて適切に契約変更等も行う必要が生じます。その場合、標準ワークフローや業務区分では明示しておりませんが、当該変更時点から各ステージまで遡って変更を行うこととなります。

S0～S7：7つの業務区分（S:ステージ）とは

S0：事業計画の検討・立案

S1：条件整理のための建築計画の検討・立案

S2：基本的な機能・性能の設定

S3：機能・性能に基づいた一般図（平面、立面、断面）の確定

S4：工事を的確に行うことが可能な設計図書の作成

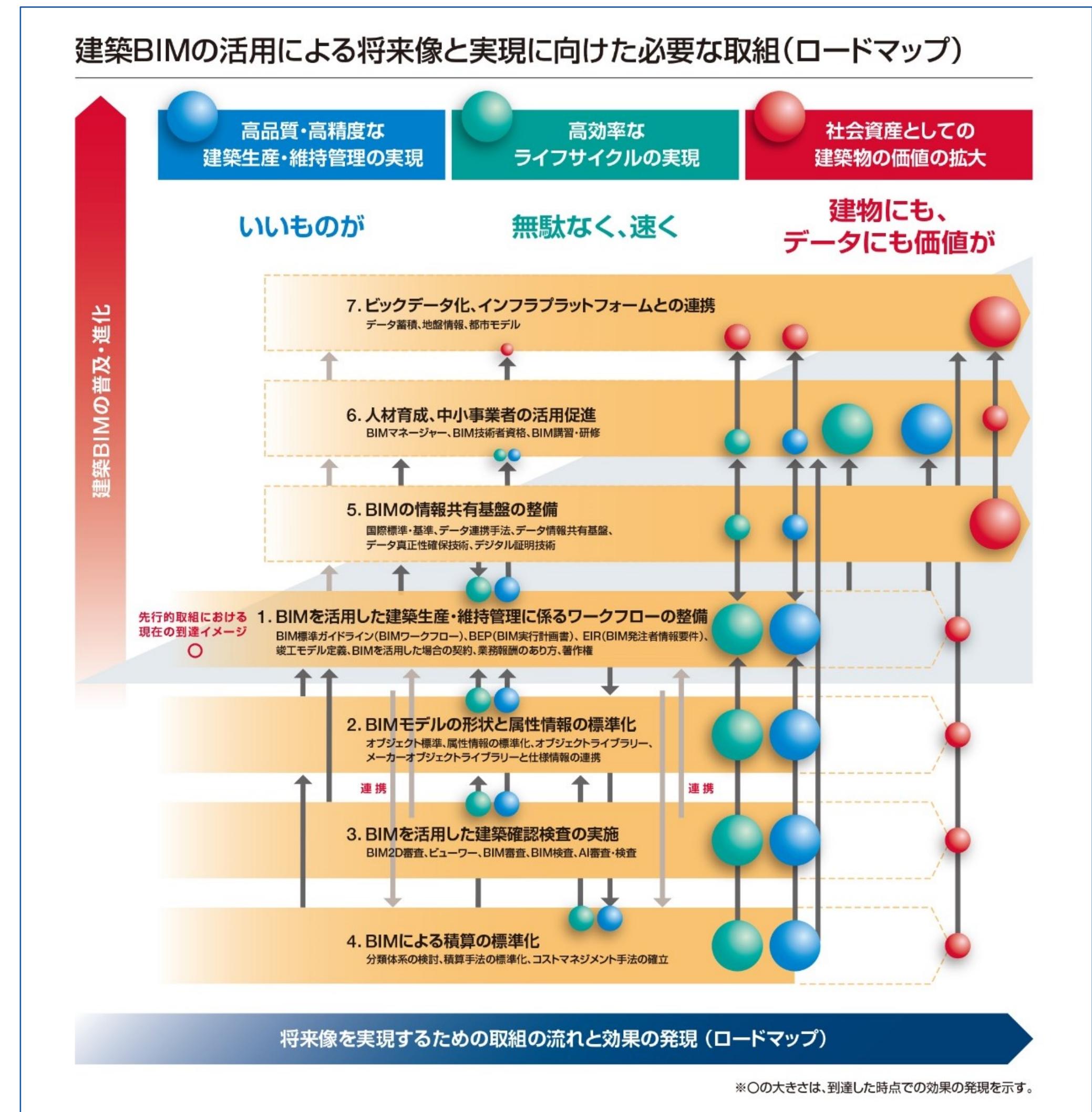
S5：施工等、維持管理BIM作成

S6：建築物の性能・仕様の完成確認と引渡し

S7：維持管理・運用

出典：国土交通省 建築BIM推進会議『建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン（第1版）』、2019、p88～90

建築BIMの将来像と工程表



出典：国土交通省 建築BIM推進会議『建築BIMの将来像と工程表』、2019、p1～3

建築業界で進めるべき 7つの取組とその工程

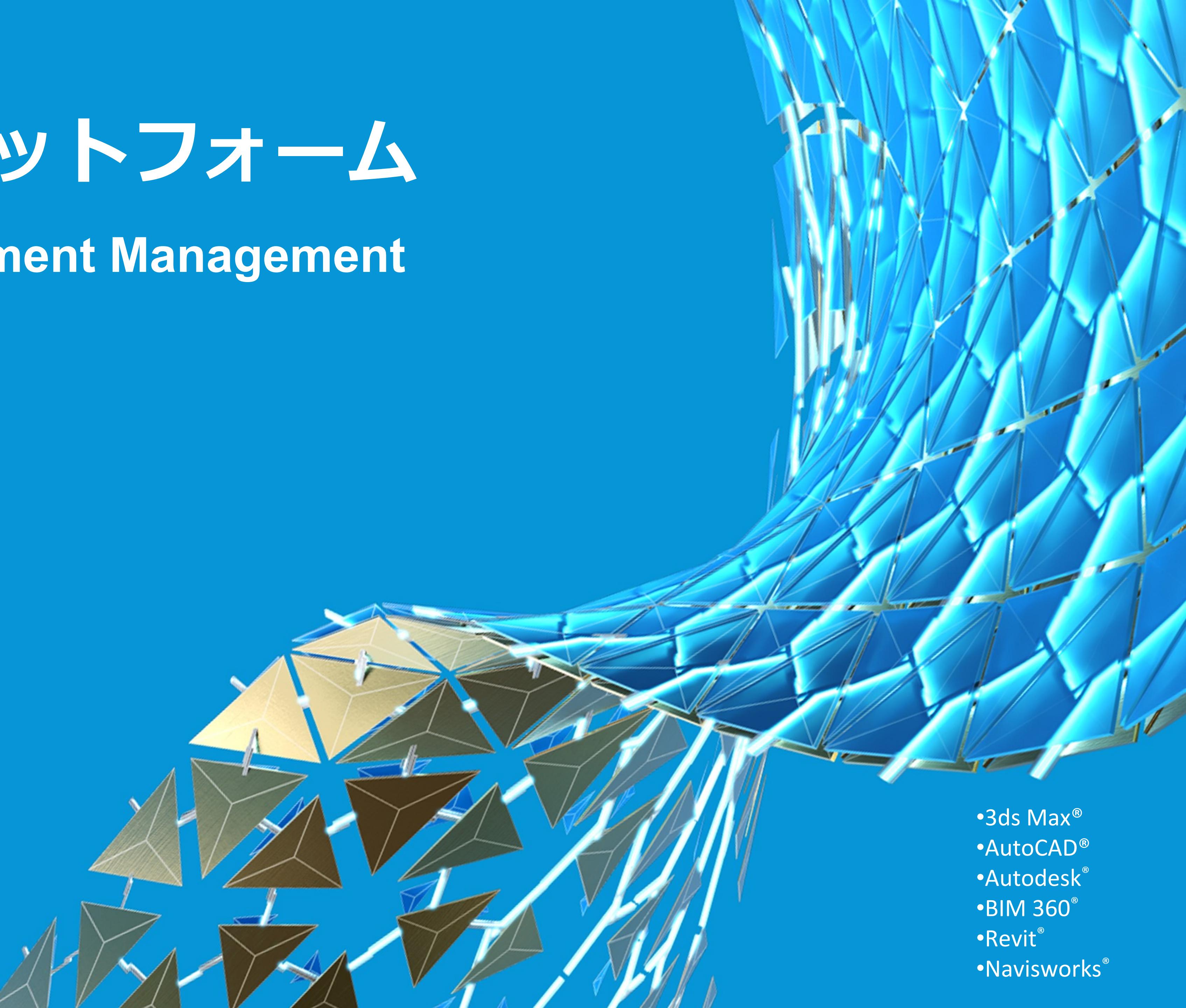
- ①BIMを活用した建築生産維持管理に係るワークフローの整備
- ②BIMモデルの形状と属性情報の標準化
- ③BIMを活用した建築確認検査の実施
- ④BIMによる積算の標準化
- ⑤BIMの情報共有基盤の整備
- ⑥人材育成、中小事業者の活用促進
- ⑦ビッグデータ化、インフラプラットフォームとの連携

クラウド・コンピューティング

BIM 360®

クラウドプラットフォーム

BIM 360® Document Management



- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®

クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

BIM 360 Document Management x +
docs.b360.autodesk.com/

AUTODESK® BIM 360™ | 東洋建設株式会社 AU2020

Document Management

フォルダ レビュー 転送パッケージ 指摘事項

表示方法 フォルダ セット ファイルをアップロード

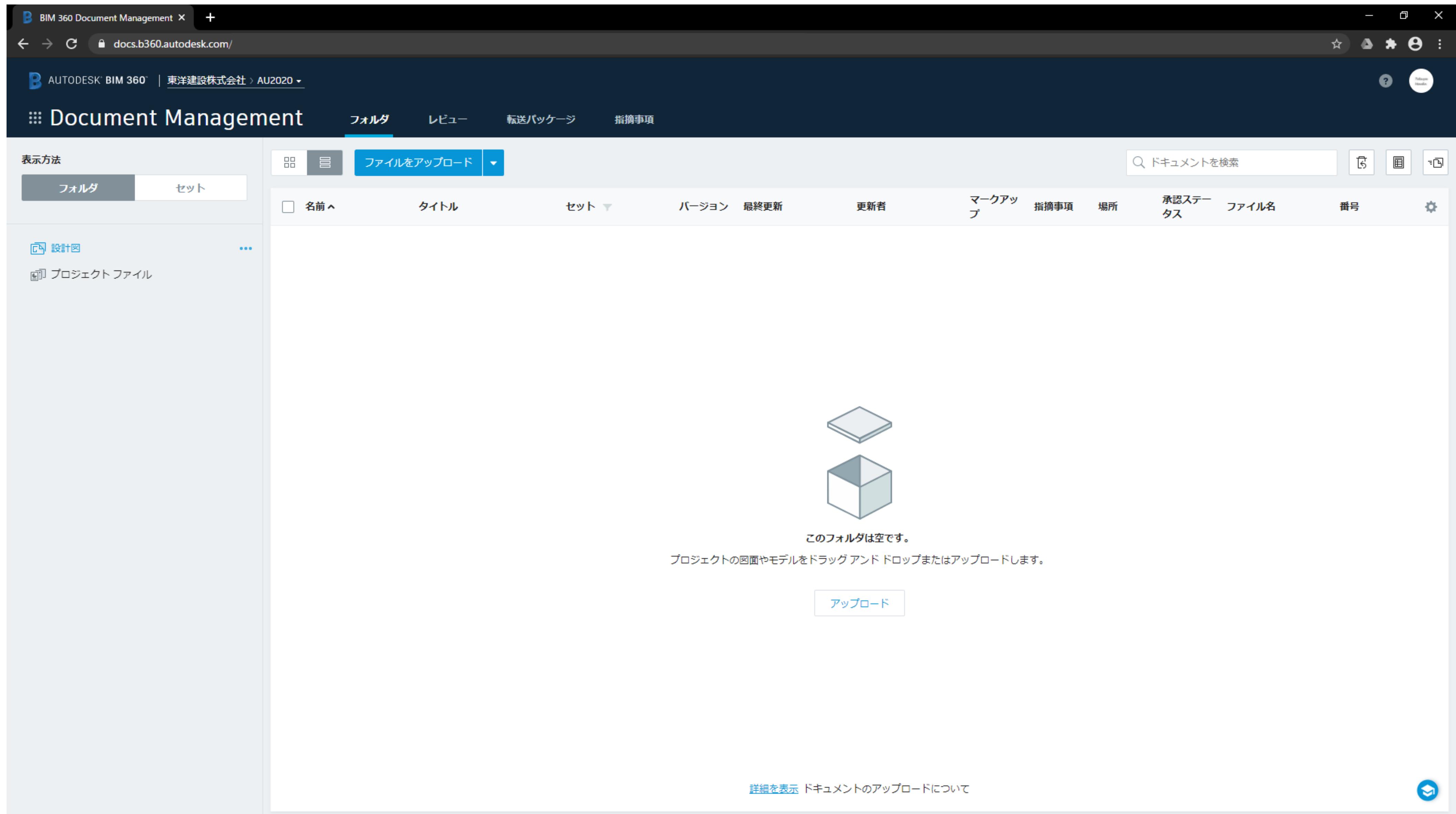
名前 タイトル セット バージョン 最終更新 更新者 マークアップ 指摘事項 場所 承認ステータス ファイル名 番号

設計図 プロジェクトファイル

このフォルダは空です。
プロジェクトの図面やモデルをドラッグ アンド ドロップまたはアップロードします。

アップロード

詳細を表示 ドキュメントのアップロードについて



クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

B BIM 360 Administration X + ← → C 🔒 admin.b360.autodesk.com/admin/a9a34cbe-2c67-4240-81f4-edf6b9b8df8f/projects

B Autodesk BIM 360 | 東洋建設株式会社

Account Admin

プロジェクト メンバー 会社 役割 解析 設定

Account Admin

が一覧表示されます。

Q プロジ

プライバシー | 使用条件
© 2020 Autodesk Inc. All rights reserved.

メンバー	会社
20	4
27	2
8	2

00_BIM-DPX 開発推進プロジェクト

00_BIM-勉強会

クラウド プラットフォーム BIM 360® Document Management

BIM 360 Administration x BIM 360 Document Management x + admin.b360.autodesk.com/ ? Logout

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社

Account Admin プロジェクト

プロジェクト フォルダ
プロジェクト フォルダには、アカウント内のすべてのプロジェクトが表示されます。

追加

84 進行中 プロジェクト | アーカイブ済みを表示

名前 ▲

プロジェクト名 *

プロジェクトのタイプ *

施工タイプ

プロジェクト総額 JPY

契約タイプ

プロジェクト開始日 プロジェクト終了日

プロジェクト ジョブ番号

ビジネス単位

プロジェクト画像 
アップロード画像を選択
JPEG、GIF、PNG、または BMP ファイル
(最大 4 MB)

計画地の住所
所在地 1
所在地 2
市区町村 郵便番号
都道府県
日本

プロジェクトのタイムゾーン

* BIM 360 Field プロジェクト言語

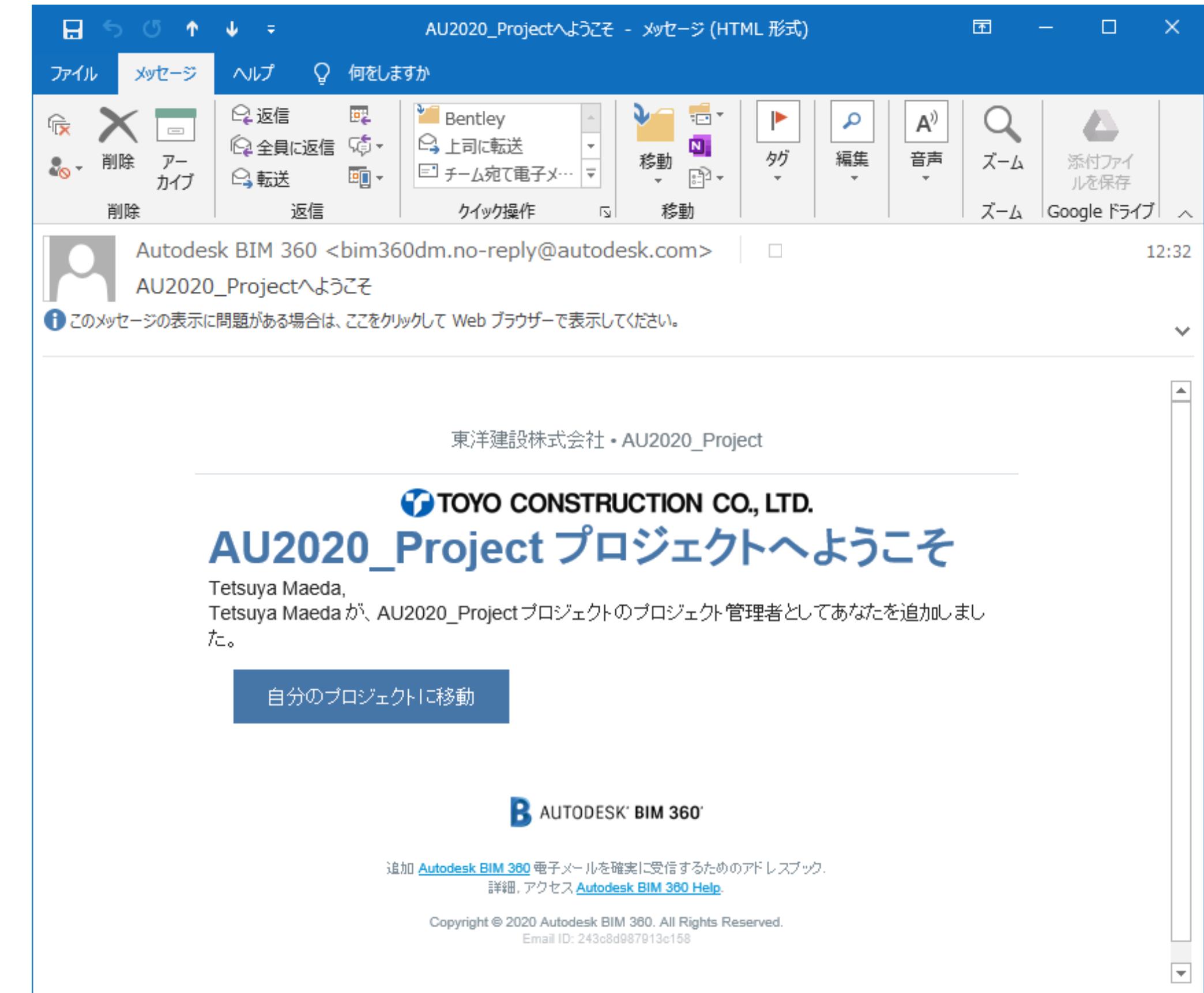
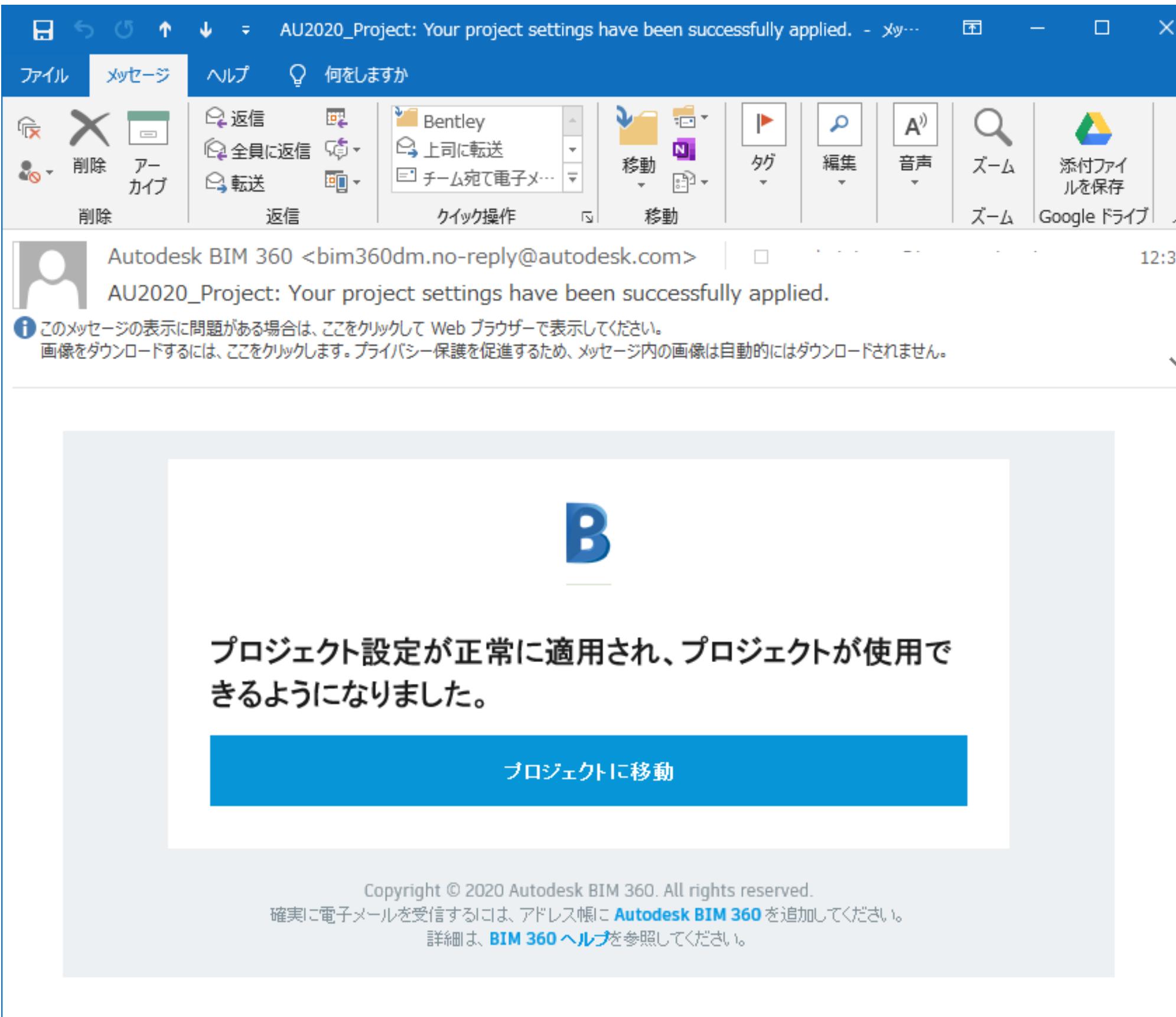
フィルタ
ステータス
アクティブ 71
非アクティブ 13

57 6 アクティブ 2020年10月9日 Feedback

72 14 アクティブ 2020年10月9日

© TOYO CONSTRUCTION CO., LTD. All rights reserved

クラウド プラットフォーム BIM 360® Document Management



クラウド プラットフォーム BIM 360® Document Management

BIM 360 Insight x +

← → C insight.b360.autodesk.com/ ☆ ? Logout

AUTODESK® BIM 360™ | 東洋建設株式会社 > AU2020

Project Home

東洋建設株式会社
AU2020

プロジェクト期間: 火 9月 01 2020 - 木 12月 31 2020

TOYO CONSTRUCTION CO., LTD.

カスタマイズ

計画地の住所

神田神保町1-105
千代田区, 13 101-0051

気象

22° 墓り

日 23°
月 24°
火 26°
水 22°

動力源 暗い空

プロジェクトの設計指摘事項 ▾

設計指摘事項はありません
ドキュメント Management に移動

プロジェクトの指摘事項 ▾

指摘事項なし
指摘事項に移動

クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

The screenshot shows the BIM 360 Document Management Project Home interface. On the left, there's a navigation sidebar with icons for Project Home, Insight, Document Management, Project Admin (which is selected and highlighted with a dashed orange border), Account Admin, Privacy / Terms, and Copyright information. Below this is a map showing a location in Tokyo, Japan. In the center, there's a weather forecast for Tokyo with a current temperature of 22°C and a cloudy icon. Below the weather is a four-day forecast: Sunday (23°C, rainy), Monday (24°C, rainy), Tuesday (26°C, sunny), and Wednesday (22°C, sunny). At the bottom of the weather section, it says "動力源 暗い空". To the right of the weather is a section titled "プロジェクトの設計指摘事項" which states "設計指摘事項はありません" and "ドキュメント Management に移動". At the very bottom of the page, there's a URL bar showing the full URL of the page.

<https://admin.b360.autodesk.com/admin/a9a34cbe-2c67-4240-81f4-edf6b9b8df8f/projects/4d295b6a-9326-4501-b090-3d3c2e55de49/members>

クラウド プラットフォーム BIM 360® Document Management

The screenshot shows the BIM 360 Document Management Project Admin interface. The top navigation bar includes tabs for 'BIM 360 Administration' and 'BIM 360 Document Management'. The URL in the address bar is 'admin.b360.autodesk.com'. The main header displays 'AUTODESK BIM 360' and '東洋建設株式会社 AU2020'. The left sidebar has a 'Project Admin' section with 'メンバー' selected. The main content area is titled 'プロジェクトメンバー' and contains a table with two rows. The columns are '名前' (Name), 'ステータス' (Status), '電子メール' (Email), '会社' (Company), '役割' (Role), and 'Project Admin' (with a gear icon). The first row shows a user with a blurred name and status, while the second row shows a user with a blurred name and status, labeled 'アクティブ' (Active). The right sidebar features a 'フィルタ' (Filter) panel with sections for 'サービス' (Services) and 'Document Management' (1 item). A 'Feedback' button is located at the bottom right.

名前	ステータス	電子メール	会社	役割	Project Admin
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	アクティブ	[Redacted]

フィルタ

サービス

Document Management 1

Insight 1

Feedback

クラウド プラットフォーム BIM 360® Document Management

The screenshot shows the BIM 360 Document Management interface. At the top, there are two tabs: 'BIM 360 Administration' and 'BIM 360 Document Management'. The URL in the address bar is 'admin.b360.autodesk.com'. The main navigation bar includes 'Project Admin', 'メンバー', '会社' (highlighted with a yellow box), 'サービス', and 'プロファイル'. A help icon and a profile picture are also present.

プロジェクトの会社

プロジェクトの会社は、プロジェクトメンバーが属する企業の完全なリストです。新しい会社のメンバーがプロジェクトに追加されると、新しい会社が表示されます。

会社数: 1、メンバー数: 1

会社	メンバー
TOYO CONSTRUCTION CO.,LTD. TOYO CONSTRUCTION CO.,LTD.	0 メンバー

Feedback

クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

The screenshot shows the BIM 360 Document Management interface. At the top, there are two tabs: "BIM 360 Administration" and "BIM 360 Document Management". The URL in the address bar is "admininv2.b360.autodesk.com". The main header includes the Autodesk BIM 360 logo, the company name "東洋建設株式会社", and the project name "AU2020". The navigation bar features "Project Admin", "メンバー", "会社", "サービス" (which is highlighted with a yellow dashed box), and "プロファイル". On the left, a sidebar lists "概要", "指摘事項", "通知", and "Document Management". The "Document Management" section is expanded, showing its sub-components: "Document Management" (active, shown in green), "Model Coordination", "Design Collaboration", "Insight", and "BIM 360 Glue". Each component has an "Activate" button below it.

クラウド プラットフォーム BIM 360® Document Management

The screenshot shows the Autodesk BIM 360 Document Management Project Admin interface. The top navigation bar includes tabs for 'Project Admin' (selected), 'メンバー', '会社', and 'サービス'. The 'サービス' tab is highlighted with a yellow box. The main content area is titled 'Document Management' and displays a table of users and their permissions.

名前	タイプ	権限レベル
Tetsuya Maeda (管理者)	ユーザー	全ての操作
BIM Manager	役割	作成 削除
Civil Engineer	役割	作成 削除
Electrical Engineer	役割	作成 削除
Fire Safety Engineer	役割	作成 削除
Foreman	役割	作成 削除
HVAC Engineer	役割	作成 削除
Interior Designer	役割	作成 削除
Mechanical Engineer	役割	作成 削除
Plumbing Engineer	役割	作成 削除
Quality Manager	役割	全ての操作 削除
Quantity Surveyor	役割	全ての操作 削除

On the left sidebar, under 'Document Management', the '指摘事項' tab is selected and highlighted with a yellow box. Other tabs include '概要', '通知', and '位置'.

クラウド プラットフォーム BIM 360® Document Management

BIM 360 Administration x BIM 360 Document Management x +

admin.b360.autodesk.com

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社 AU2020

Project Admin メンバー 会社 サービス プロファイル

編集

AU2020 /

● アクティブ

プロジェクトのタイプ
オフィス

施工タイプ
新築

プロジェクト総額
0 JPY

契約タイプ
設計・施工一括方式(DB)

プロジェクトの期間
2020年9月1日 -> 2020年12月31日

プロジェクトジョブ番号
AU2020

計画地の住所
神田神保町1-105

千代田区
東京都
日本
101-0051

プロジェクトのタイムゾーン
(GMT+09:00) 東京/大阪/札幌

ビジネス単位
WG

BIM 360 Field プロジェクト言語
英語

Feedback

クラウドプラットフォーム BIM 360® Document Management

The screenshot shows the BIM 360 Document Management interface. At the top, there are tabs for "BIM 360 Administration" and "BIM 360 Document Management". The URL in the address bar is "admin.b360.autodesk.com". The main header includes the Autodesk BIM 360 logo, the company name "東洋建設株式会社", the project name "AU2020", and a "Project Admin" button.

The navigation bar at the top has tabs for "Project Admin", "メンバー", "会社", "サービス", and "プロファイル". The "プロファイル" tab is currently selected, indicated by a blue underline.

The left sidebar contains links for "Project Home", "Insight", "Document Management" (which is highlighted with a yellow box), and "Account Admin". Below the sidebar, there are links for "Privacy | Usage Terms" and copyright information: "© 2020 Autodesk Inc. All rights reserved."

The main content area displays the "Project Admin" profile. It includes fields for:

- 計画地の住所: 神田神保町1-105
- 千代田区
- 東京都
- 日本
- 101-0051
- プロジェクトのタイムゾーン: (GMT+09:00) 東京/大阪/札幌
- ビジネス単位: WG
- BIM 360 Field プロジェクト言語: 英語

At the bottom right, there is a "Feedback" button. The footer contains the URL "https://docs.b360.autodesk.com/projects/4d295b6a-9326-4501-b090-3d3c2e55de49" and the text "AU2020 | Slide number 24".

クラウド プラットフォーム BIM 360® Document Management

BIM 360 Administration x BIM 360 Document Management x + admin.b360.autodesk.com/ ? Logout

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社

Account Admin プロジェクト メンバー 会社 役割 解析 設定 アプリ

プロジェクト フォルダ
プロジェクト フォルダには、アカウント内のすべてのプロジェクトが一覧表示されます。

追加 検索

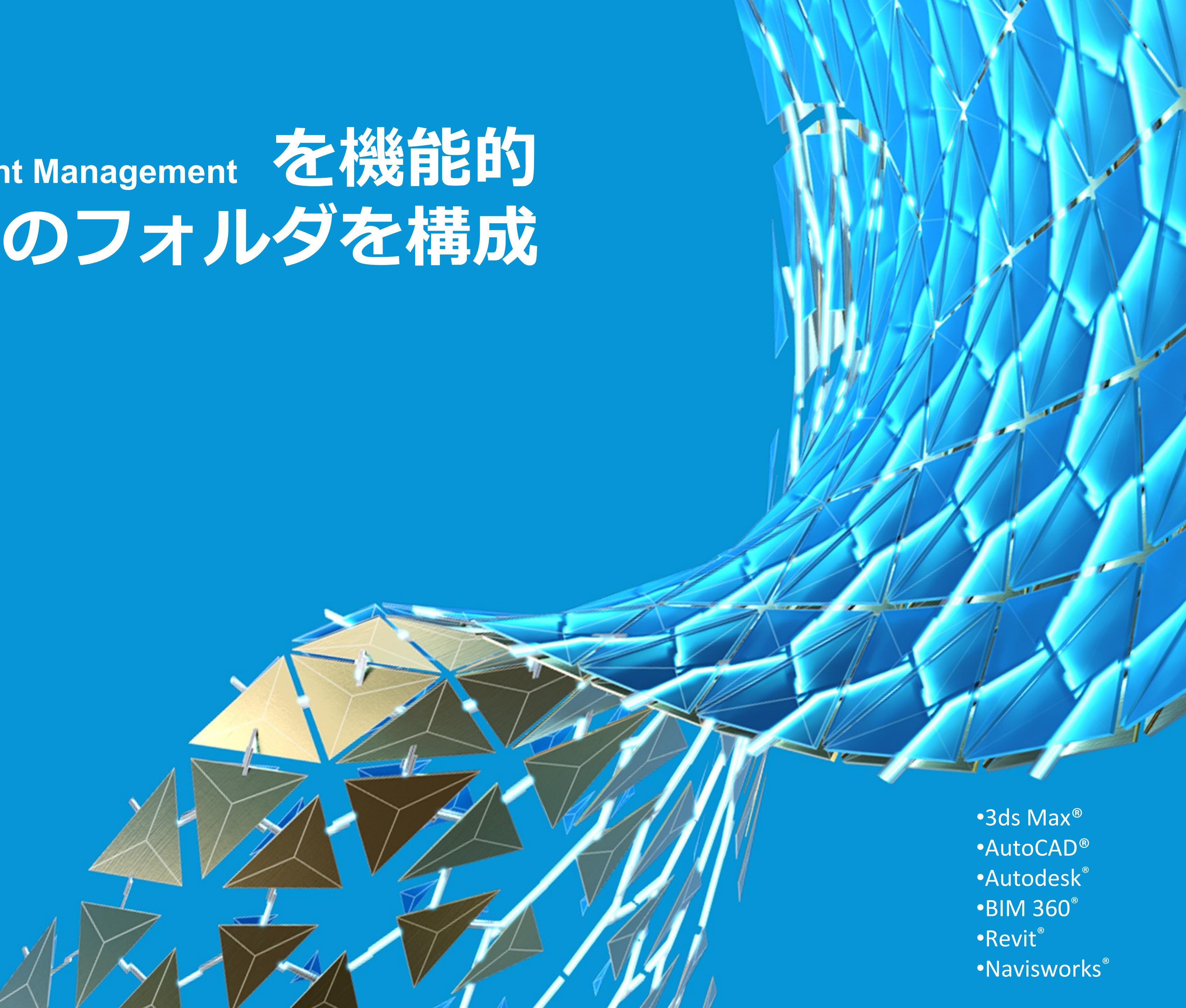
84 進行中 プロジェクト | アーカイブ済みを表示

名前	メンバー	会社	ステータス	前回サインイン
[プロジェクトアイコン]	7	4	アクティブ	2020年7月7日
[プロジェクトアイコン]	53	7	アクティブ	2020年10月9日
[プロジェクトアイコン]	21	6	アクティブ	2020年10月1日
[プロジェクトアイコン]	9	7	非アクティブ	2020年8月6日
[プロジェクトアイコン]	14	5	非アクティブ	2019年12月4日
[プロジェクトアイコン]	21	5	アクティブ	2020年10月9日
[プロジェクトアイコン]	14	8	非アクティブ	2020年3月4日
[プロジェクトアイコン]	14	2	アクティブ	2020年10月8日
[プロジェクトアイコン]	27	6	アクティブ	2020年10月9日
[プロジェクトアイコン]	48	4	アクティブ	2020年10月9日
[プロジェクトアイコン]	48	2	アクティブ	2020年10月5日
[プロジェクトアイコン]	44	2	非アクティブ	2020年7月7日
[プロジェクトアイコン]	51	4	アクティブ	2020年10月8日
[プロジェクトアイコン]	57	5	アクティブ	2020年10月6日
[プロジェクトアイコン]	57	6	アクティブ	2020年10月9日
[プロジェクトアイコン]	72	14	アクティブ	2020年10月9日

フィルタ
ステータス
アクティブ 71
非アクティブ 13

Feedback

BIM 360[®] Document Management を機能的 に利用するためのフォルダを構成



- 3ds Max[®]
- AutoCAD[®]
- Autodesk[®]
- BIM 360[®]
- Revit[®]
- Navisworks[®]

プロジェクト登録時のフォルダ構成

BIM 360 Document Management X +

docs.b360.autodesk.com/

AUTODESK® BIM 360™ | 東洋建設株式会社 AU2020

Document Management フォルダ レビュー 転送パッケージ 指摘事項

表示方法 フォルダ セット ファイルをアップロード

ドキュメントを検索

名前 ヘ タイトル セット バージョン 最終更新 更新者 マークアップ 指摘事項 場所 承認ステータス ファイル名 番号

設計図 プロジェクトファイル

このフォルダは空です。

プロジェクトの図面やモデルをドラッグ アンド ドロップまたはアップロードします。

アップロード

詳細を表示 ドキュメントのアップロードについて

?

Logout

The screenshot shows the Autodesk BIM 360 Document Management interface. At the top, there's a header bar with the title 'BIM 360 Document Management' and the URL 'docs.b360.autodesk.com/'. Below the header is a dark blue navigation bar with tabs for 'Document Management', 'Folder' (which is selected), 'Review', 'Delivery Package', and 'Task'. On the left, there's a sidebar with a 'Display Method' section containing 'Folder' and 'Set' buttons, and a file upload button labeled 'Upload file'. Below this is a list of files: 'Design drawing' and 'Project file'. The main area is titled 'This folder is empty.' and contains a message: 'Drag and drop or upload your project drawings and models here.' A large 'Upload' button is centered below the message. At the bottom, there's a link 'View details' and another link 'About document upload'. The bottom right corner has a user profile icon.

標準フォルダ構成をテンプレート化

The screenshot shows the Autodesk BIM 360 Document Management interface. The left sidebar displays a hierarchical folder structure under '設計図' (Design) and 'プロジェクトファイル' (Project Files). The main area shows a list of 8 items, all created by 'Tetsuya Maeda'. The columns include Name, Title, Set, Version, Updater, Markups, Annotations, Location, Status, File Name, and Reference Number. A search bar and filter options are visible at the top right.

名前	タイトル	セット	バージョン	更新者	マークアップ	指摘事項	場所	承認ステータス	ファイル名	番号
00_IDR・DR・設計検証	--	--	--	Tetsuya Maeda	--	--	--	--	--	--
01_最新図	--	--	--	Tetsuya Maeda	--	--	--	--	--	--
02_契約図	--	--	--	Tetsuya Maeda	--	--	--	--	--	--
03_確認申請図書	--	--	--	Tetsuya Maeda	--	--	--	--	--	--
04_本見積時設計図	--	--	--	Tetsuya Maeda	--	--	--	--	--	--
05_工事引継設計図	--	--	--	Tetsuya Maeda	--	--	--	--	--	--
00	図枠_A3企画用	V1	Tetsuya Maeda	0	0	0	AF3A07共通T.pdf	00		
A-00	図枠_A1実施図面用	V1	Tetsuya Maeda	0	0	0	AF1A09【図枠】本社... A-00			

標準フォルダ構成をテンプレート化

BIM 360 Document Management X +
docs.b360.autodesk.com/projects/463e8b64-0707-4d4d-8654-13b87cd1471e/folders/urn:adsk.wipprod:fs.folder:co.knHaU5YbT

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社 > 00_標準フォルダ構成テンプレート

Document Management フォルダ レビュー 転送パッケージ 指摘事項

表示方法 フォルダ セット ファイルをアップロード 8 個の項目を表示中

名前 タイトル セット バージョン

- 00_IDR・DR・設計検証
- 01_最新図
- 02_契約図
- 03_確認申請図書
- 04_本見積時設計図
- 05_工事引継設計図
- 00 図枠_A3企画用 V1
- A-00 図枠_A1実施図面用 V1

設計図
00_IDR
02_設計検証-1
03_DR-2
04_設計検証-2
05_DR3
01_最新図
01_建築
02_構造
03_機械設備
04_電気設備
05_昇降機
02_契約図
01_建築
02_構造
03_機械設備
04_電気設備
05_昇降機
03_確認申請図書
04_本見積時設計図
05_工事引継設計図

BIM 360 Document Management X +
docs.b360.autodesk.com/projects/463e8b64-0707-4d4d-8654-13b87cd1471e/folders/urn:adsk.wipprod:fs.folder:co.33zPWDD6

AUTODESK BIM 360 | 東洋建設株式会社 > 00_標準フォルダ構成テンプレート

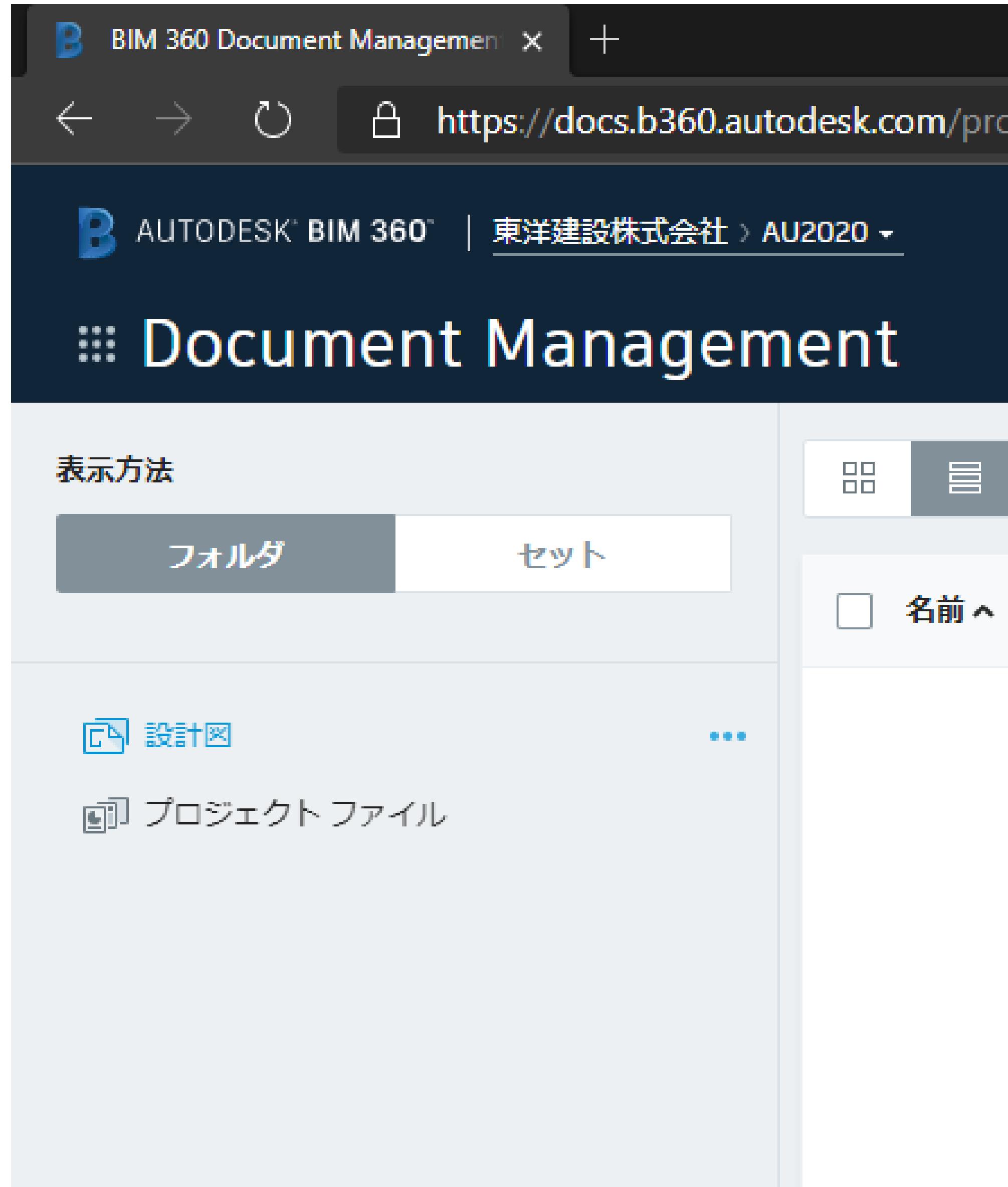
Document Management フォルダ レビュー 転送パッケージ 指摘事項

表示方法 フォルダ セット ファイルをアップロード 2 個の項目を表示中

名前 説明 バージョン

- プロジェクトファイル
社内専用フォルダ
01_共通書類
02_意匠
03_構造
04_機械設備
05_電気設備
06_工事監理
07_CG
08_BIM
- 社外共有フォルダ
00_BIM統合モデル
01_TOYO (建築・敷地)
02_専門工事会社 (構造)
03_専門工事会社 (機械設備)
04_専門工事会社 (電気設備)
05_専門工事会社 (給排水)
06_専門工事会社 (消火)
07_専門工事会社 (昇降機)
08_専門工事会社 (建具)
20_仮設計図
30_BIM調整会議

設計図とプロジェクトファイル



設計図

2D および 3D 形式の両方で最新の設計図書
ダウンロード、レビュー、パブリッシュ（公開）
確認申請図書、契約図面などを管理
(図面として印刷、製本用図面データなど)

プロジェクト ファイル

設計データや他のすべてのドキュメント タイプなど、
あらゆるプロジェクト ドキュメント
Revitモデルの共有、コラボレーション、コーディネー
ション（干渉チェック）など

(写真、報告書、工程表、予算、要件文書など)

保存できるファイル形式

The screenshot shows the BIM 360 Document Management interface. At the top, there's a header bar with the Autodesk logo, the text 'BIM 360 Document Management', and a search bar with the URL 'https://docs.b360.autodesk.com/pro'. Below the header, the main title 'Document Management' is displayed. On the left, there's a sidebar with '表示方法' (Display Method) and two tabs: 'フォルダ' (Folder) and 'セット' (Set). The 'フォルダ' tab is selected. In the center, there are two sections: '設計図' (Design Drawing) and 'プロジェクトファイル' (Project File). To the right, there are filter buttons for '名前' (Name) and '名前 ^' (Name ^), and a sorting button labeled '名前 ^'.

[設計図] フォルダ

PDF、DWF、RVT、IFC、DWG

詳細：「[ファイルサポートリファレンス](#)」を参照

[プロジェクトファイル] フォルダ

無償アカウント: PDF、DWF、RVT、IFC、DWG、NWC、NWD

サブスクリプション: 任意の種類のファイル

詳細：「[ファイルサポートリファレンス](#)」を参照
Microsoft® Office 365 サブスクリプション

Office365	表示専用形式	サイズ制限を表示	推奨される共同作成形式	編集形式	サイズ制限を編集
Word	doc、dot、dotm、dotx、rtf	Microsoft と Autodesk のサーバ間で 60 秒以内に転送する必要があります	docx	docm、odt	400MB
Excel	csv、xls	5MB	xlsx	ods、xlsb、xlsm	5MB
PowerPoint	pot、potm、potx、pps、ppsm、ppt、pptm	Microsoft と Autodesk のサーバ間で 60 秒以内に転送する必要があります	pptx	odp、ppsx	300MB
Visio	vsdx、vsd、および vsdm		編集はサポートされていません	編集はサポートされていません	編集はサポートされていません

PDFビューアとフォロー

AUTODESK® BIM 360™ | 東洋建設株式会社 AU2020_Project

Document Management

表示方法 フォルダ レビュー

フォルダ セット

名前 ▾

設計図
00_IDR・DR・設計検証
01_最新図
02_契約図
03_確認申請図書
04_本見積時設計図
05_工事引継設計図

プロジェクトファイル
AU2020
Shared
社内専用フォルダ

社外共有フォルダ
00_BIM統合モデル
01_TOYO (建築・敷地)
02_専門工事会社 (構造)
03_専門工事会社 (機械設備)
04_専門工事会社 (電気設備)
05_専門工事会社 (給排水)
06_専門工事会社 (消火)
07_専門工事会社 (昇降機)
08_専門工事会社 (建具)

...
09_BIM施工図

+ サブフォルダを追加
名前変更
アップロード
共有
属性を追加
フォルダを移動
並べ替え基準
削除
権限
PDFビューア
フォロー
レビュー用に提出
転送パッケージを作成

AUTODESK® BIM 360™ | 東洋建設株式会社 AU2020_Project

Document Management

表示方法 フォルダ レビュー 転送パッケージ 指摘事項

フォルダ セット

← フォルダ設定

PDFビューア

保存

デフォルトの PDF ビューアを選択します。

ブラウザ
ブラウザ ビューでは、マークアップ、指摘事項、情報提供依頼、ハイパーリンクは使用できません。ここで選択した設定は、モバイルアプリのエクスポート時に適用されます。

BIM ビューア(デフォルト)

すべてのサブフォルダに適用

設計図
00_IDR・DR・設計検証
01_最新図
02_契約図
03_確認申請図書
04_本見積時設計図
05_工事引継設計図

プロジェクトファイル
AU2020
Shared
社内専用フォルダ

社外共有フォルダ
00_BIM統合モデル
01_TOYO (建築・敷地)
02_専門工事会社 (構造)
03_専門工事会社 (機械設備)
04_専門工事会社 (電気設備)
05_専門工事会社 (給排水)
06_専門工事会社 (消火)
07_専門工事会社 (昇降機)
08_専門工事会社 (建具)

...
09_BIM施工図

PDFビューアとフォロー

The screenshot shows the Autodesk BIM 360 Document Management interface. The left sidebar lists project folders: 設計図, プロジェクトファイル, and 社外共有フォルダ. The main area displays a list of 15 items, including various BIM models and reports. A modal window titled "フォルダをフォロー" (Follow Folder) is open, asking if changes to the folder will trigger email notifications. It includes options to track the folder itself or all subfolders, and a "Follow" button at the bottom.

Document Management

フォルダ レビュー 転送パッケージ 指摘事項

表示方法 フォルダ セット ファイルをアップロード 15 個の項目を表示中 ドキュメントを検索

名前 説明 バージョン サイズ 最終更新 更新者 マークアップ 指摘事項 承認ステータス セット

設計図

- 00_IDR・DR・設計検
- 01_最新図
- 02_契約図
- 03_確認申請図書
- 04_本見積時設計図
- 05_工事引継設計図

プロジェクトファイル

- AU2020
- Shared

社内専用フォルダ

社外共有フォルダ

サブフォルダを追加

- 名前変更
- アップロード
- 共有
- 属性を追加
- フォルダを移動
- 並べ替え基準
- 削除

権限

- PDF ビューア
- フォロー
- レビュー用に提出
- 転送パッケージを作成

フォルダをフォロー

このフォルダに変更が加えられた場合は、電子メール通知を受け取ります。

フォロー対象:

- このフォルダのみ
- このフォルダとすべてのサブフォルダ

フォローの詳細

キャンセル フォロー

名前	説明	バージョン	サイズ	最終更新	更新者	マークアップ	指摘事項	承認ステータス	セット
00_BIM統合モデル		--	--	2020年9月21日 12:31	Tetsuya Maeda	--	--	--	--
01_TOYO (建築・敷地)		--	--	2020年10月1日 12:18	Tetsuya Maeda	--	--	--	--
02_専門工事会社 (構造)		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
03_専門工事会社 (機械設備)		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
04_専門工事会社 (電気設備)		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
05_専門工事会社 (給排水)		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
06_専門工事会社 (消火)		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
07_専門工事会社 (昇降機)		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
08_専門工事会社 (建具)		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
09_BIM施工図		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
10_BIM施工図		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
11_BIM施工図		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
12_BIM施工図		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
13_BIM施工図		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
14_BIM施工図		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--
15_BIM施工図		--	--	2020年9月21日 12:31		--	--	--	--

運用中のフォルダ構成例

BIM 360 Document Management X BIM 360 Document Management X +
docs.b360.autodesk.com/

AUTODESK® BIM 360™ | 東洋建設株式会社

Document Management

表示方法 フォルダ レビュー 転送パッケージ 指摘事項

ファイルをアップロード 24 個の項目を表示中

名前	マークアップ	タイトル	番号
A-01	2	概要書、外	A-01
A-02	1	内部仕上表	A-02
A-03	4	配置図兼屋	A-03
A-04	6	ピット図	A-04
A-05	4	1階平面図	A-05
A-06	3	2階平面図	A-06
A-07	1	3 - 7階平面	A-07
A-08	1	8 - 9階平面	A-08
A-09	4	10階平面	A-09
A-10	2	立面図1	A-10
A-12	0	CG1	A-12
A-13	1	CG2	A-13
A-14	0	CG3	A-14
A-15	0	CG4	A-15
A-11	1	断面図	A-11
E-1	2	設備機器表	E-1

設計図
00_IDR・DR・設計検証
01_IDR
02_設計検証-1
03_DR-2
04_設計検証-2
意匠図
構造図
機械設備図
電気設備図
05_DR3
06_工事引継会議
01_最新図
02_契約図
01_建築
02_構造
03_機械設備
04_電気設備
05_昇降機
03_確認申請図書
02_本申請
04_本見積時設計図面

BIM 360 Document Management X BIM 360 Document Management X +
docs.b360.autodesk.com/

AUTODESK® BIM 360™ | 東洋建設株式会社

Document Management

表示方法 フォルダ レビュー 転送パッケージ 指摘事項

ファイルをアップロード 18 個の項目を表示中

名前	説明	バージョン
04_機械設備 (機械設備) .9	--	--
BIM用IFCデータ	--	--
外構図	--	--
機械設備施工図 (tfas)	--	--
納入仕様書	--	--
製作図プロット	--	--
設備電気総合図	--	--
躯体スリーブ図	--	--
鉄骨スリーブ図	--	--
電気設備より	--	--
他(海老名新倉...)	V1	
FXYKP28CA.pdf	V1	
凡例図.tfs	V1	
外壁貫通_200525.tfs	V1	
外構図(1)~(6) 200608.tfs	V1	
外構図 (M・E) 0429.tfs	V1	

共通書類・共有フォルダ
社内専用フォルダ
社外共有フォルダ
00_BIM統合モデル
01_TOYO (建築・敷地)
02-1_ (鉄骨)
02-2_ (鉄骨)
03_ (電気設備)
04_ (機械設備)
BIM用IFCデータ
外構図
機械設備施工図 (tfas)
納入仕様書
001_
002_
003_
004_
005_
006_
007_
008_

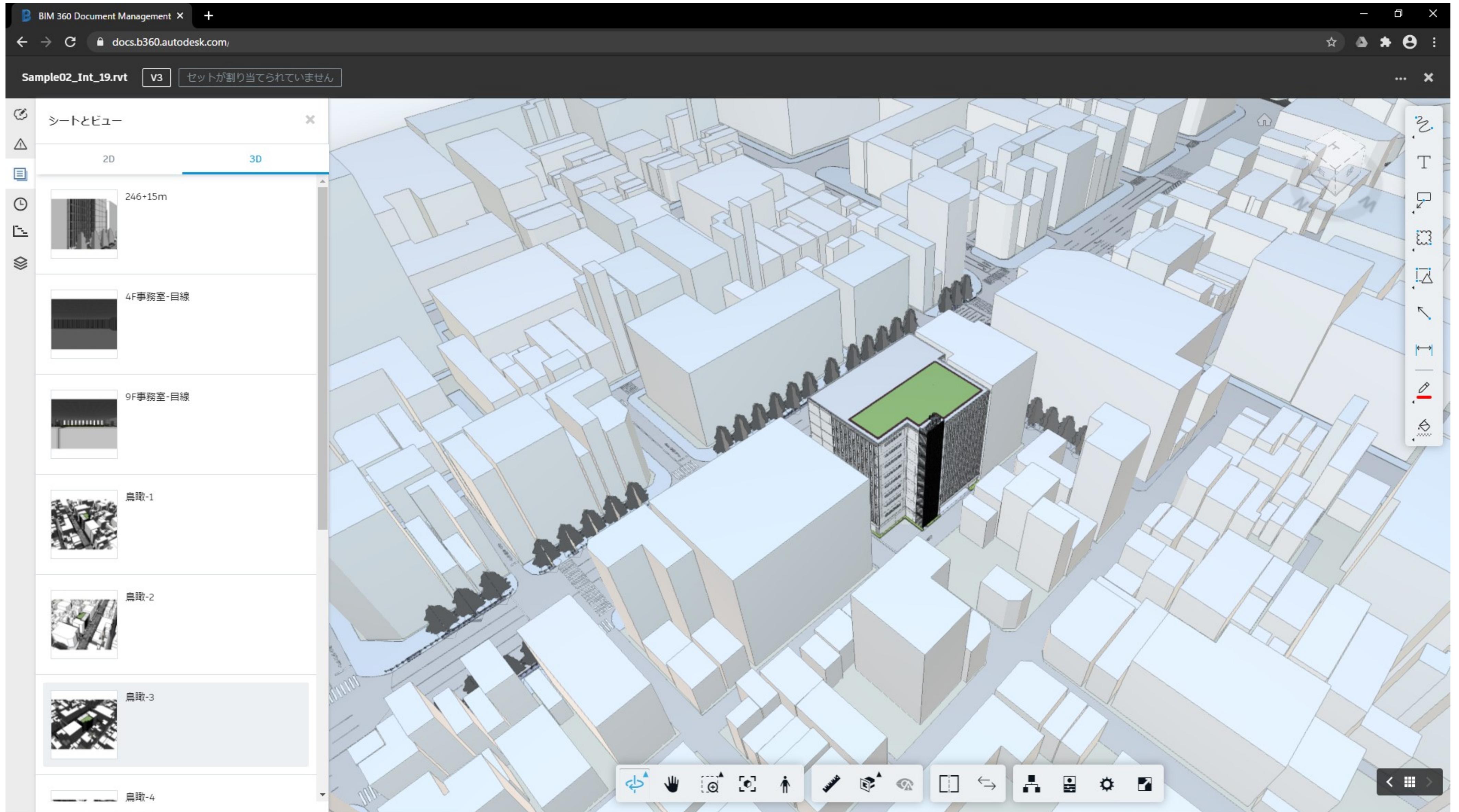
Revit / Navisworks 連携ビュー

The screenshot shows the Autodesk BIM 360 Document Management interface. The left sidebar displays a hierarchical file structure under 'プロジェクトファイル' (Project Files) and '社外共有フォルダ' (External Shared Folder). The main area lists five Revit files (RVT) with their details:

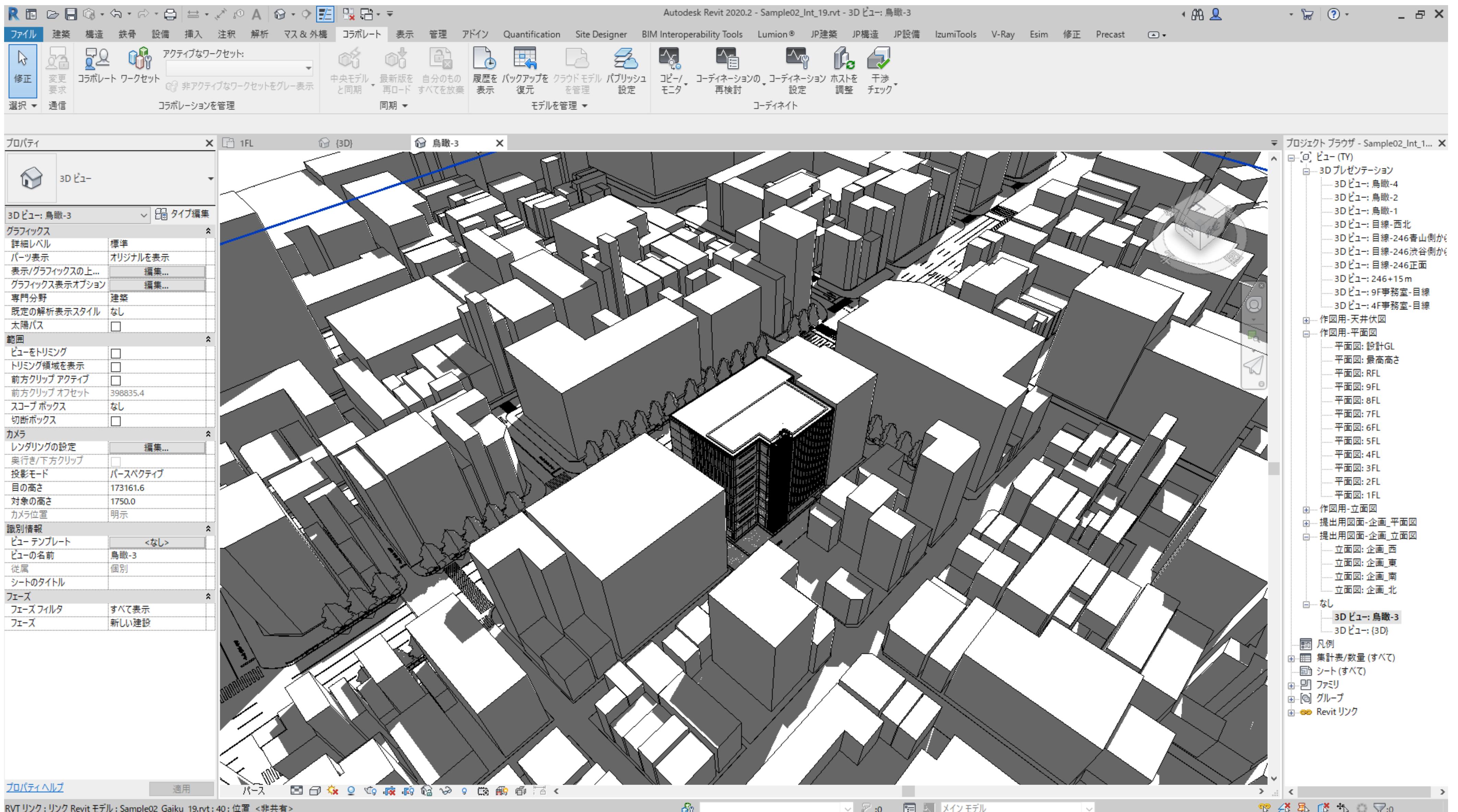
名前	説明	バージョン	サイズ	更新者	マークアップ	指摘事項	承認ステータス
Sample02-Building_19.rvt		V3	15.2 MB	Tetsuya Maeda			
Sample02-Kagu3-9F_19.rvt		V2	31.8 MB	Tetsuya Maeda			
Sample02-Kagu579F_19.rvt		V1	33.9 MB	Tetsuya Maeda			
Sample02_Gaiku_19.rvt		V3	12.5 MB	Tetsuya Maeda			
Sample02_Int_19.rvt	...	V3	2.1 MB	Tetsuya Maeda			

At the bottom right of the interface, there is a blue circular icon with a white graduation cap symbol.

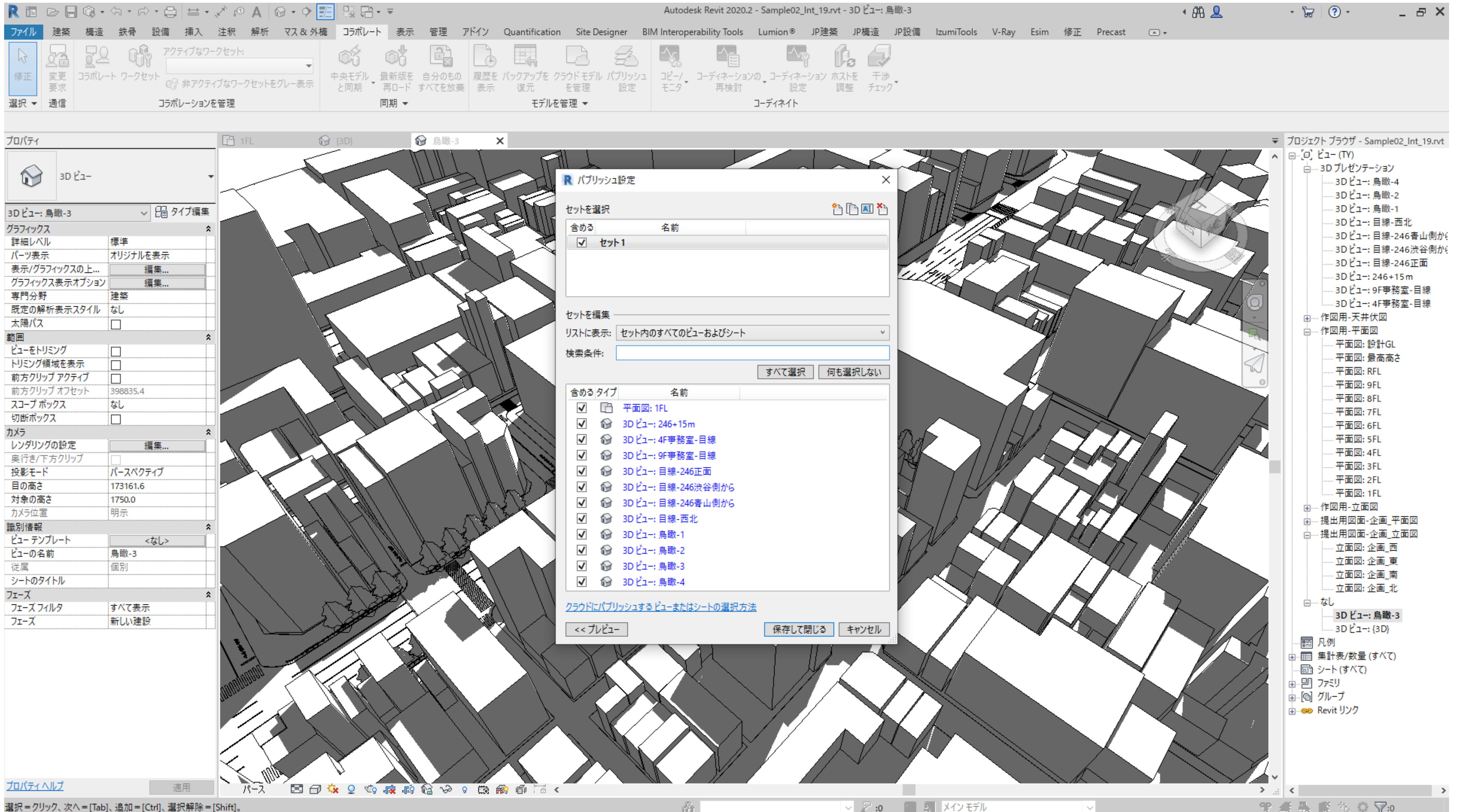
Revit / Navisworks 連携ビュー



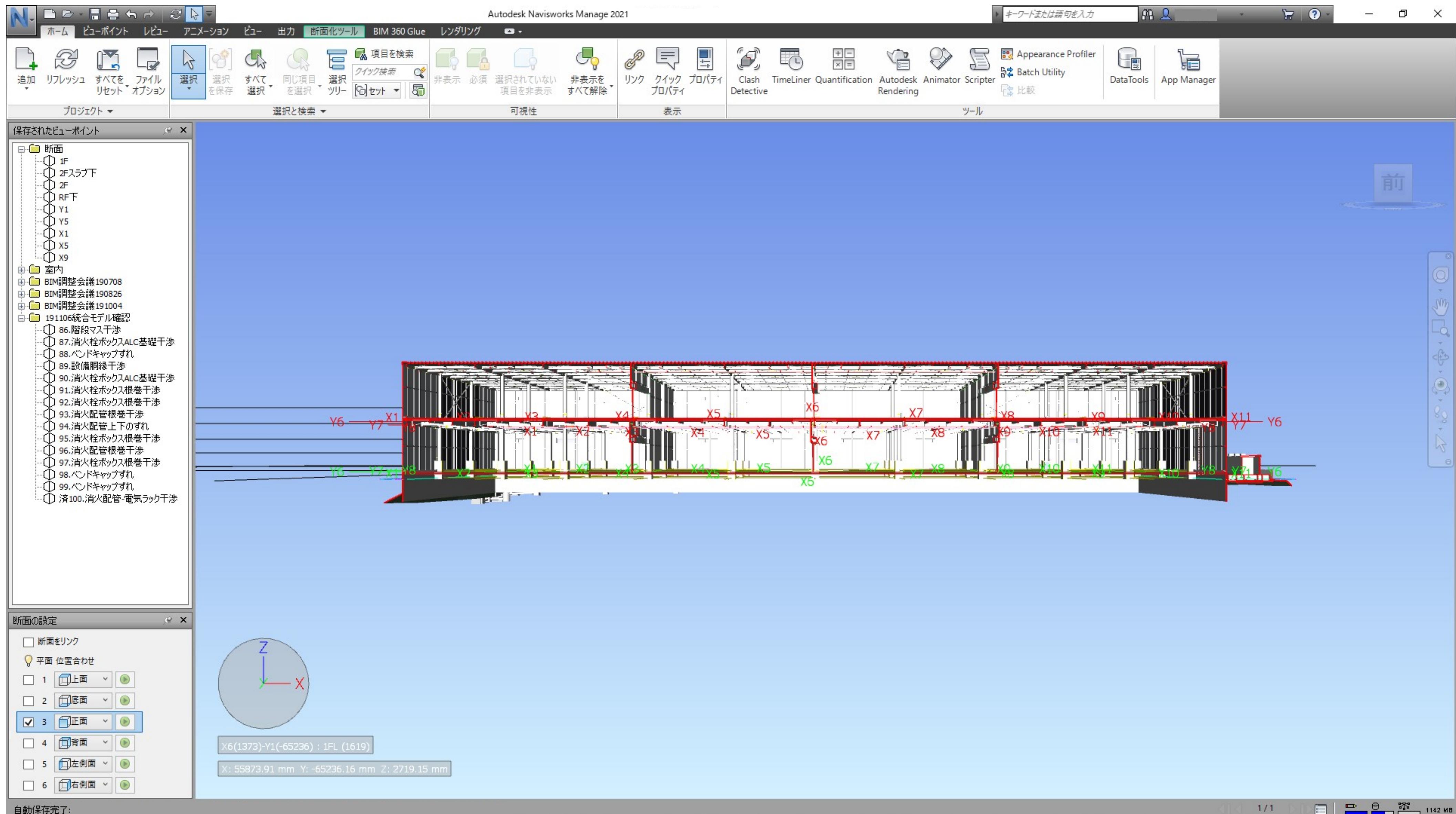
Revit / Navisworks 連携ビュー



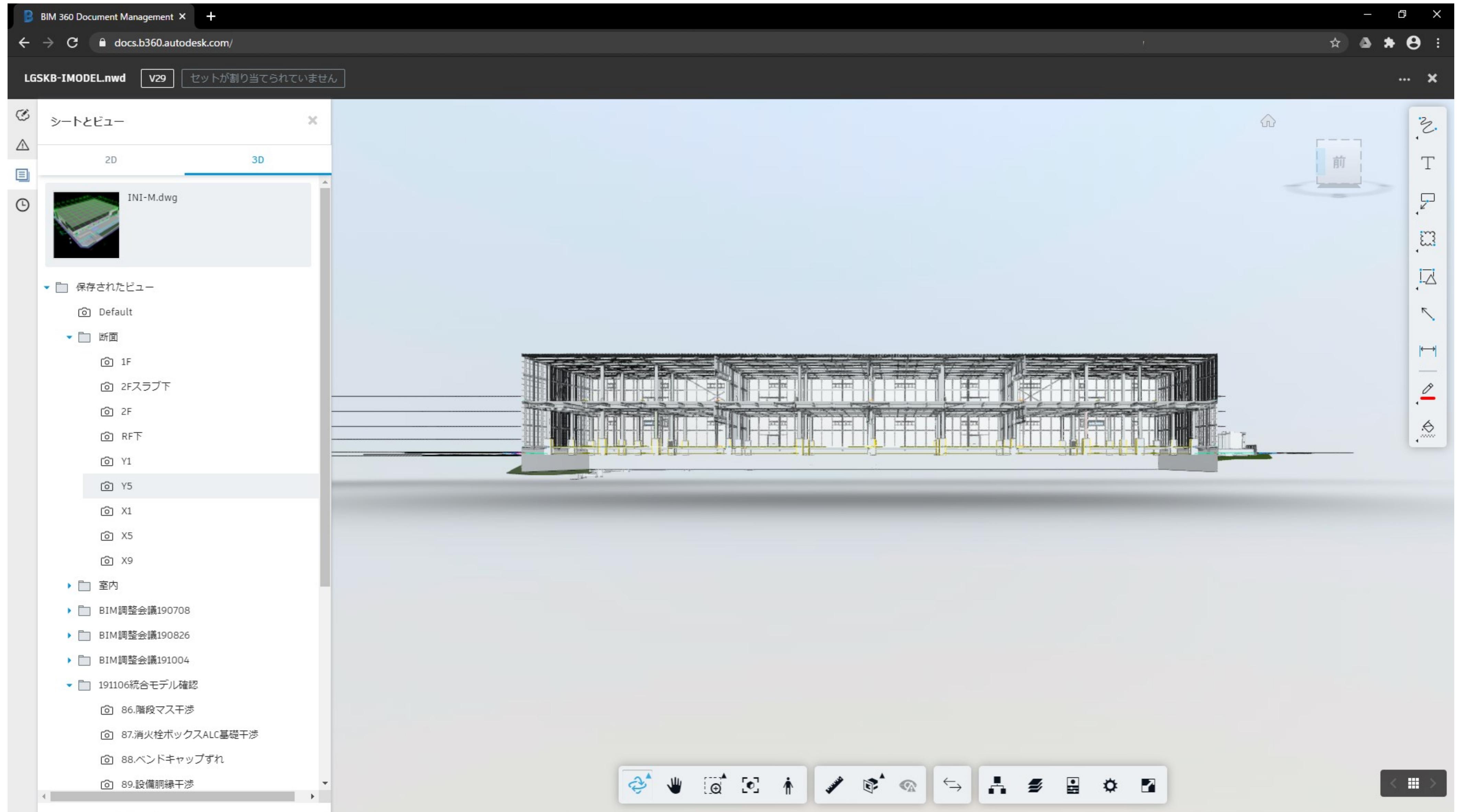
Revit / Navisworks 連携ビュー



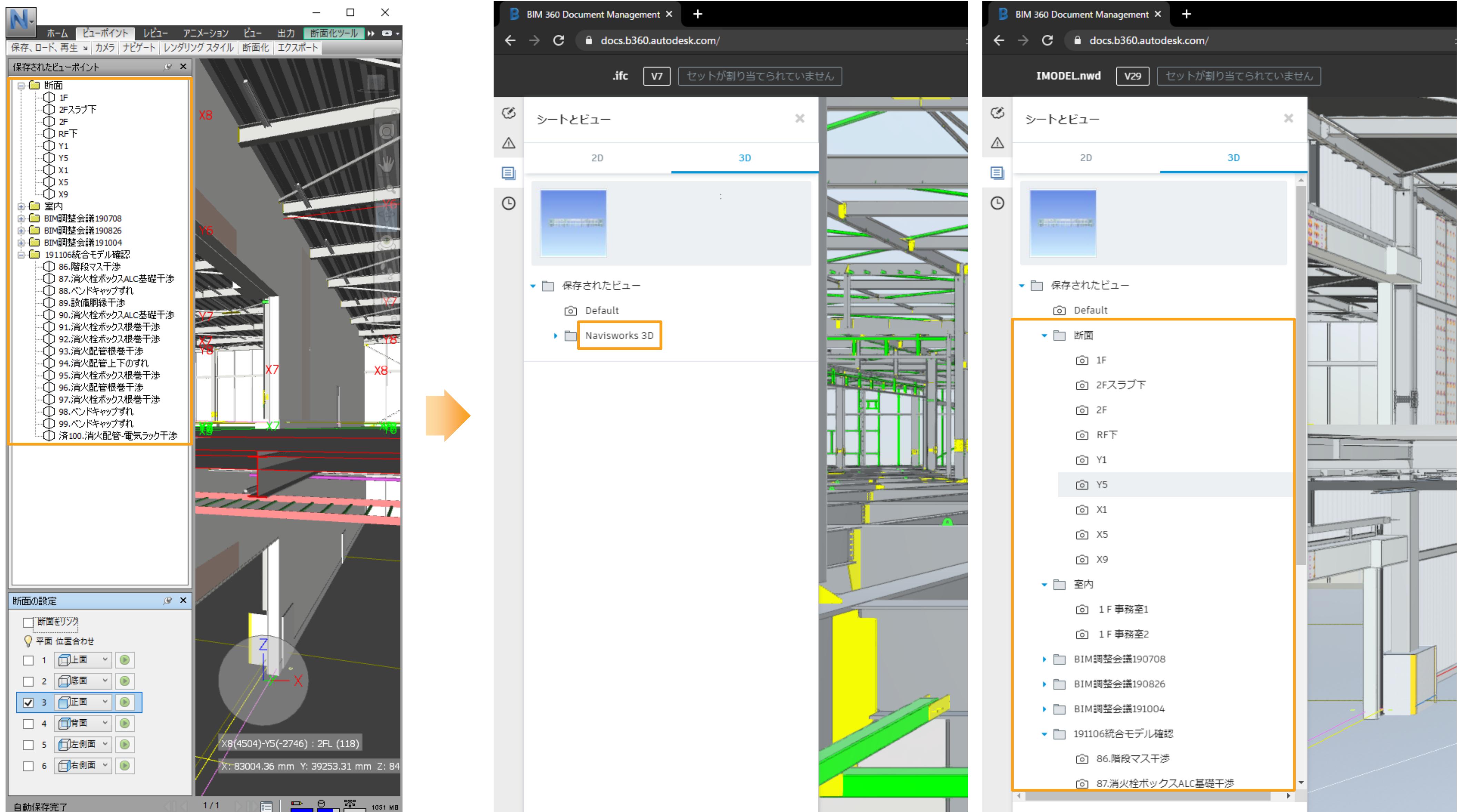
Revit / Navisworks 連携ビュー



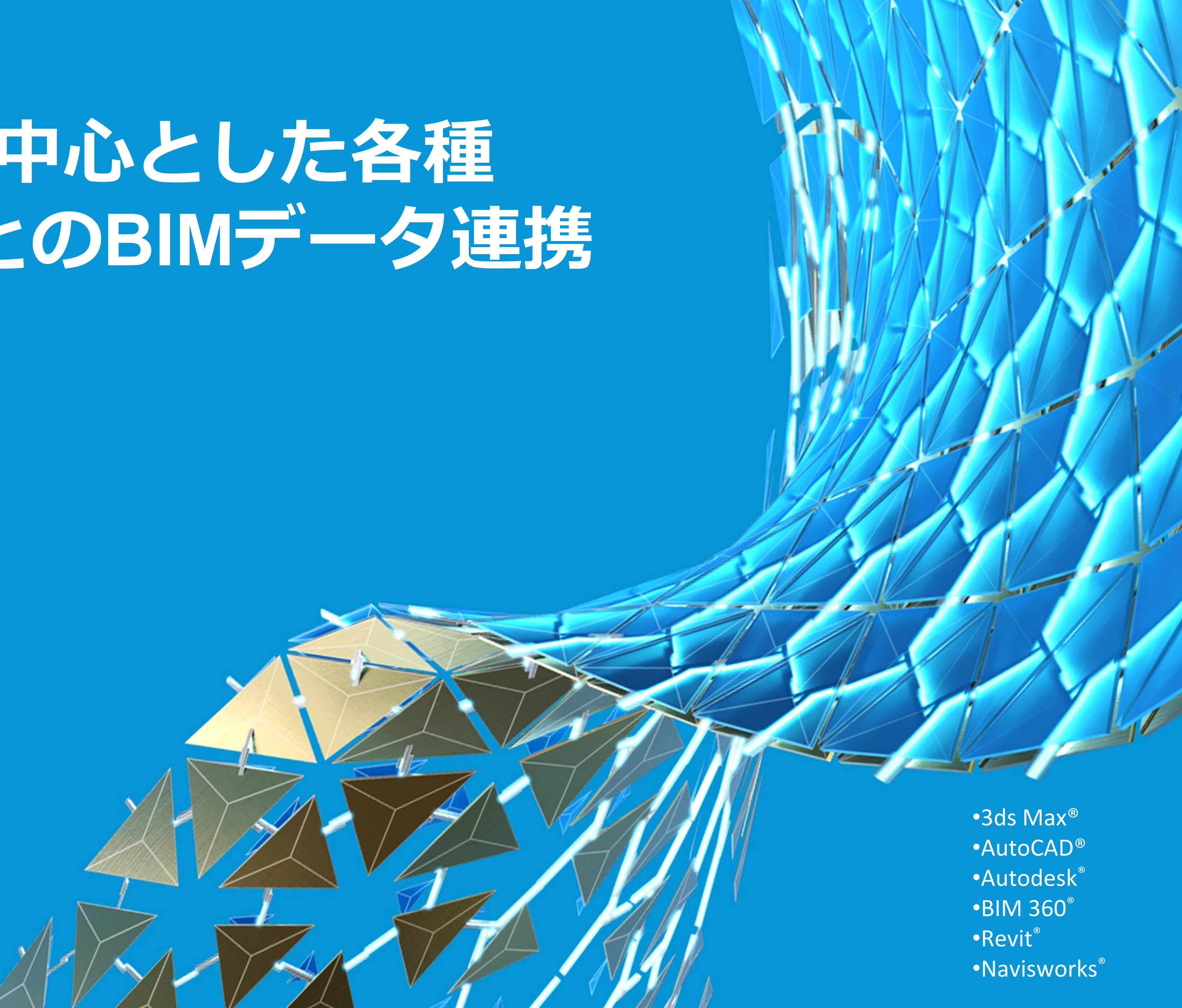
Revit / Navisworks 連携ビュー



Revit / Navisworks 連携ビュー

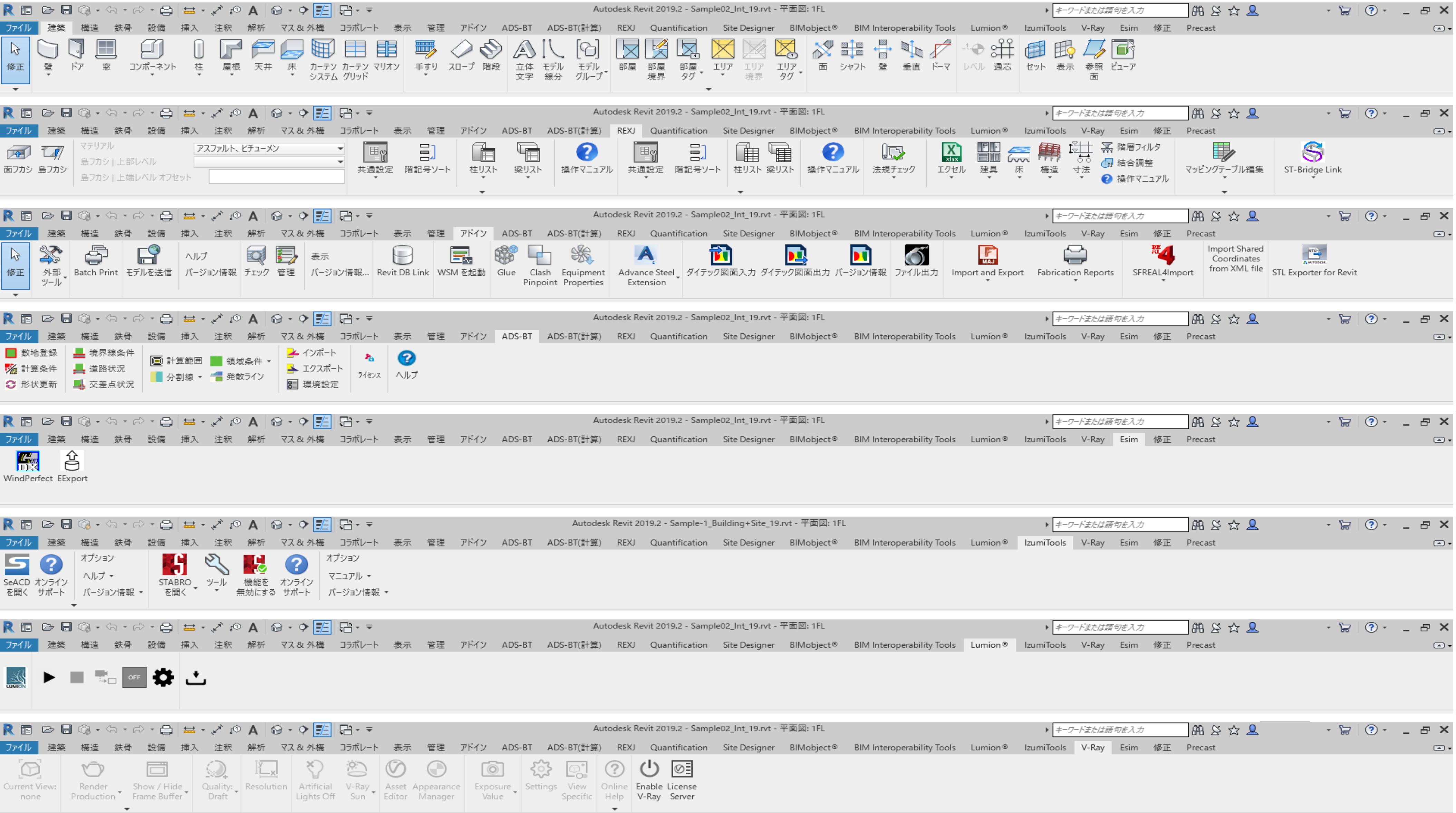


Revitモデルを中心とした各種 ソフトウェアとのBIMデータ連携

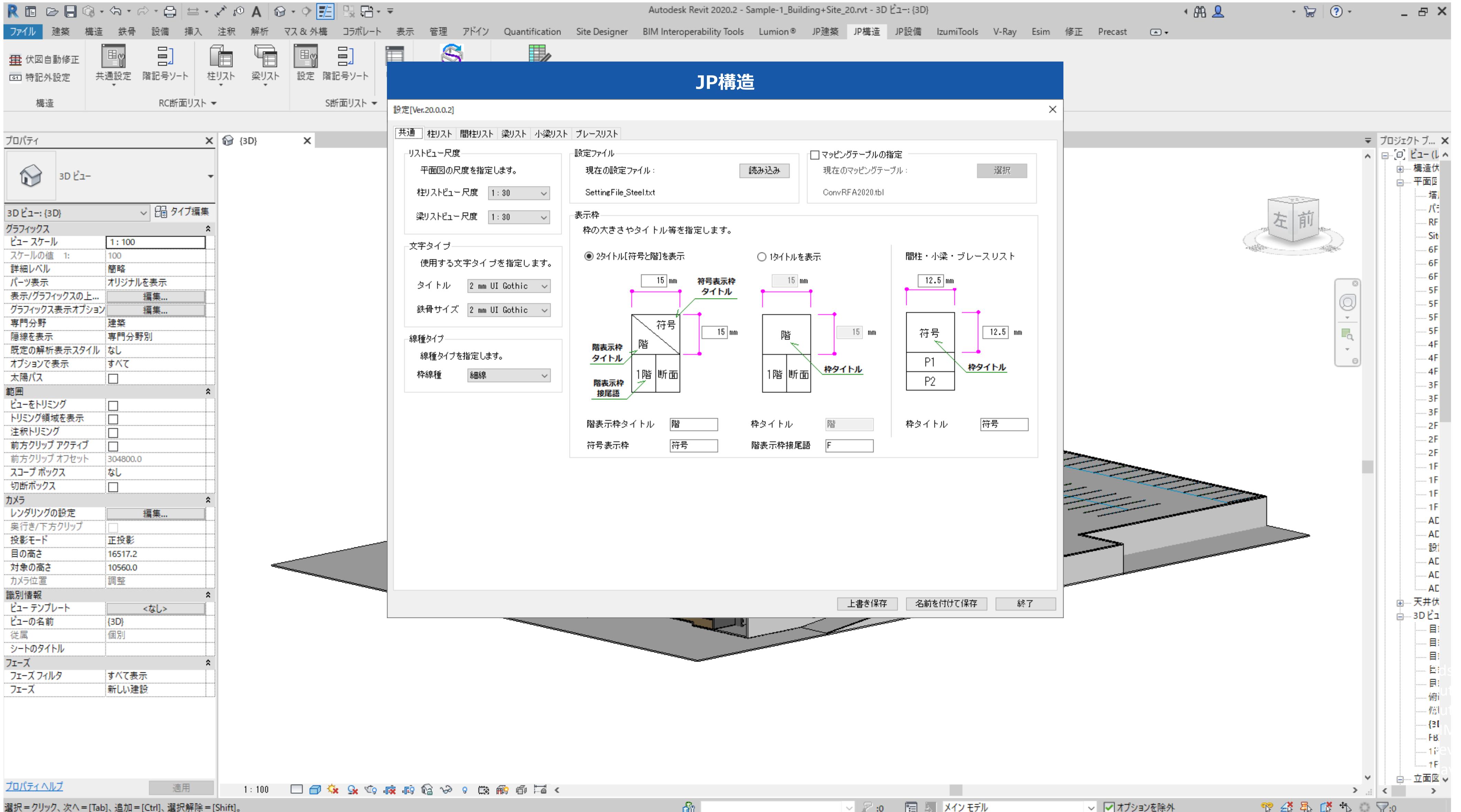


- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®

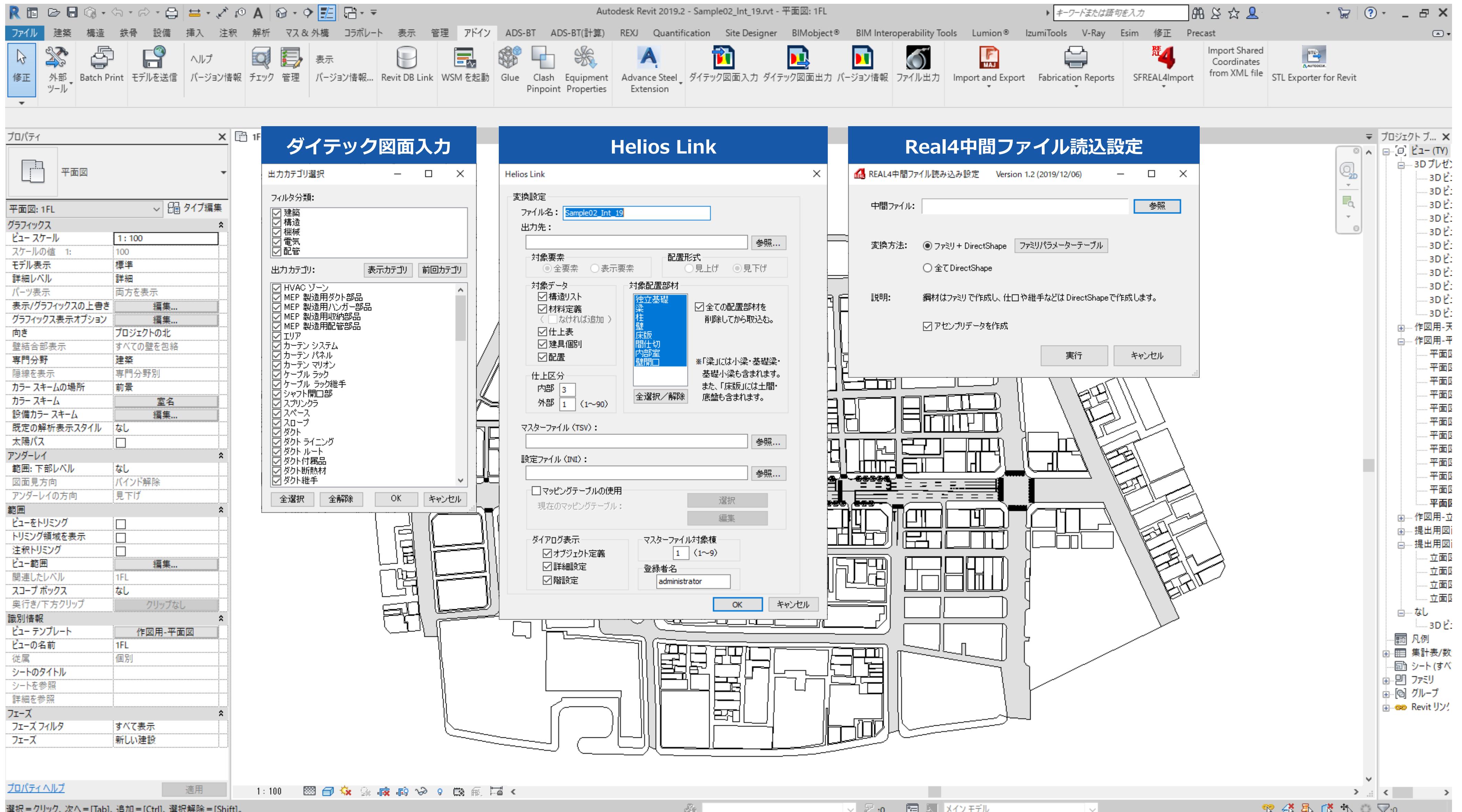
Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携



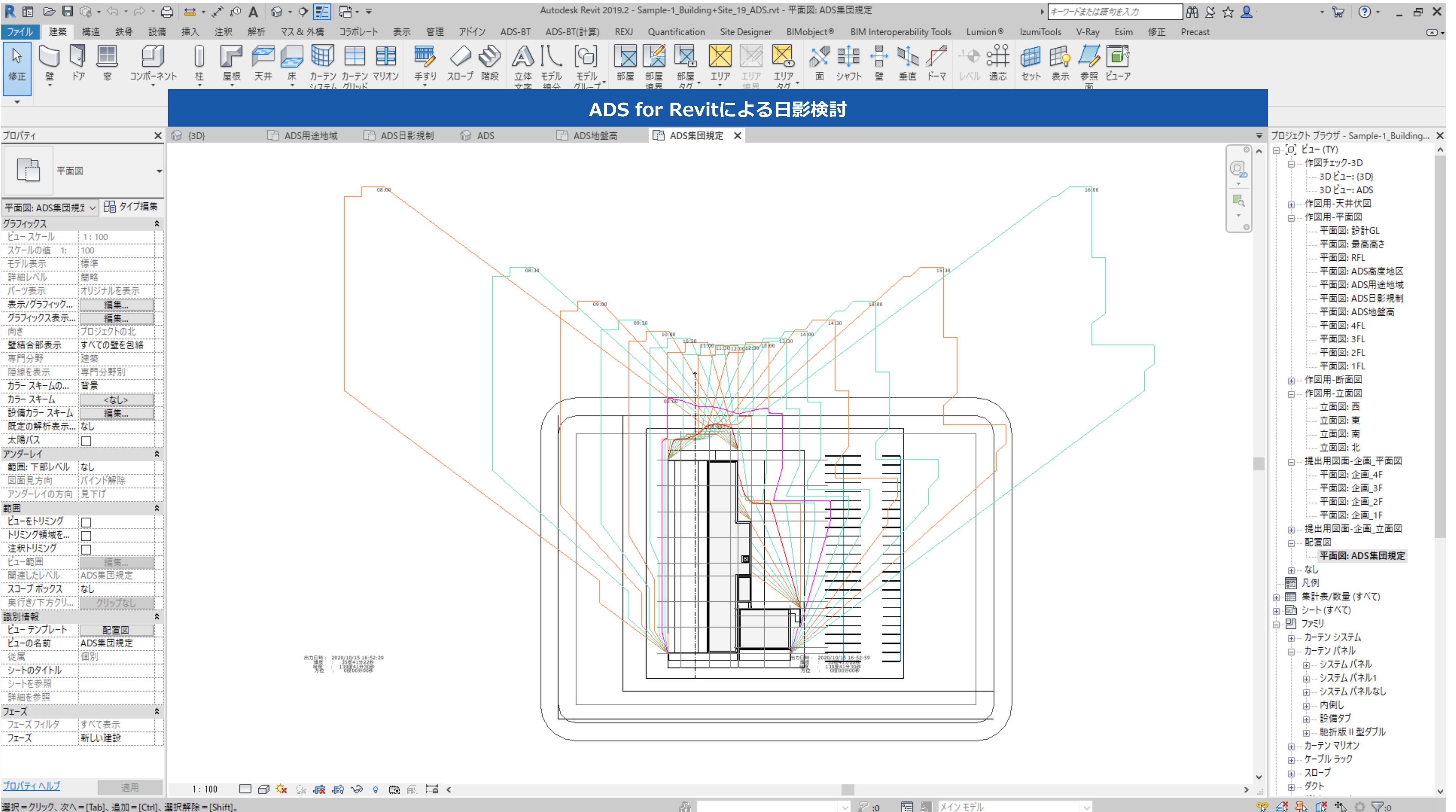
Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携



Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携

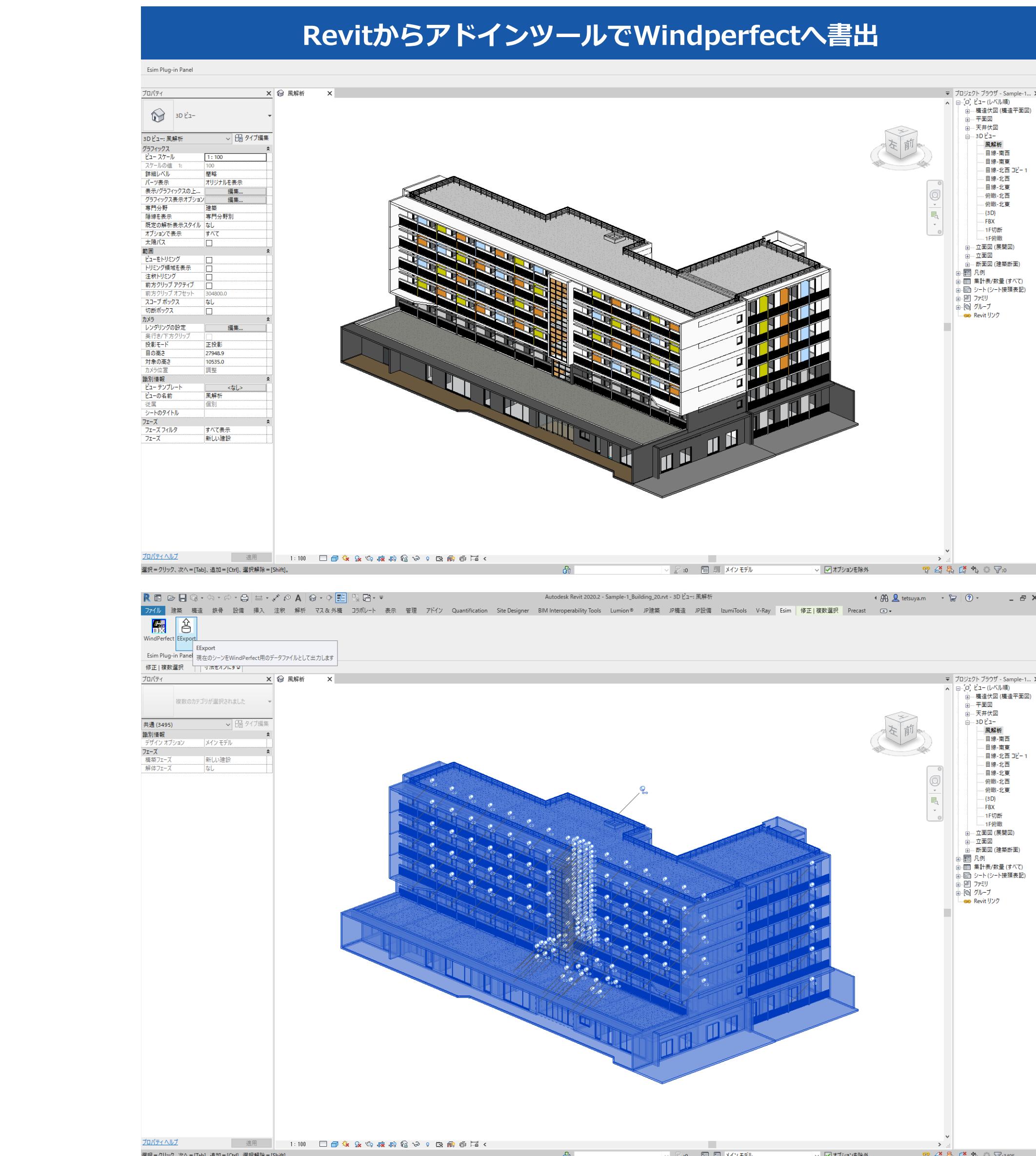


Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携

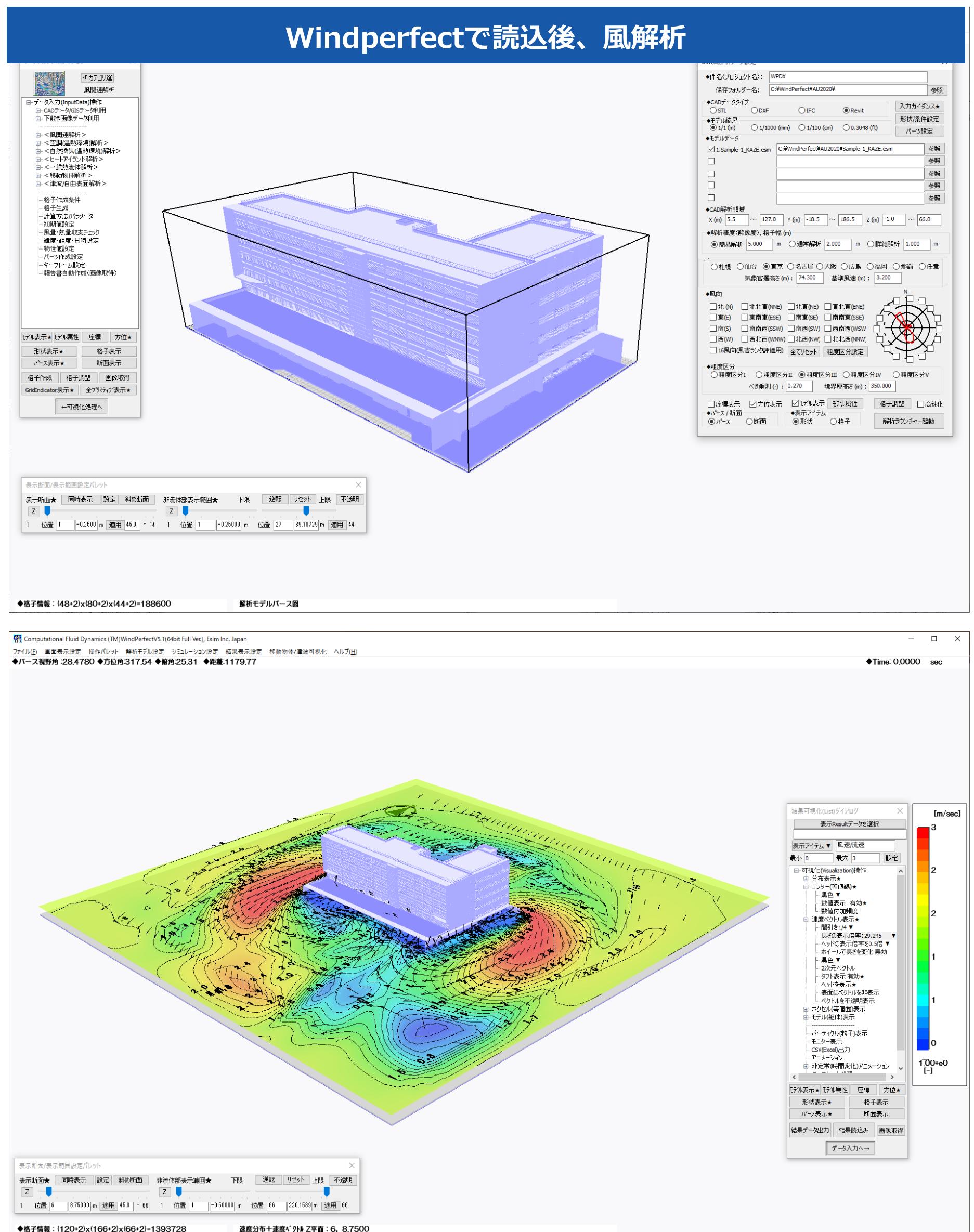


Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携

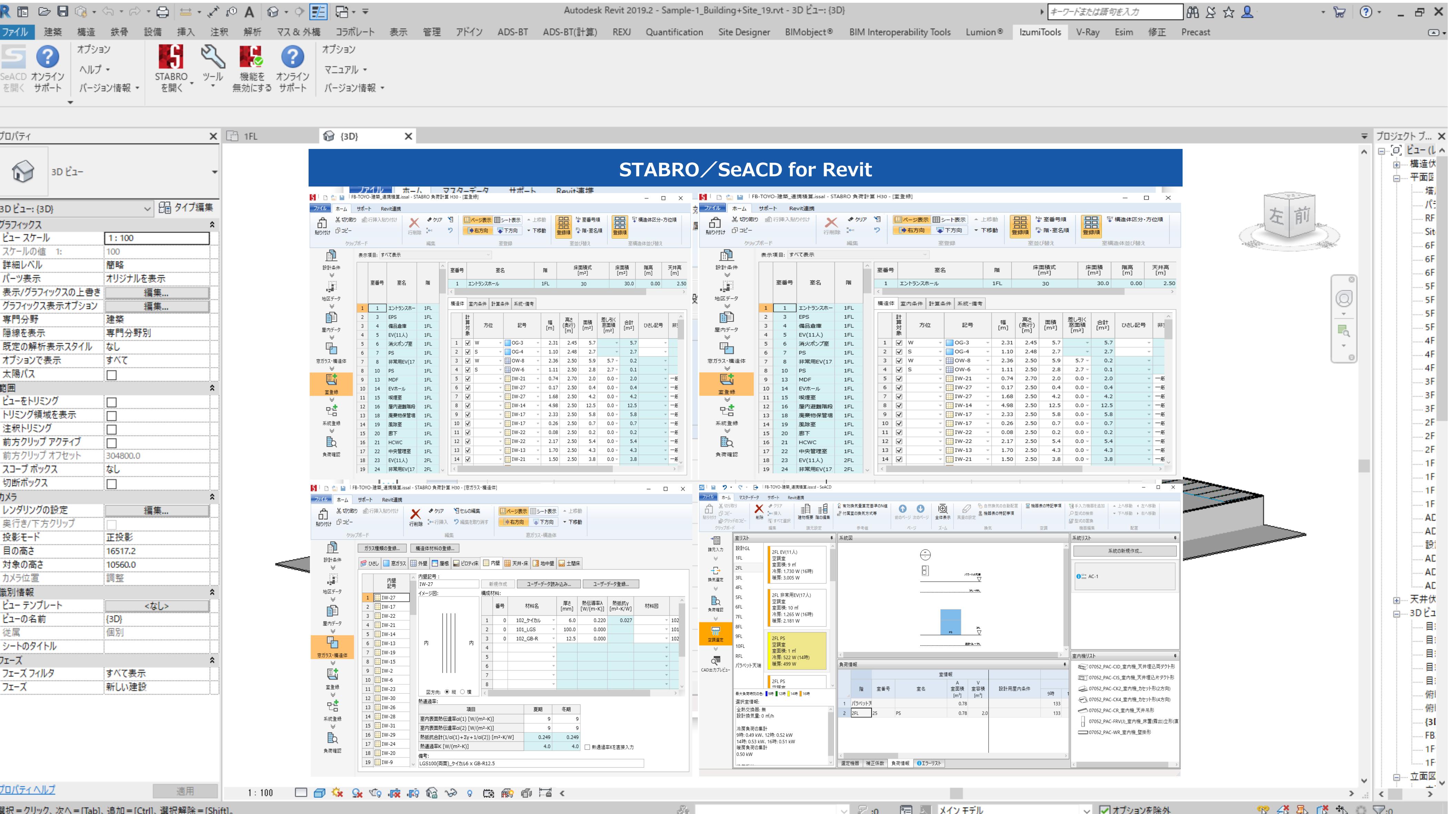
RevitからアドインツールでWindperfectへ書出



Windperfectで読み込後、風解析



Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携



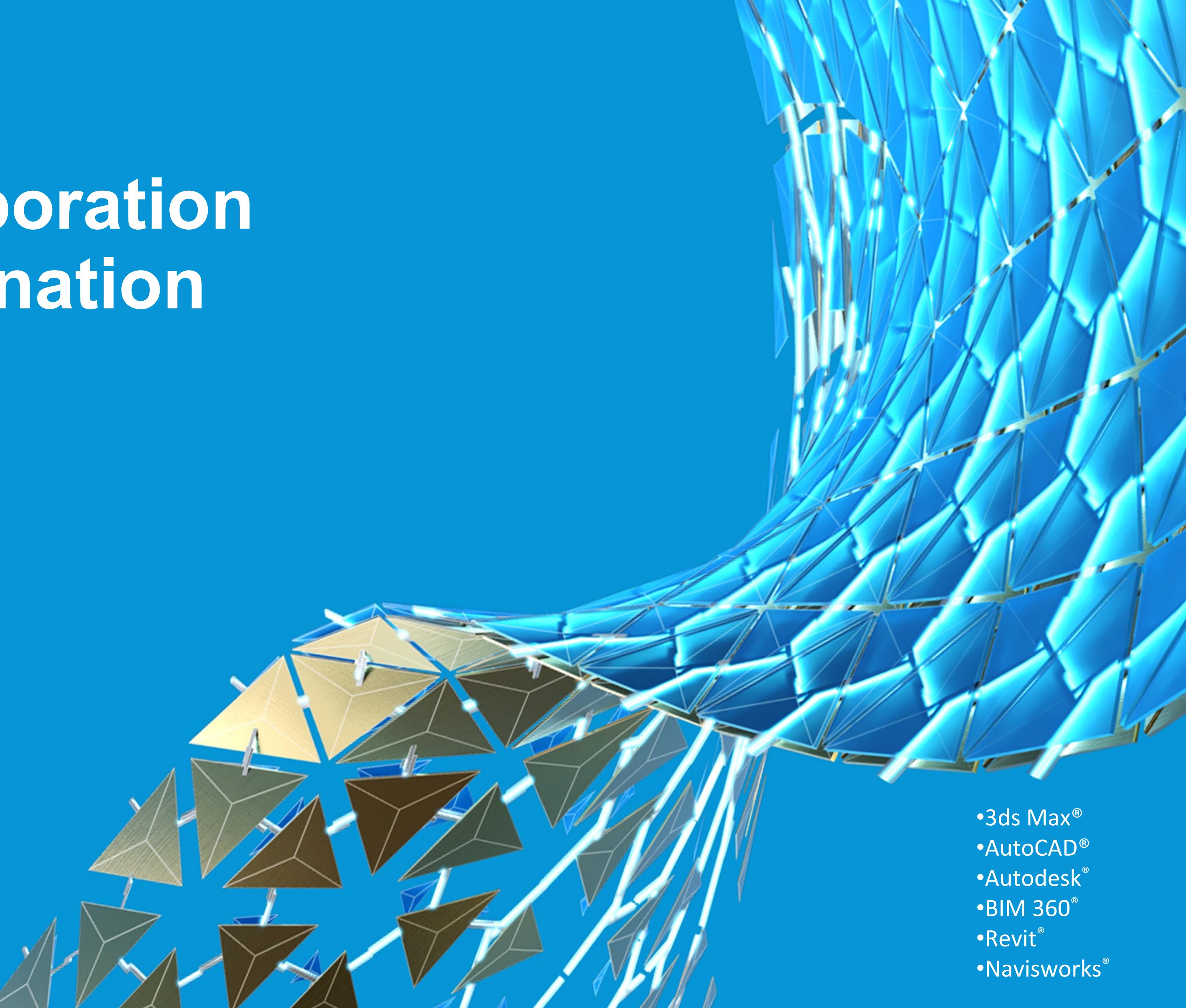
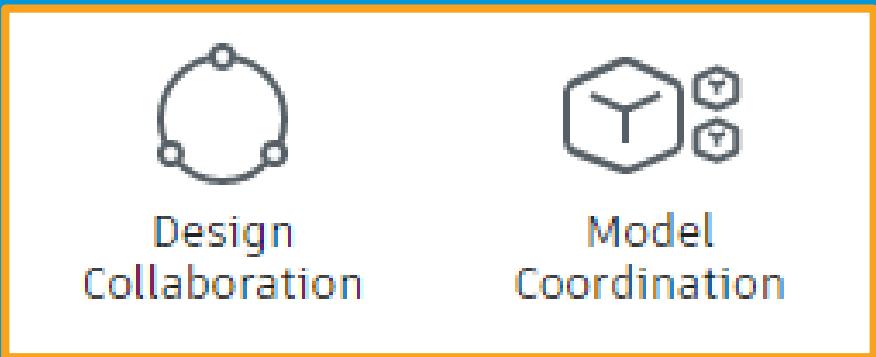
Revitモデルを中心とした専門ソフトとのBIMデータ連携



BIM 360®

Design Collaboration

Model Coordination



- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®

BIM 360® Design Collaboration

The screenshot displays the Autodesk BIM 360 Design Collaboration web interface. At the top, the navigation bar shows "AUTODESK BIM 360" and the project name "東洋建設株式会社 00_Test operation". The main title "Design Collaboration" is centered above the workspace.

The left sidebar contains several navigation links: Project Home, Insight, Document Management, Design Collaboration (which is selected and highlighted in blue), Model Coordination, and Project Admin. Below these are Account Admin and a link to "Privacy | Terms of Use". A copyright notice at the bottom of the sidebar states "© 2020 Autodesk Inc. All rights reserved."

The central workspace features a horizontal timeline at the top with four segments labeled 36週, 37週, 38週, and 39週. The current week, "1ヶ月", is highlighted in grey. To the right of the timeline is the date "2020/09/23". Below the timeline, there are three status indicators: "10 シート", "4 3D ビュー", and "プロジェクトモデル".

A search bar with the placeholder "検索" and a "フィルタがオン" button is located above a table. The table lists seven tasks:

ステータス	ID	サブタイプ	タイトル	割り当て先	期日	操作
未完了	62	02_協議	4.内部階段外側の手すり必要確認		-	3 0
未完了	61	02_協議	4.内部階段外側の手すり...		-	1 0
未完了	60	01_修正依頼	2.外構仕上レベル確認		-	1 0
未完了	59	02_協議	1.バリカーなどの設置検討		-	2 1
回答済み	58	01_修正依頼	窓?		-	1 0
未完了	57	02_協議	5.駐車場 排水確認		-	1 0
未完了	56	01_修正依頼	4.駐車場折り上げ天井確認		-	1 0

At the bottom of the table, a message indicates "1 ~ 7/7 を表示しています". Navigation arrows for the table are also present.

The bottom left corner shows the URL "https://dcs.b360.autodesk.com". A small circular icon with a graduation cap is located in the bottom right corner.

BIM 360® Design Collaboration

This screenshot shows the Autodesk BIM 360 Design Collaboration interface. The left sidebar includes links for Project Home, Insight, Document Management, Design Collaboration (which is selected), Model Coordination, and Project Admin. The main area displays a timeline from 36周 to 39周, with a 1ヶ月 (month) scale. Below the timeline is a table of tasks:

シート	3D ビュー	更新日
10	4	9月 23, 2020 17:33
未完了	62	02_協議 4.内部階段外側の手すり必要確認
未完了	61	02_協議 3.BIMモデルに部屋名入力
未完了	60	01_修正依頼 2.外構仕上レベル確認
未完了	59	02_協議 1/リカーノなどの設置検討
回答済み	58	01_修正依頼 恒?
未完了	57	02_協議 5.駐車場 排水確認
未完了	56	01_修正依頼 4.駐車場折り上げ天井確認

The bottom right corner shows a 3D model of a staircase.

This screenshot shows a detailed view of task #62. The task details are as follows:

- 指摘事項:** #62
- 作成者:** TOYO CONSTRUCTION CO.,LTD. 作成日時 2020年9月28日
- タスク:** 4.内部階段外側の手すり必要確認
- 状況:** 未完了
- 説明:** 内部階段外側の手すりは手塀不要ではないか? (またはハンドレール)
- 応答:** 石川 章
- 写真:** photo_160197.png, スクリーンショット.png, screenshot_2.png

The bottom right corner shows a 3D model of a staircase.

This screenshot shows a detailed view of task #62 with a 3D model preview. The 3D model highlights a specific area of the staircase railing. The task details are the same as the previous screenshot.

This screenshot shows a detailed view of task #58. The task details are as follows:

- 指摘事項:** #58
- 作成者:** TOYO CONSTRUCTION CO.,LTD. 作成日時 2020年9月28日
- タスク:** 4.内部階段外側の手すり必要確認
- 状況:** 未完了
- 説明:** 内部階段外側の手すりは手塀不要ではないか? (またはハンドレール)
- 応答:** 石川 章
- 写真:** photo_160197.png, スクリーンショット.png, screenshot_2.png

The bottom right corner shows a 3D model of a staircase.

BIM 360® Design Coordination

The screenshot shows the BIM 360 Model Coordination interface. The top navigation bar includes tabs for 'Model' (selected) and '干涉部位' (Interference). The left sidebar features icons for Project Home, Insight, Document Management, Design Collaboration (highlighted with a dashed orange box), and Project Admin. Below the sidebar is a section for 'Model Coordination' with a gear icon. The main area displays a table of models with columns for '投稿者' (Poster), '更新日' (Last Update), and a checkbox. The table lists 17 models, all posted by Tetsuya Maeda at 15:25. The right sidebar contains filters for 'すべてのモデル' (All Models), 'マイ モデル' (My Models), and 'マイ モデルと干渉部位' (My Models and Interference). It also includes dropdowns for '投稿者' (Poster), '会社' (Company), and '日付' (Date), and a 'すべてクリア' (Clear All) button.

投稿者	更新日	
Tetsuya Maeda	今日 15:25	
a	今日 15:20	862
a	今日 15:20	218
a	今日 15:20	1
Tetsuya Maeda	今日 15:20	5

AU2020-Sample03
最後の干渉チェック 今日 15:30

すべてのモデル

マイ モデル

マイ モデルと干渉部位

フィルタ

投稿者 選択中...

会社 選択中...

日付 日付を選択

すべてクリア

17 個中 17 個のモデルを表示中。

<https://model.b360.autodesk.com/projects/e7f3a476-77ae-4948-9983-e9744b1da641>

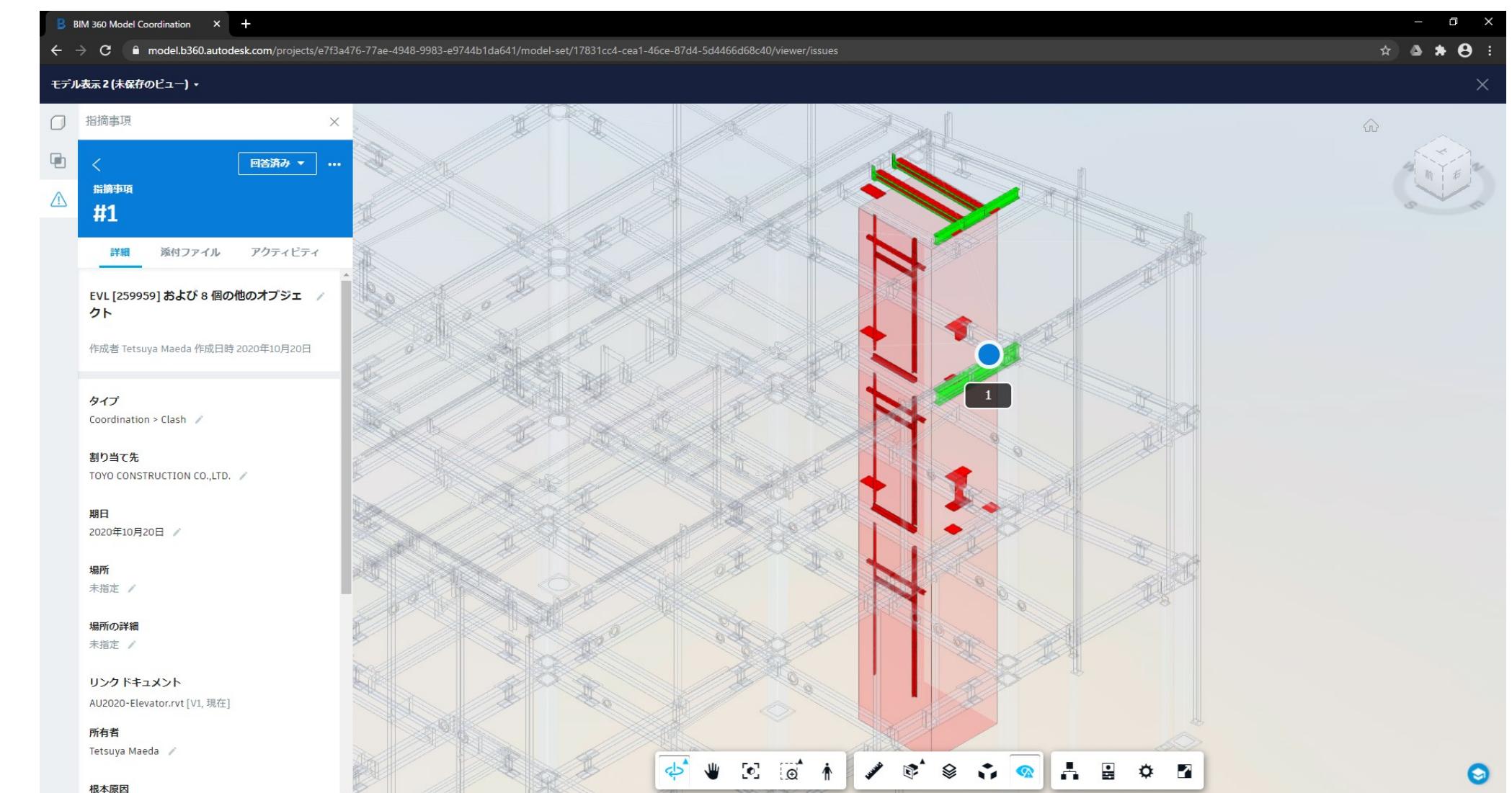
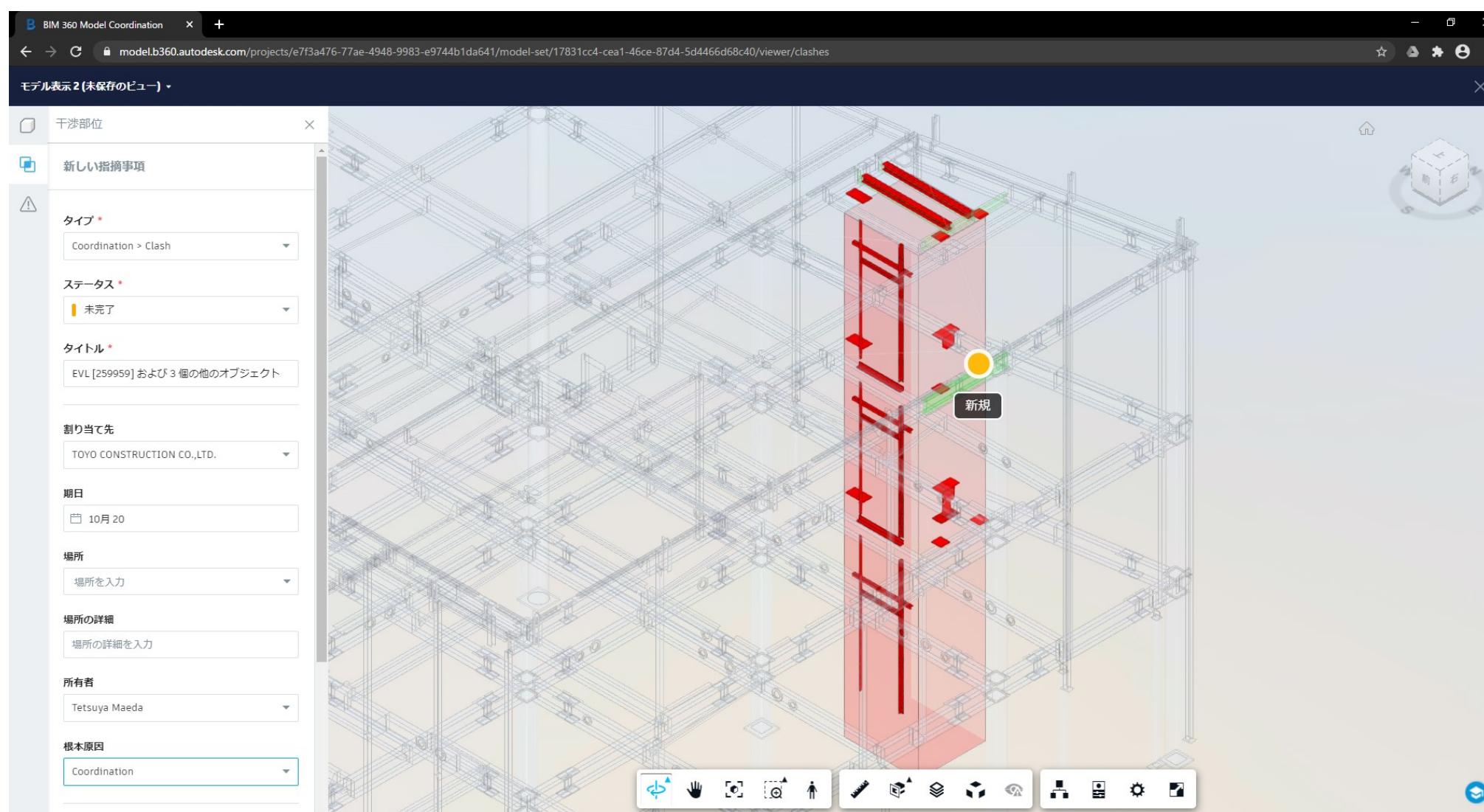
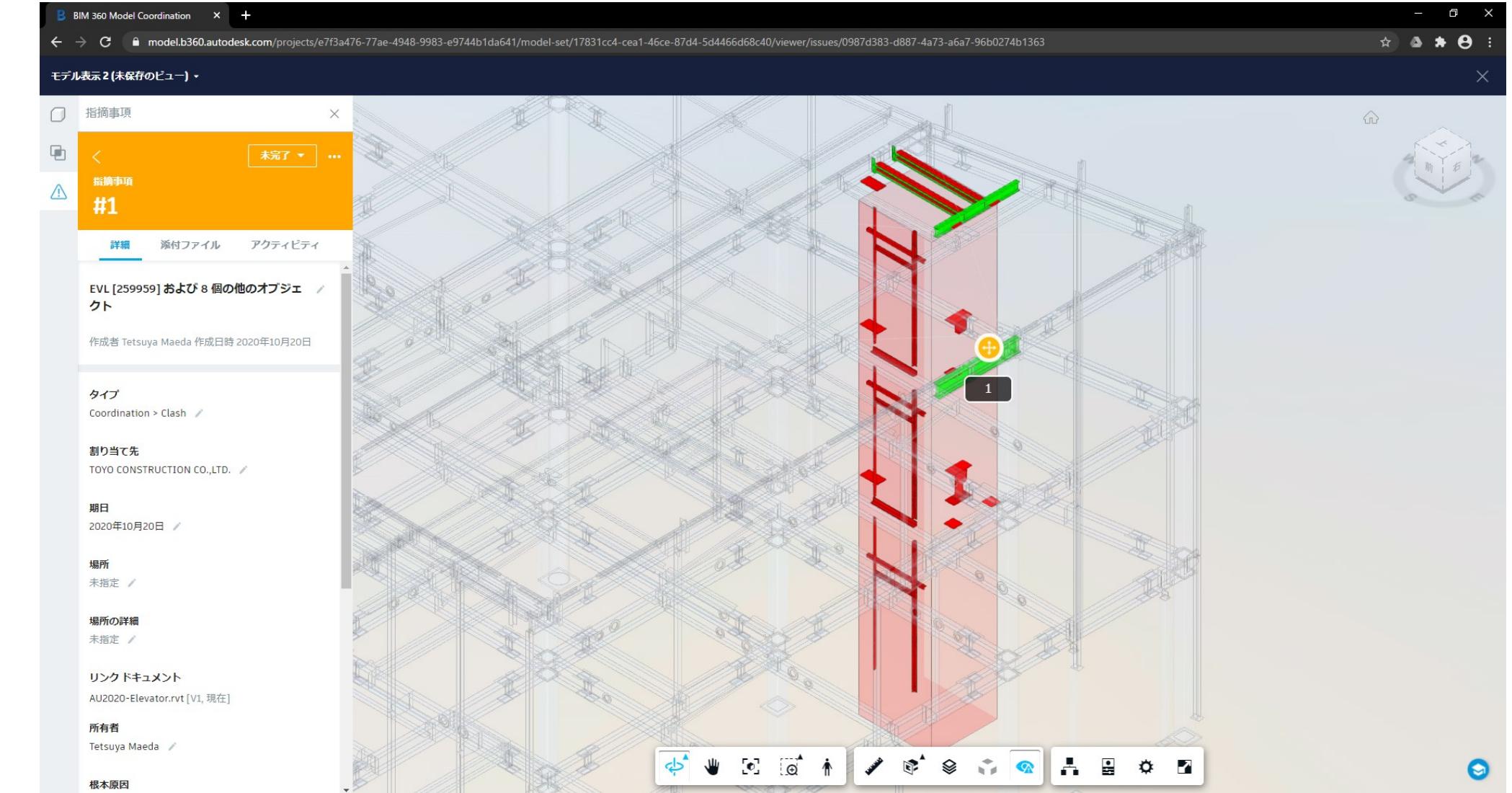
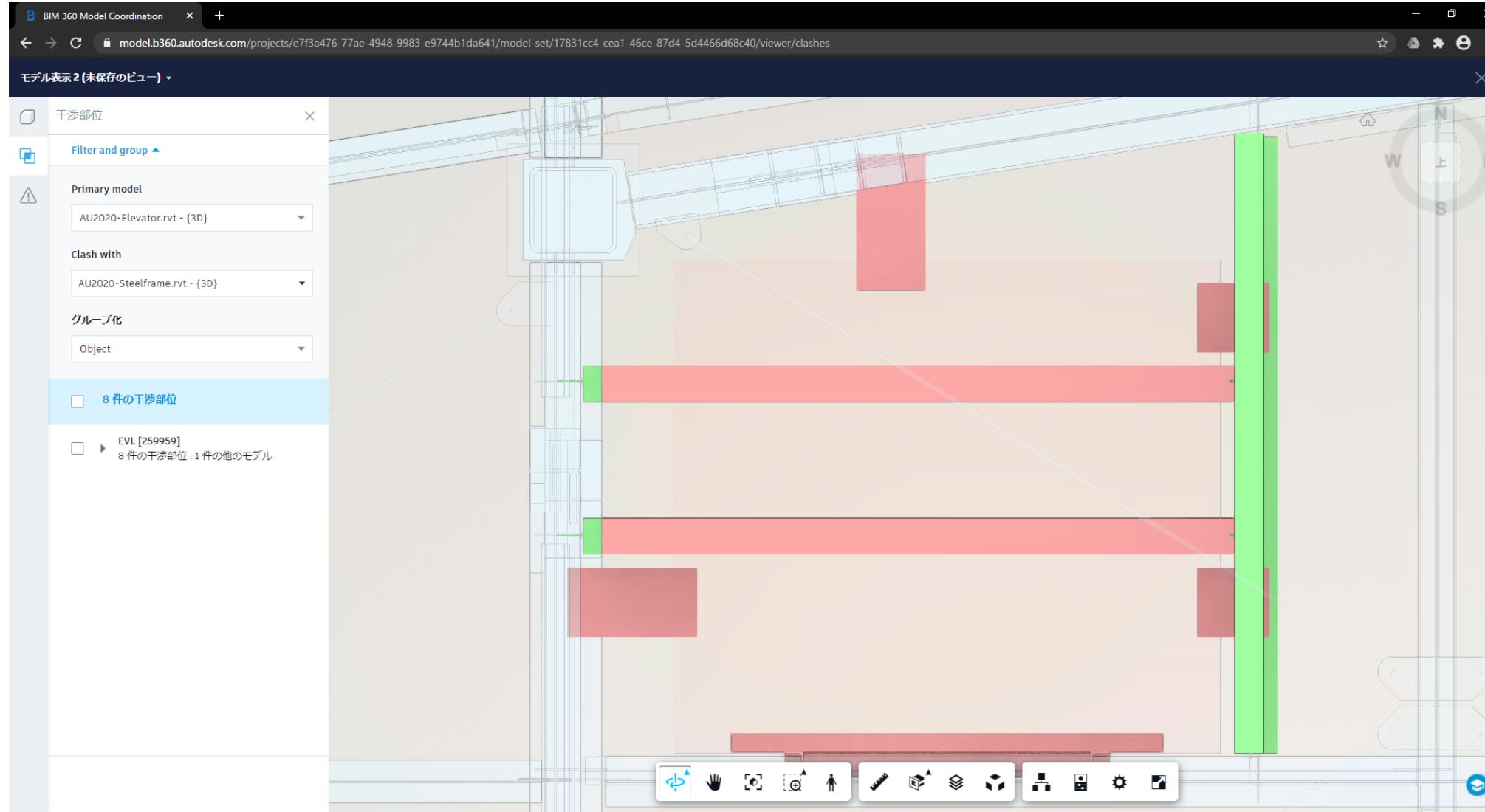
BIM 360® Design Coordination

The screenshot shows the BIM 360 Model Coordination interface. The top navigation bar includes tabs for 'Model' and '干涉部位' (Interference), with '干涉部位' being the active tab. Below the navigation is a toolbar with filters for 'アクティブ' (Active), '割り当て' (Assigned), and '終了' (Completed). A status message indicates the last interference check was performed today at 15:30.

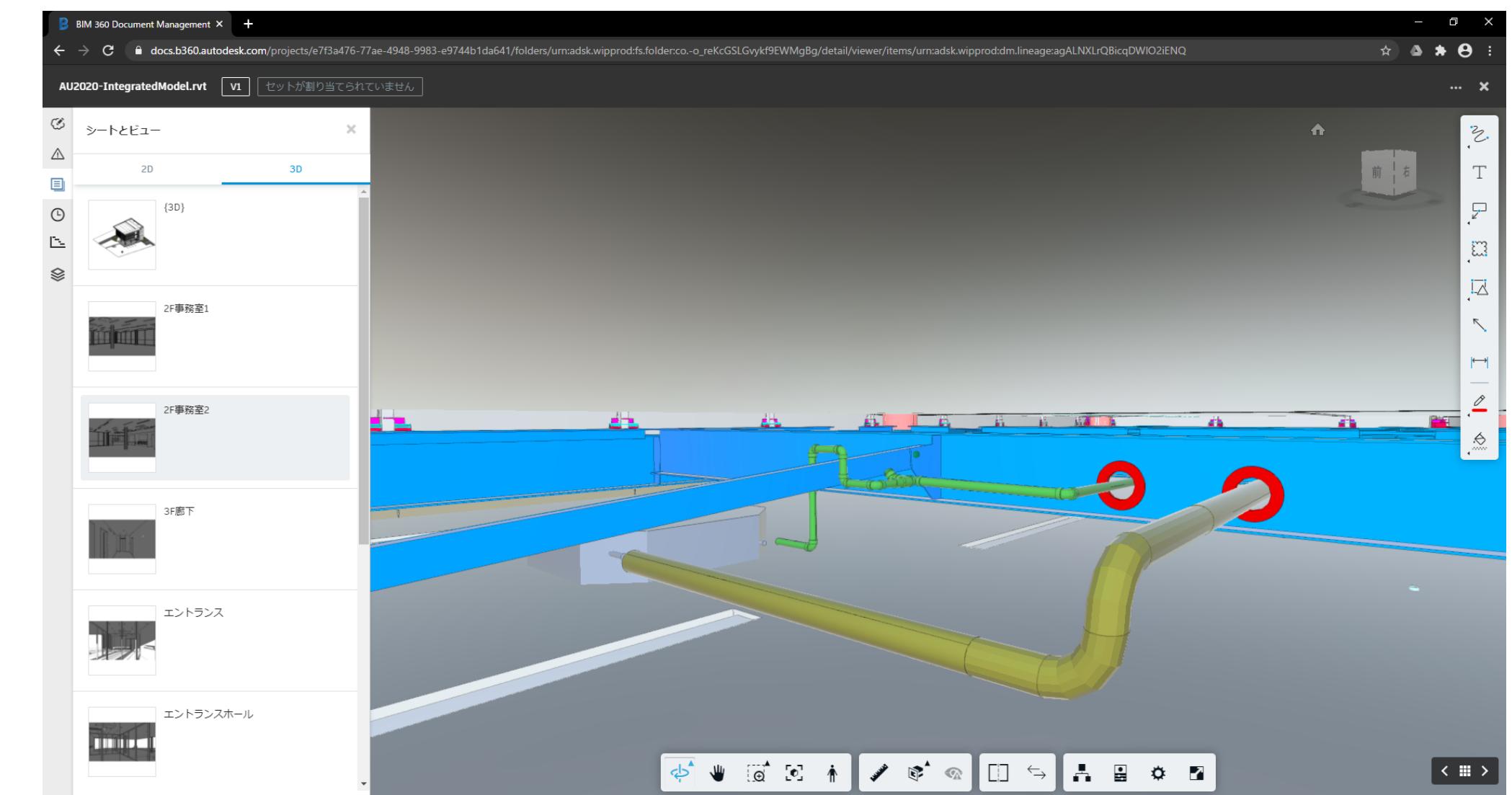
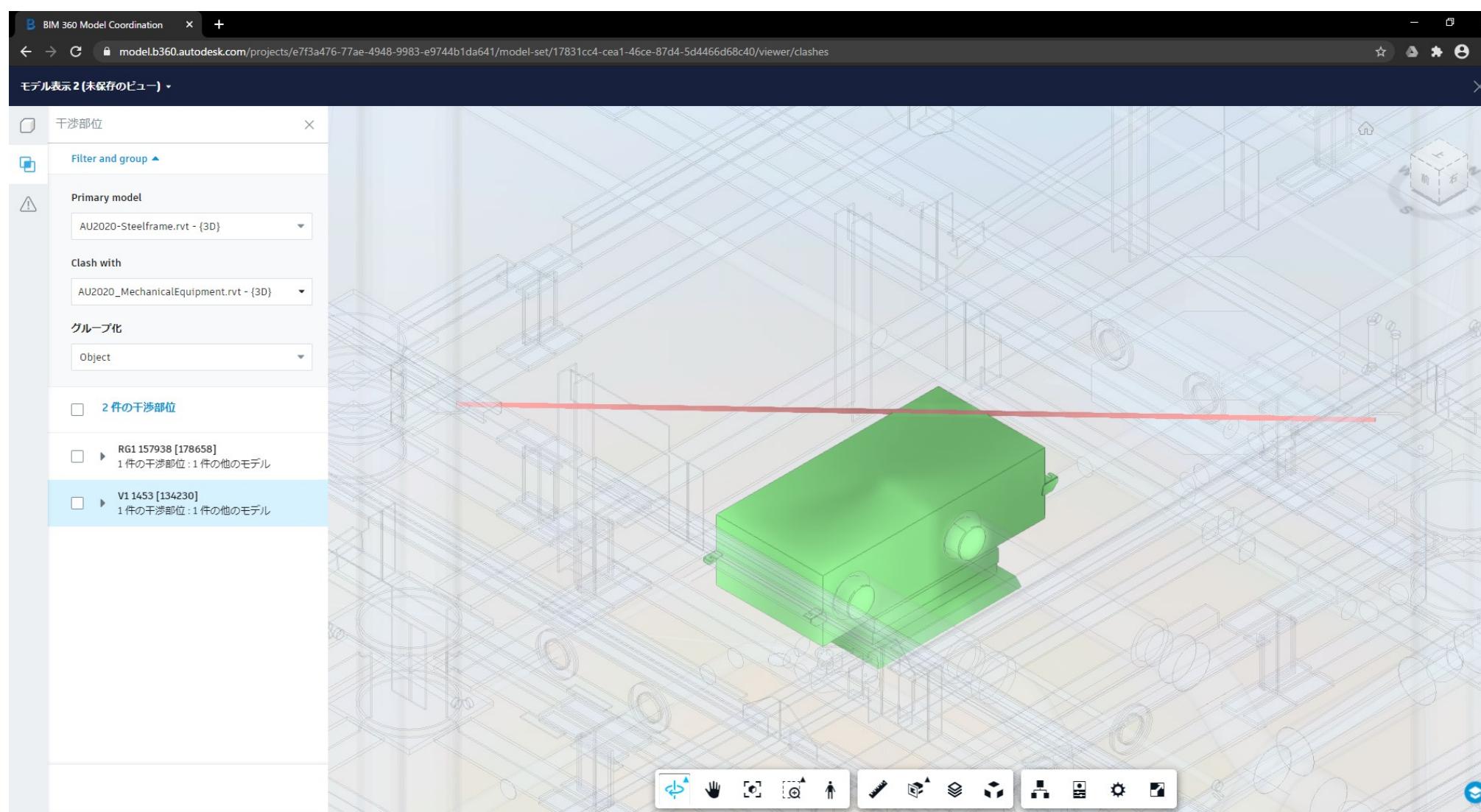
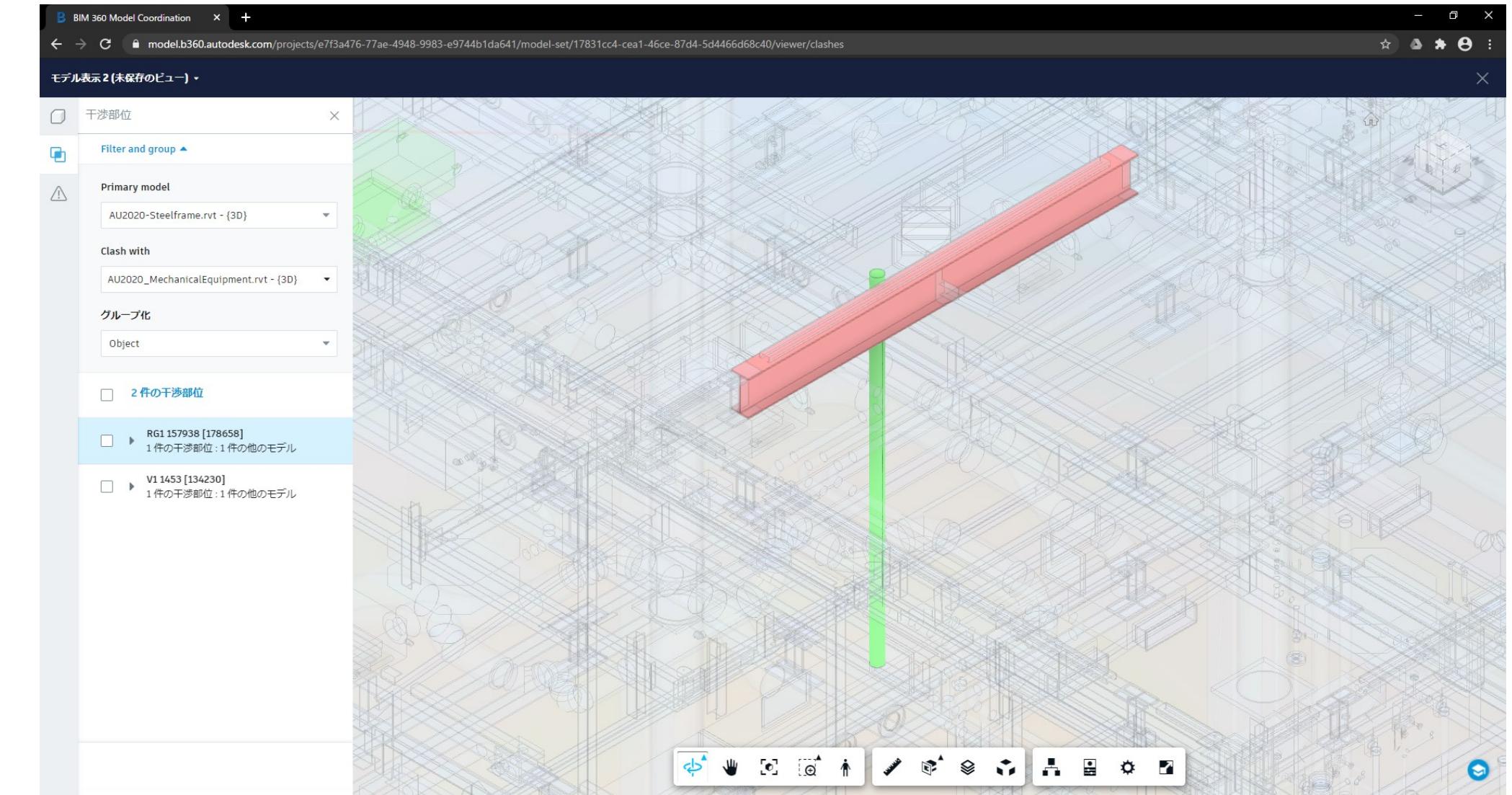
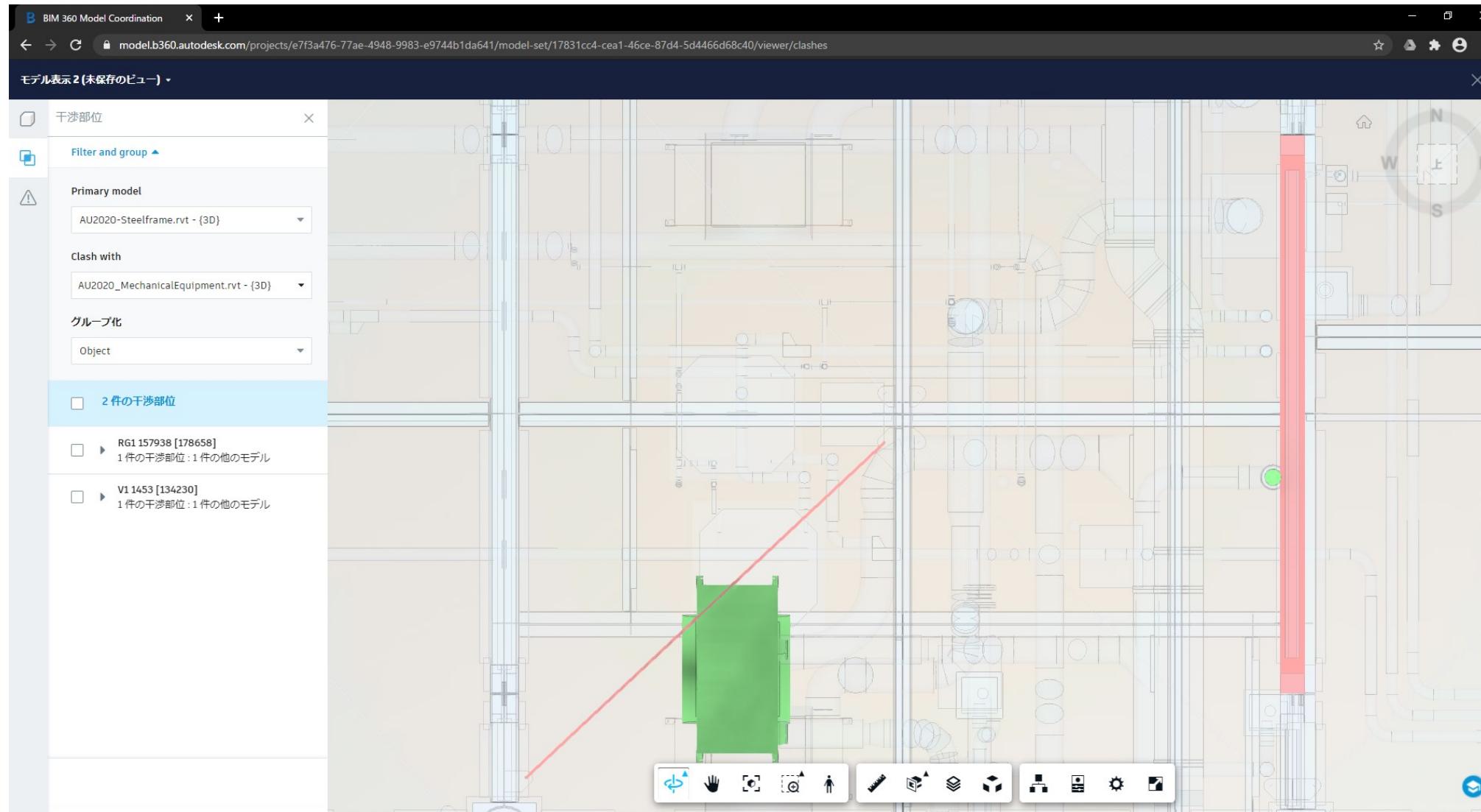
The main area displays a 3D interference matrix grid. The columns represent different models: AU2020-Architecture.rvt - {3D}, AU2020-Electricity.rvt - {3D}, AU2020-Elevator.rvt - {3D}, AU2020-Site.rvt - {3D}, AU2020-Steelframe.rvt - {3D}, AU2020_CurtainWall.rvt - {3D}, and AU2020_MechanicalEquipment.rvt - {3D}. The rows also represent these same models. Each cell in the grid contains numerical values representing the count of interference groups between specific model components. A blue dashed rectangle highlights a specific cell in the intersection of AU2020_Electricity.rvt and AU2020_Elevator.rvt, which contains the value '8'.

		AU2020-Architecture.rvt - {3D}	AU2020-Electricity.rvt - {3D}	AU2020-Elevator.rvt - {3D}	AU2020-Site.rvt - {3D}	AU2020-Steelframe.rvt - {3D}	AU2020_CurtainWall.rvt - {3D}	AU2020_MechanicalEquipment.rvt - {3D}
AU2020-Architecture.rvt - {3D}	862 個の干渉部位グループ	51	20	3	249	500	155	
AU2020-Electricity.rvt - {3D}	218 個の干渉部位グループ	208		4			16	
AU2020-Elevator.rvt - {3D}	1 個の干渉部位グループ	1			1			
AU2020-Site.rvt - {3D}	5 個の干渉部位グループ	1	1		1	1	3	
AU2020-Steelframe.rvt - {3D}	527 個の干渉部位グループ	505		8	3	44	2	
AU2020_CurtainWall.rvt - {3D}	960 個の干渉部位グループ	879		1	139			
AU2020_MechanicalEquipment.rvt - {3D}	568 個の干渉部位グループ	533	26	30	2			

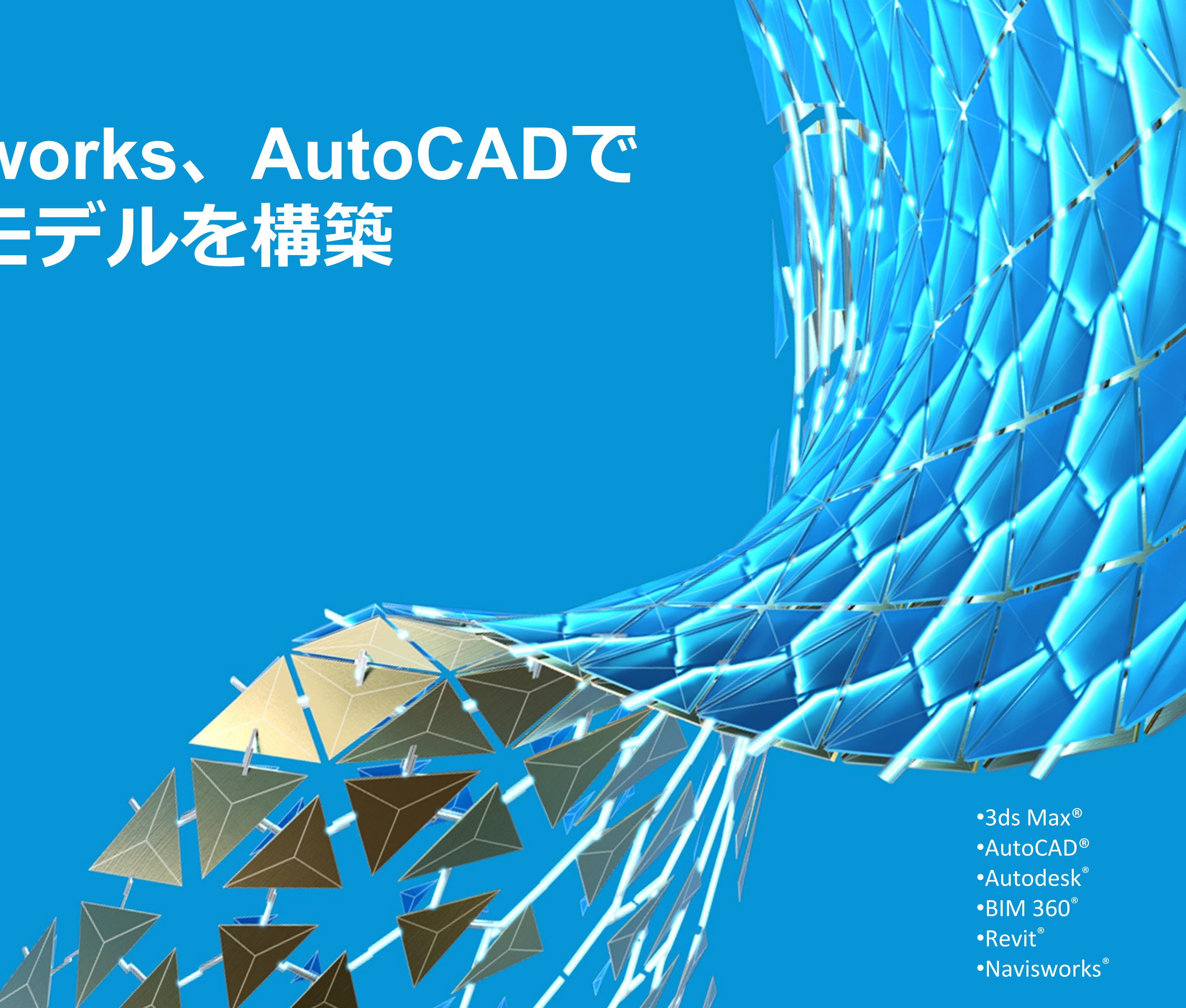
BIM 360® Design Coordination



BIM 360® Design Coordination

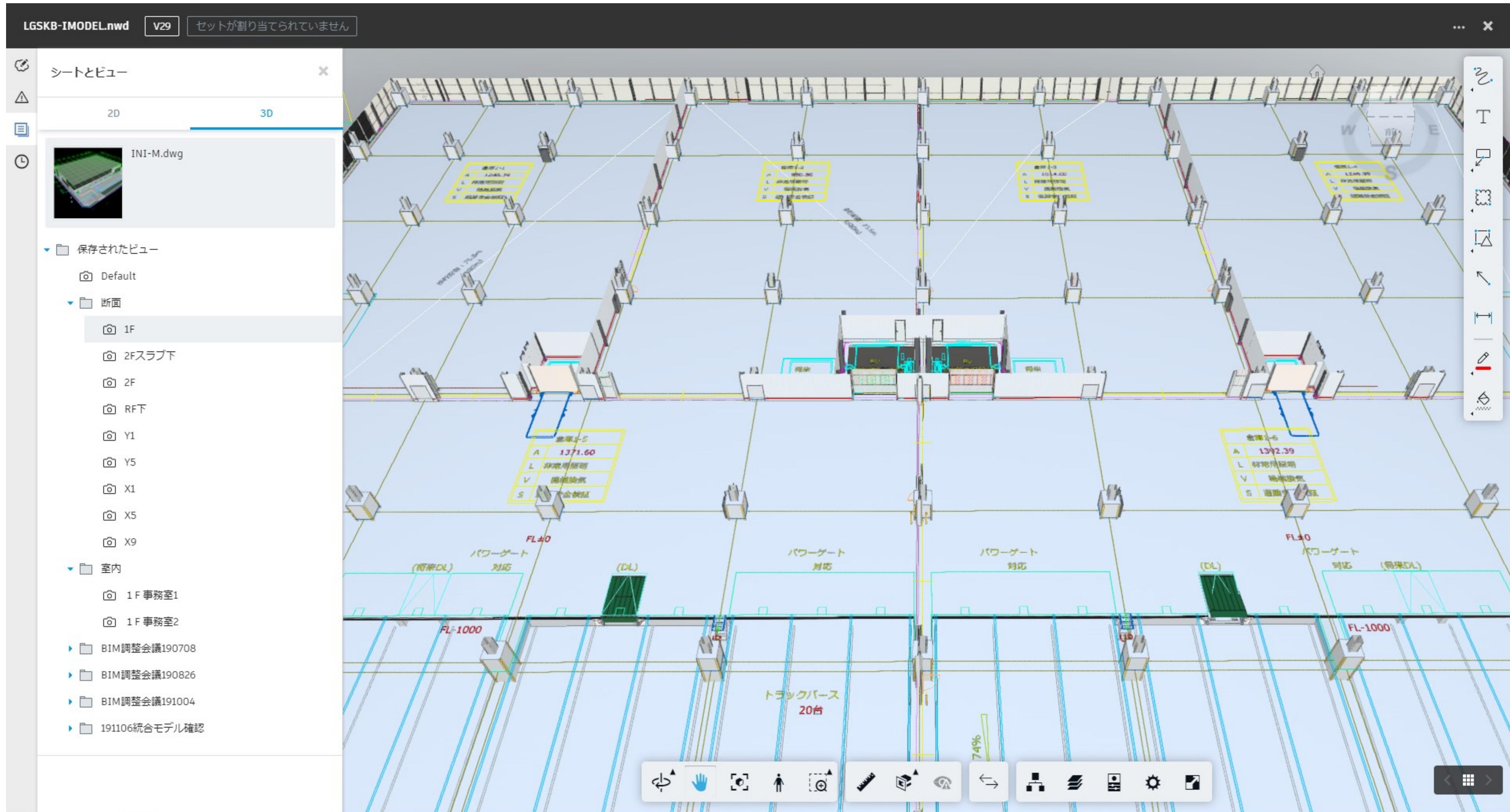


Revit、Navisworks、AutoCADで リッチな統合モデルを構築

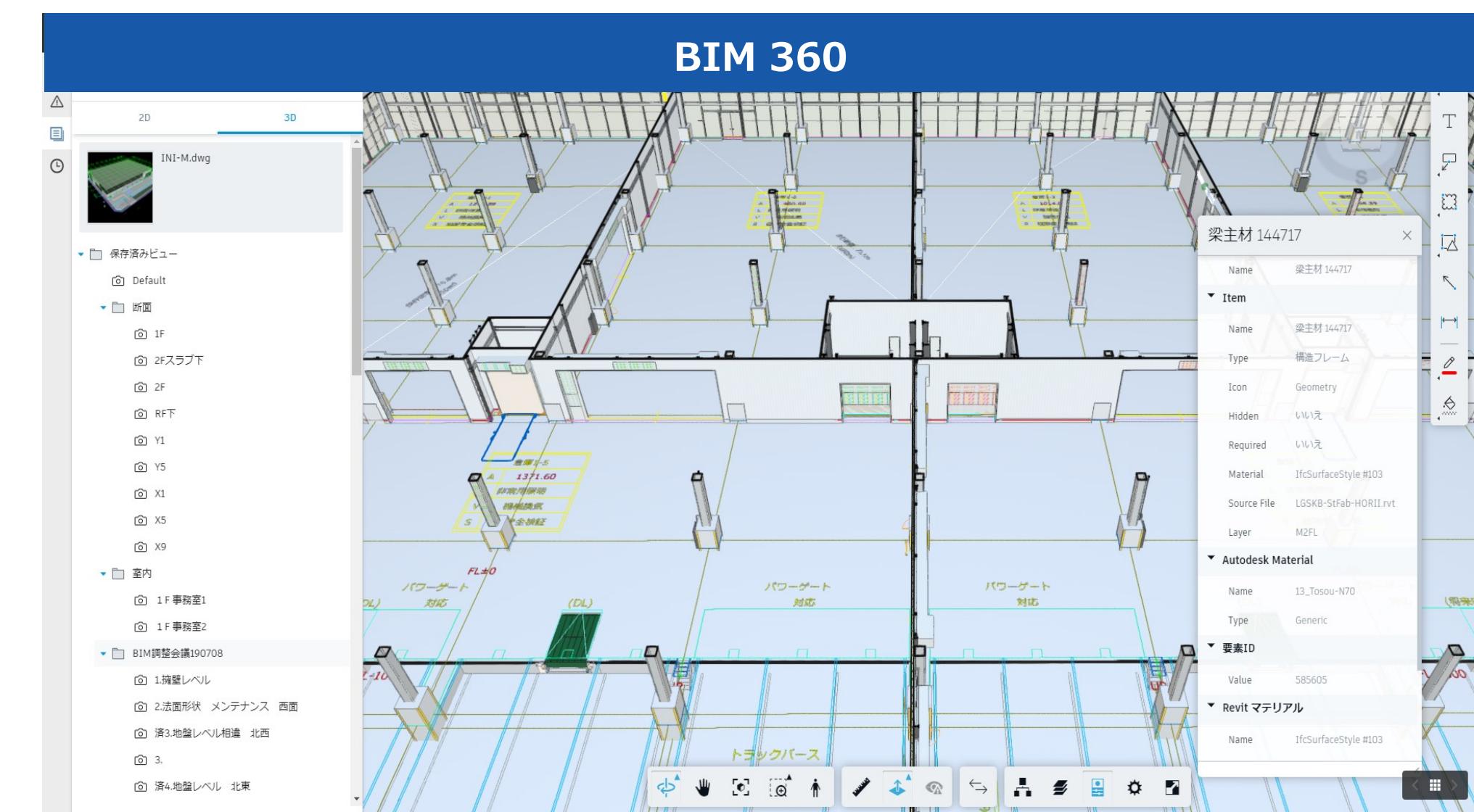
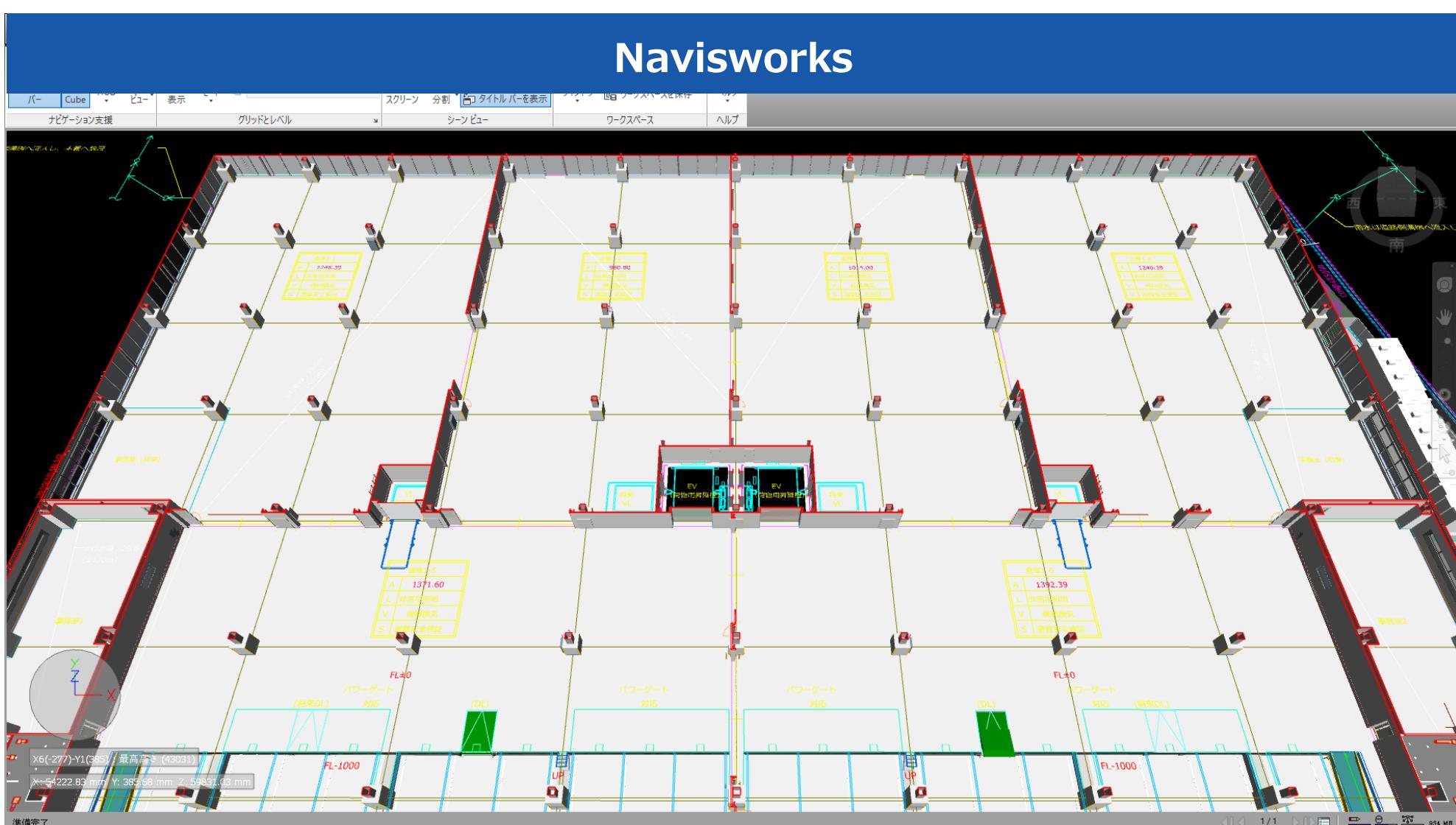
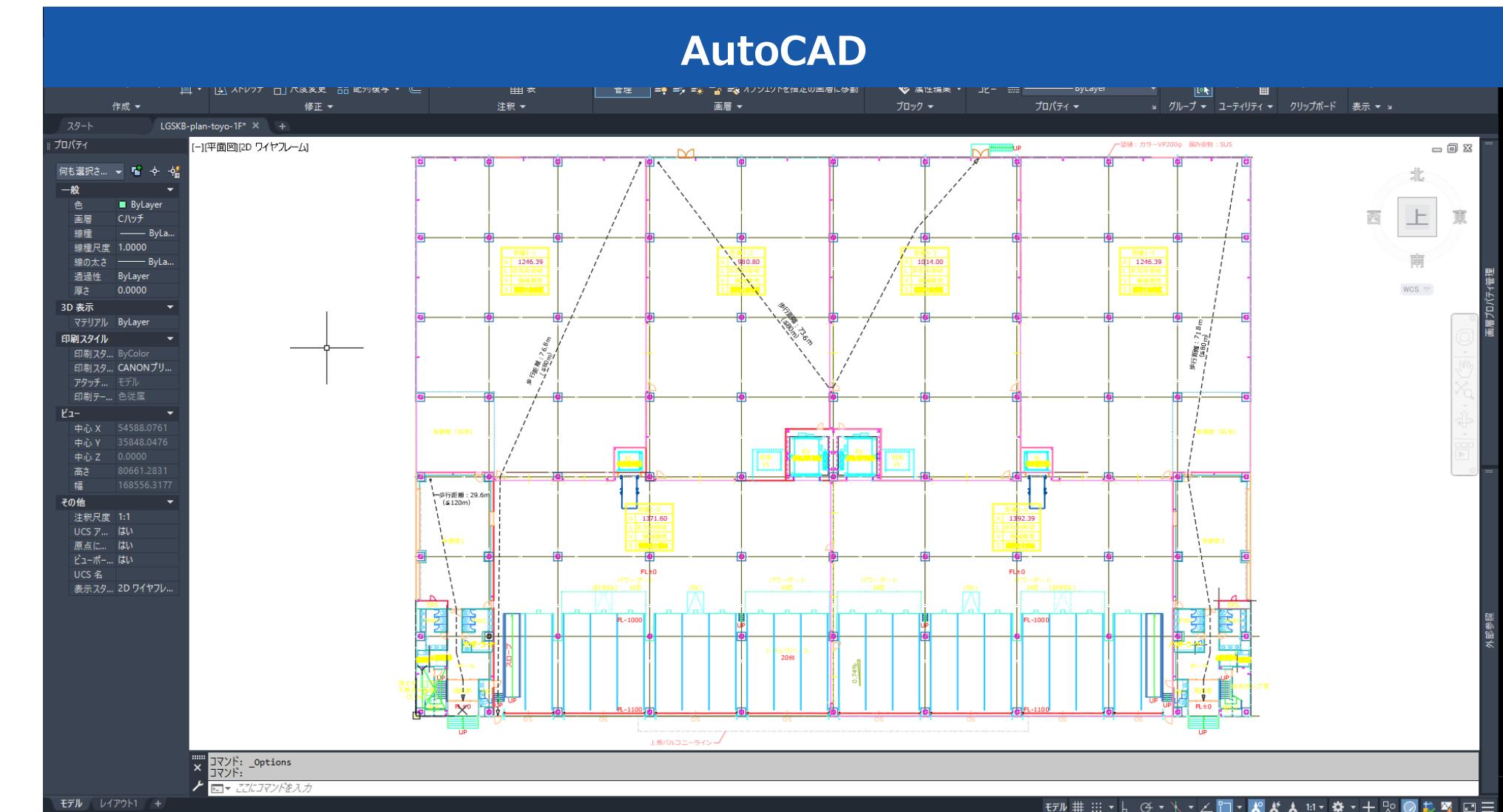
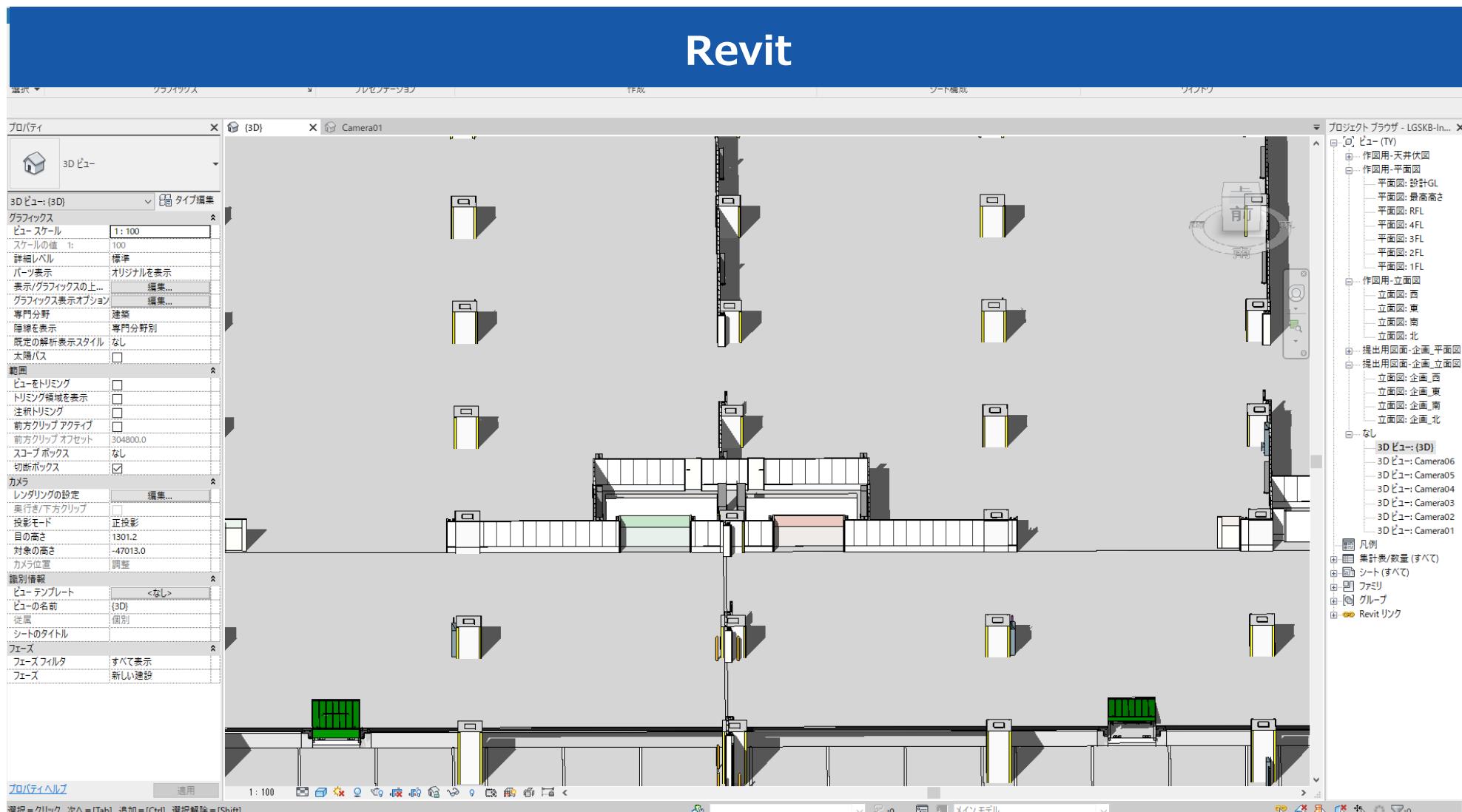


- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®

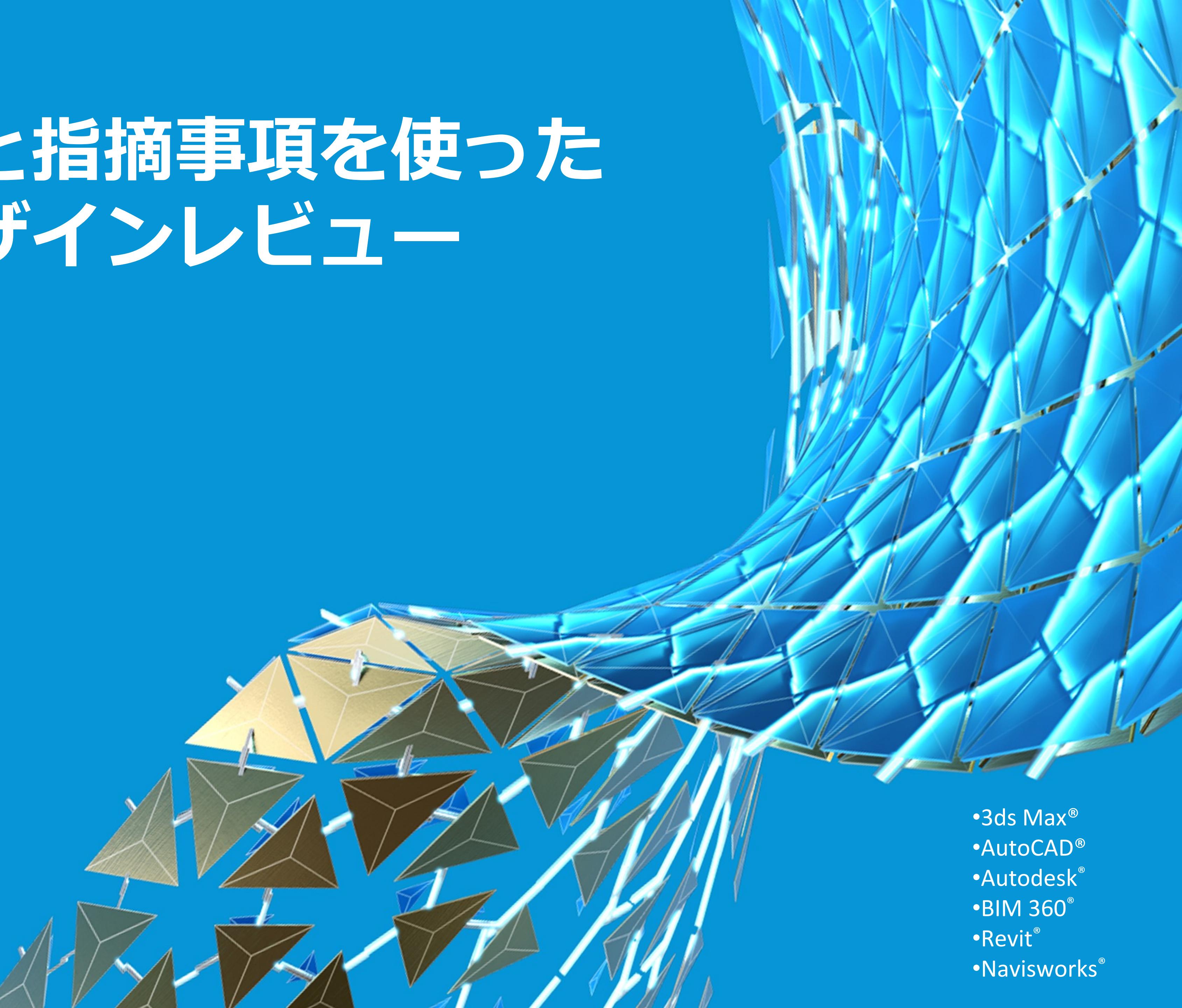
Revit、Navisworks、AutoCADでリッチな統合モデルを構築



Revit、Navisworks、AutoCADでリッチな統合モデルを構築



マークアップと指摘事項を使った シンプルなデザインレビュー



- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®

マークアップと指摘事項を使ったシンプルなデザインレビュー

The screenshot shows a 'Document Management' application interface. The top navigation bar includes tabs for 'フォルダ' (Folder), 'レビュー' (Review), '転送パッケージ' (Transfer Package), and '指摘事項' (Annotations). The 'Annotations' tab is currently selected.

The left sidebar displays a hierarchical file structure under the '設計図' (Design Drawing) folder:

- 00_IDR・DR・設計検証
 - 01_IDR
 - 02_設計検証-1
 - 03_DR-2
 - 04_設計検証-2
 - 05_DR3
- 01_最新図
- 02_契約図
- 03_確認申請図書

The main content area lists five files with their details and annotations:

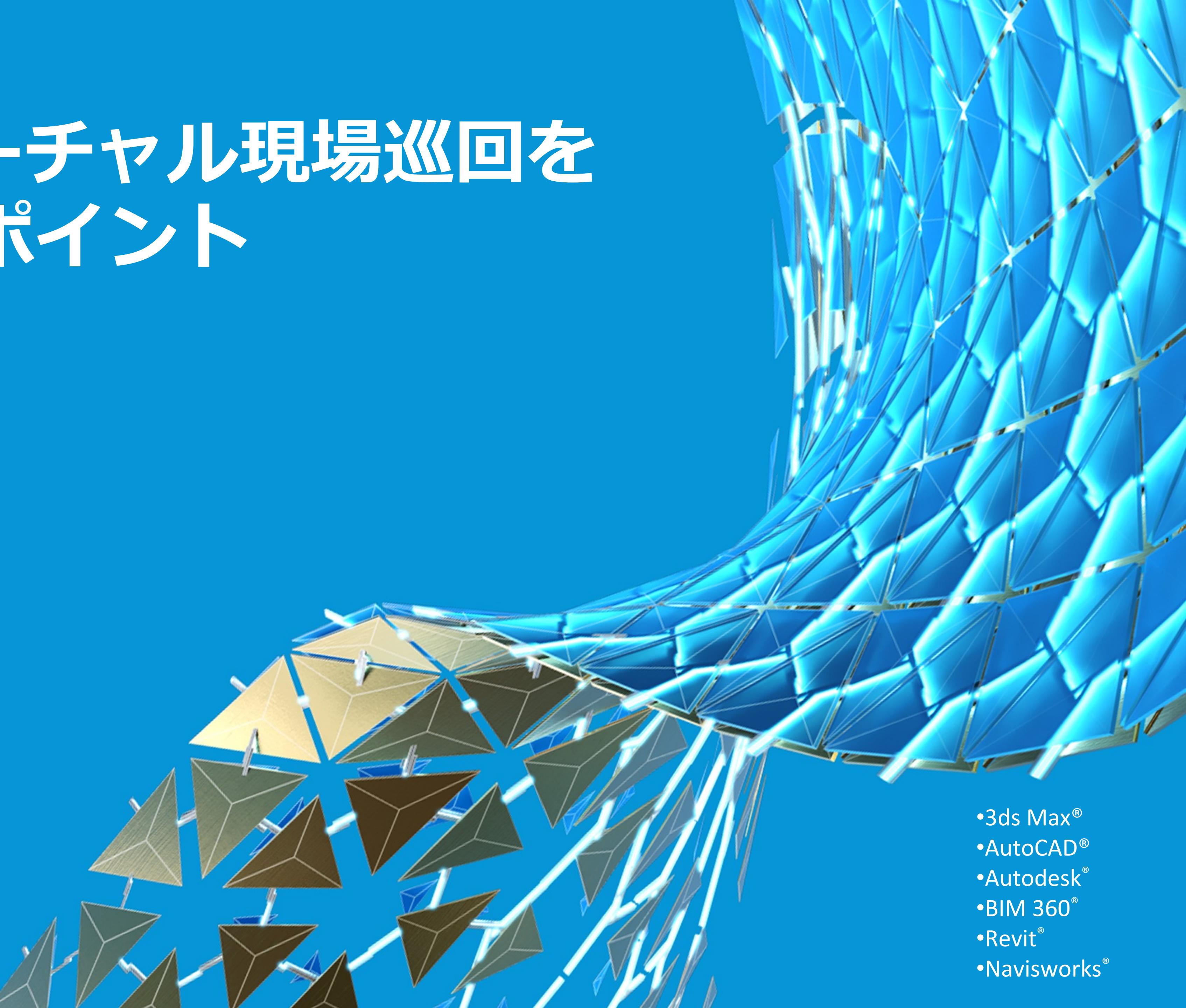
名前	タイトル	セット	バージョン	更新者	マークアップ	指摘事項	場所	承認ステータス	ファイル名	番号
01	概要書・面積表		V1		2	0	0	0	01 概要書.pdf	01
02	配置・1階平面図		V1		11	0	0	0	02 配置図.pdf	02
03	2~4階平面図		V1		10	0	0	0	03 平面図.pdf	03
04	立面・断面図		V1		10	0	0	0	04 立面・断面図.pdf	04
05	所要室面積		V1		1	0	0	0	05 所要室面積.pdf	05

A blue circular icon with a checkmark is located in the bottom right corner of the main content area.

マークアップと指摘事項を使ったシンプルなデザインレビュー

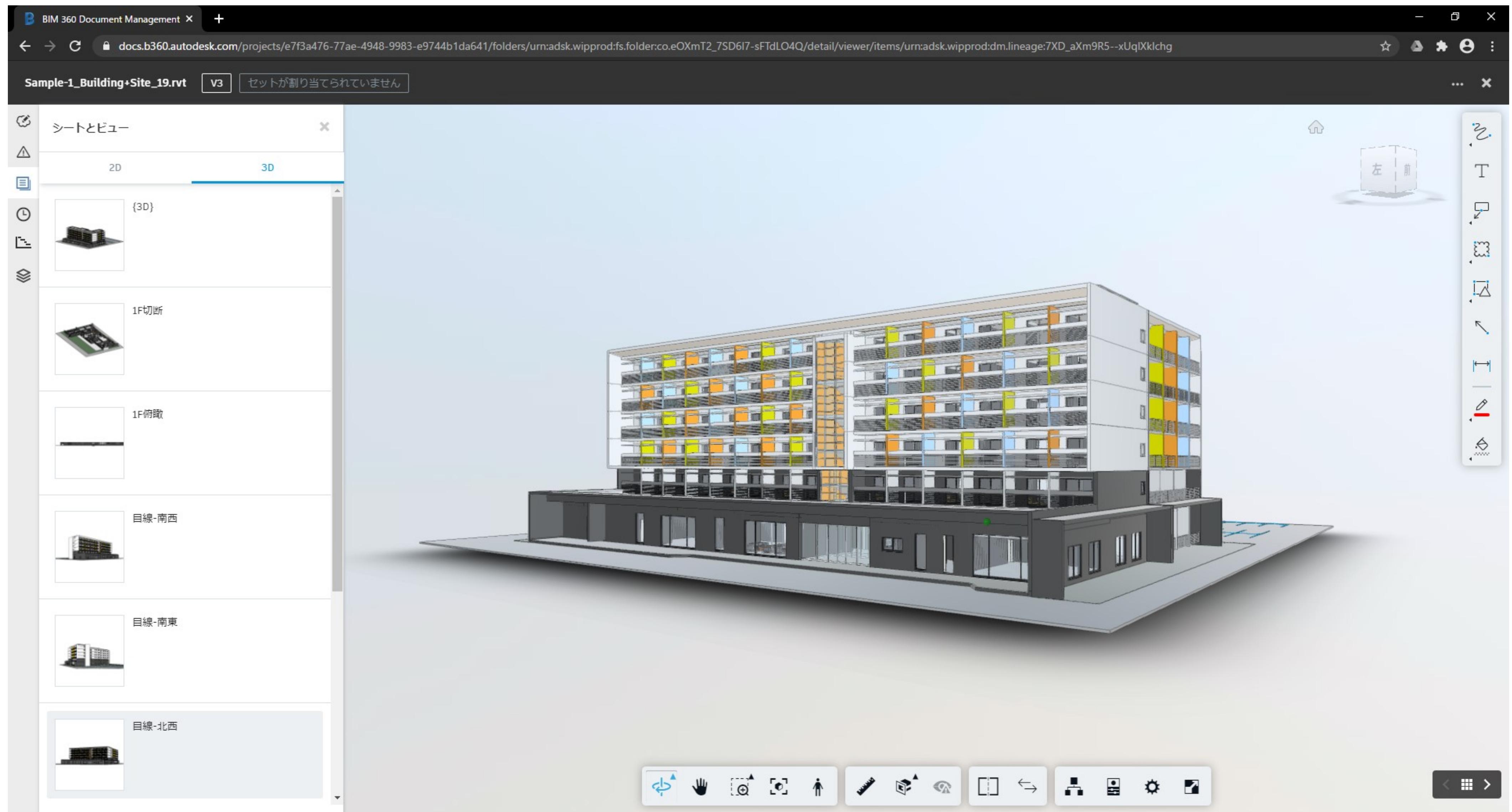


BIMモデルバーチャル現場巡回を 効果的に行うポイント

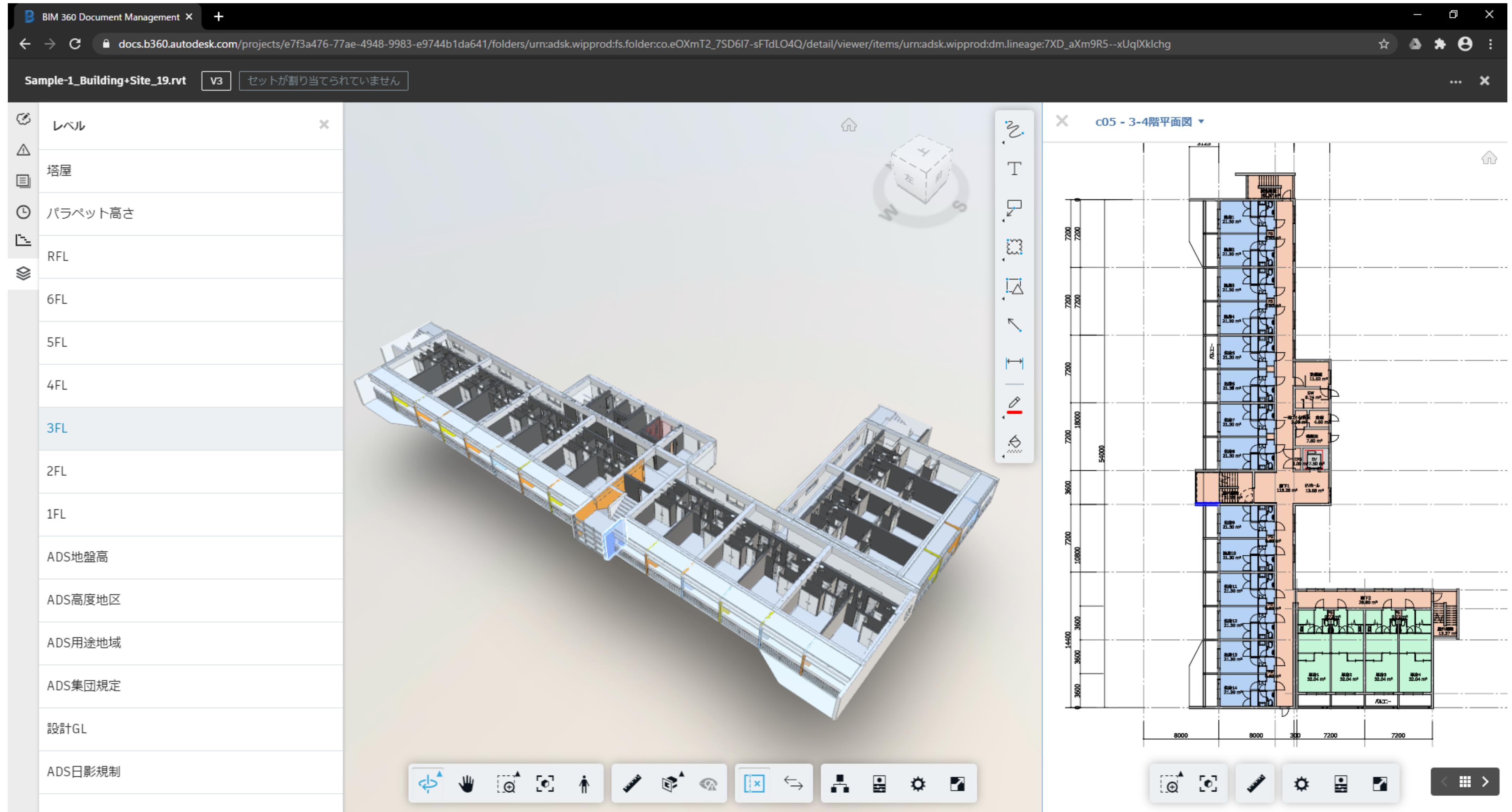


- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®

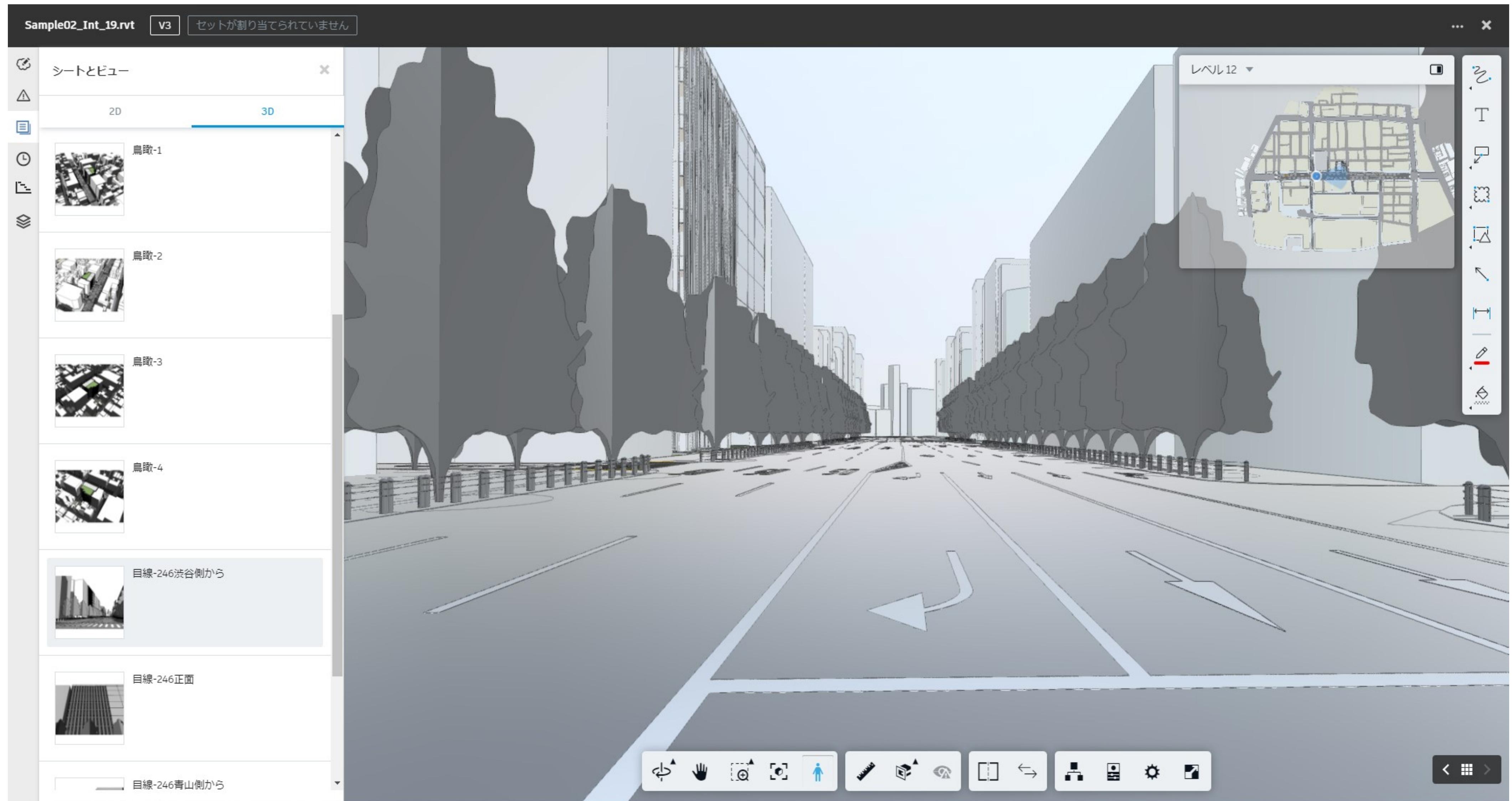
BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



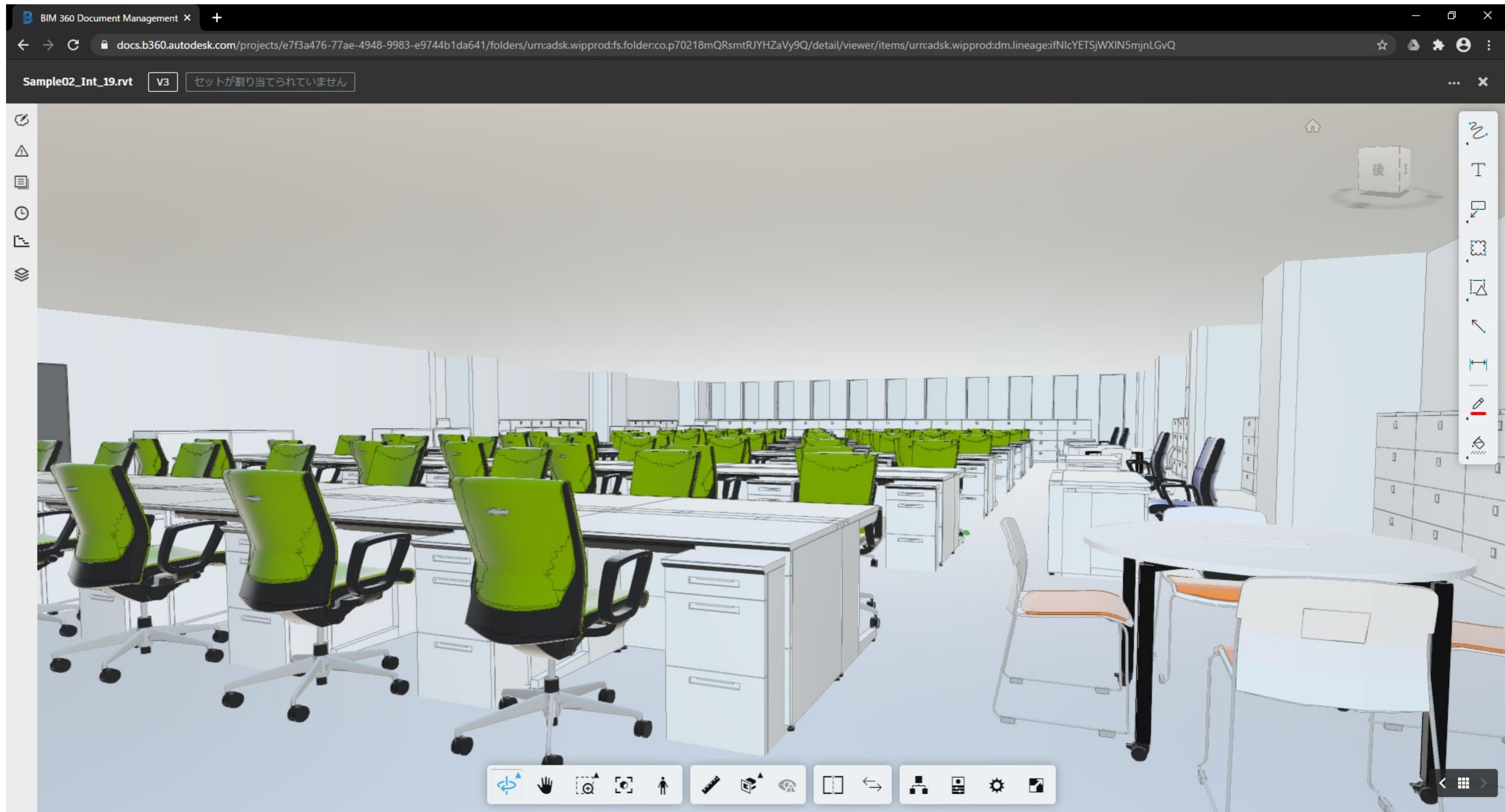
BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



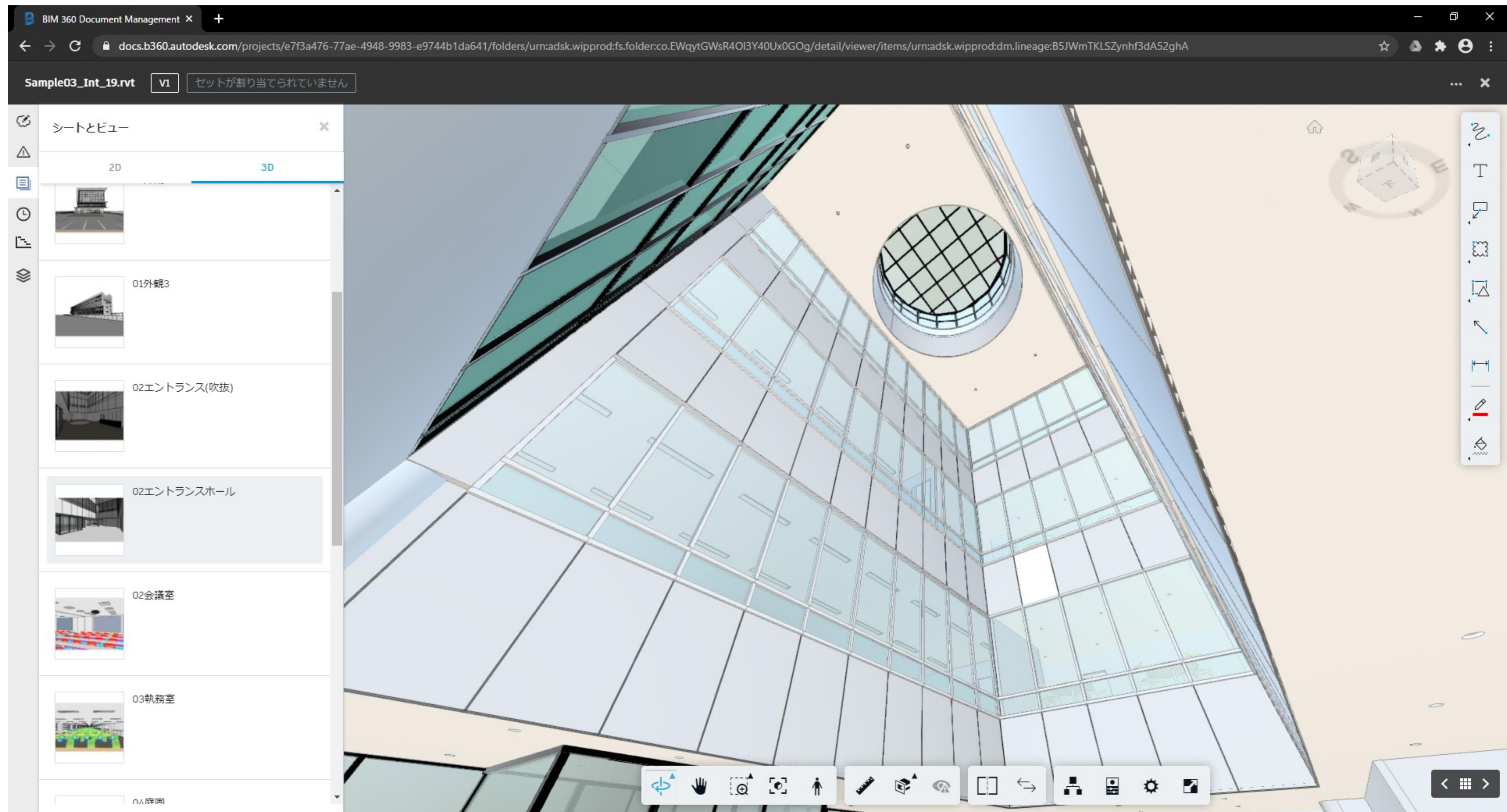
BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



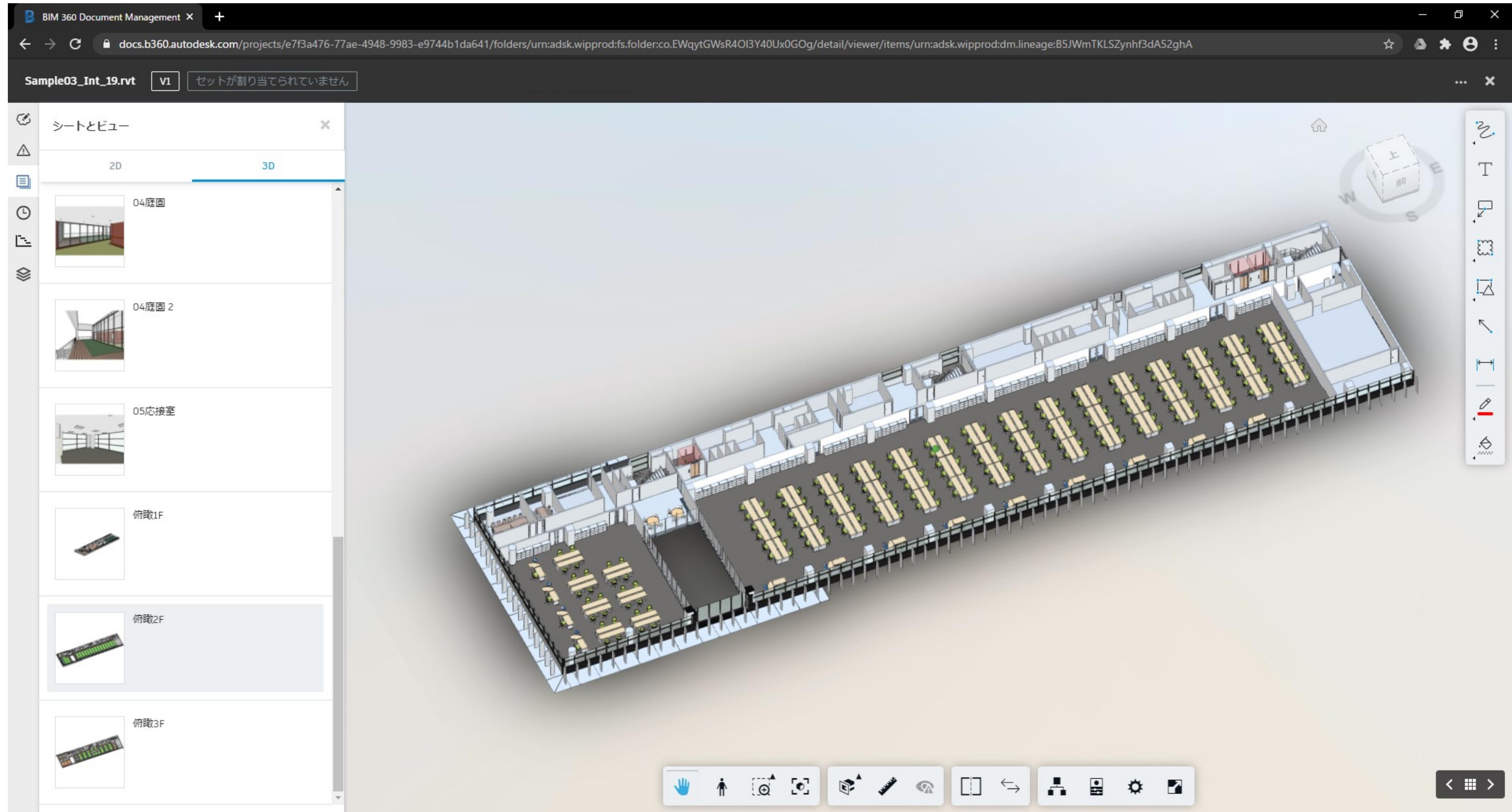
BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



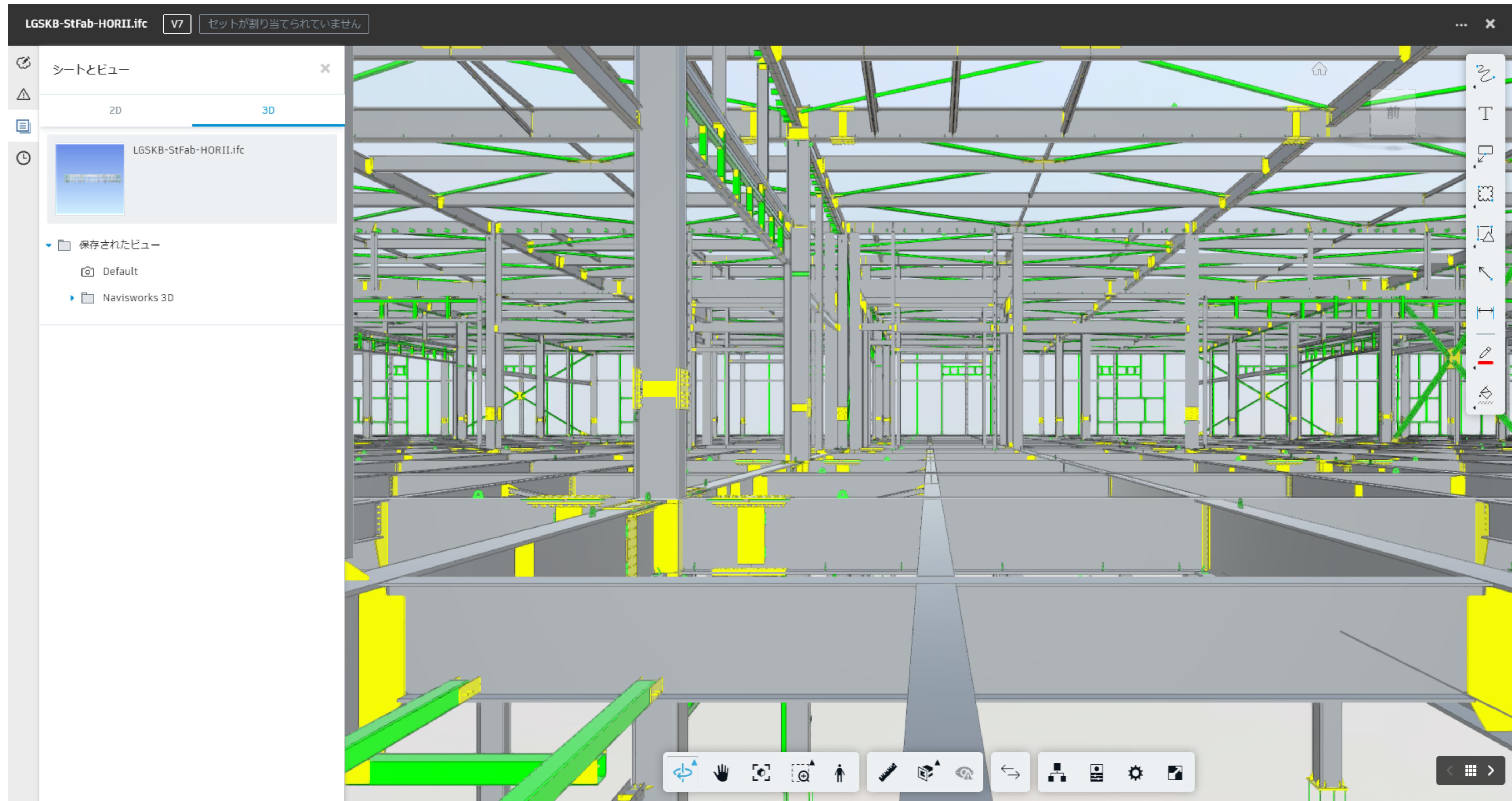
BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



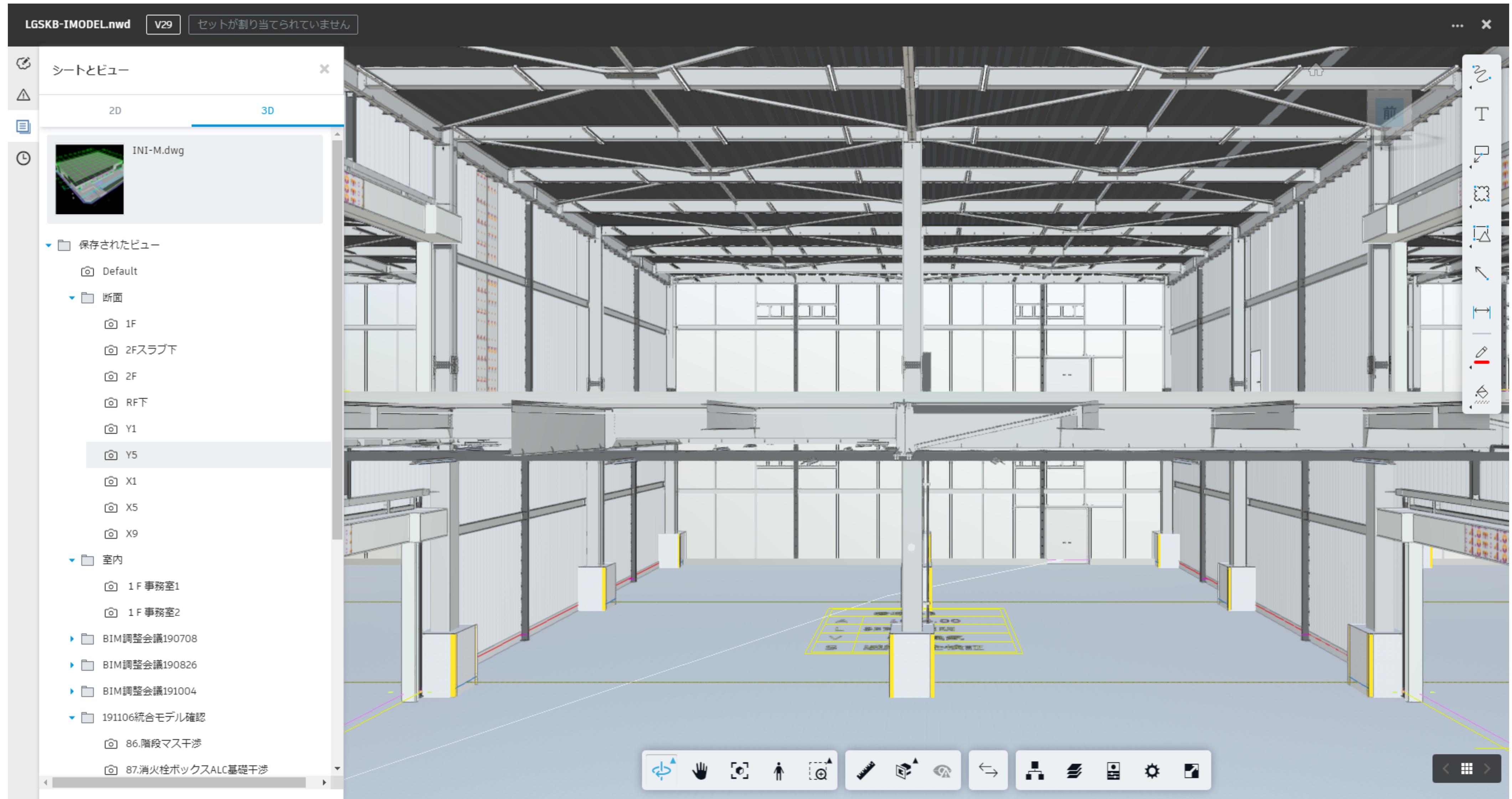
BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



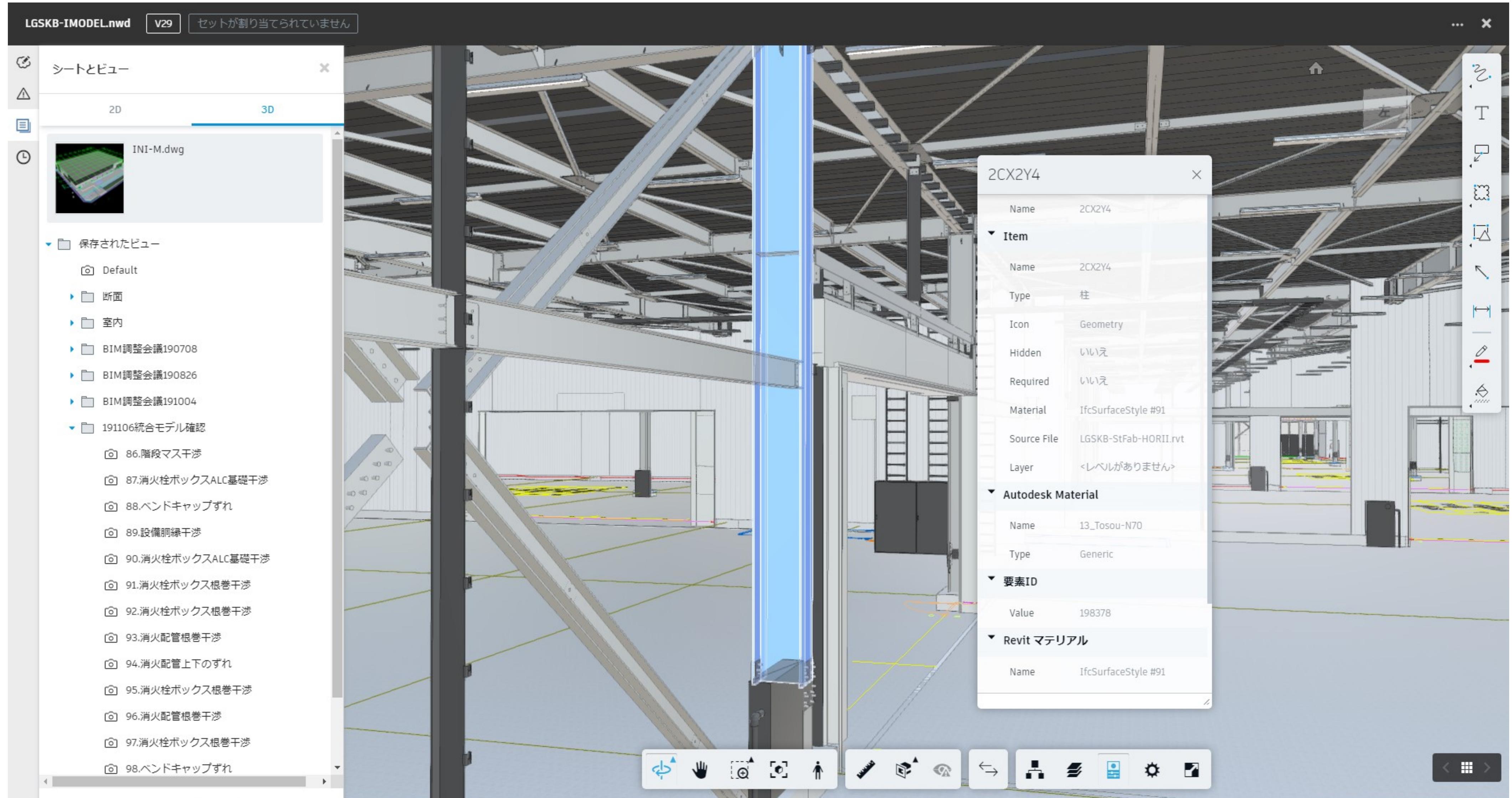
BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



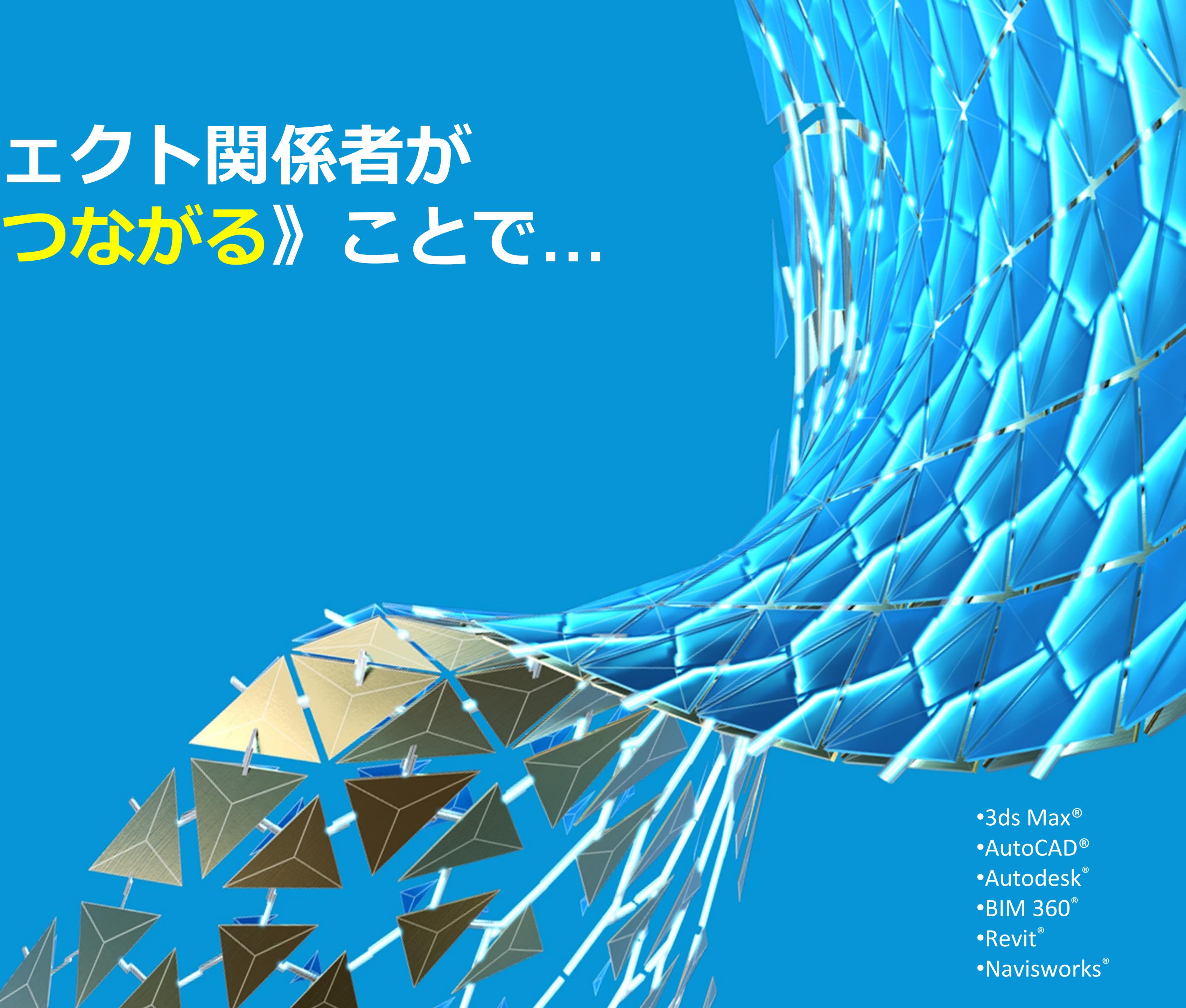
BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



BIMモデルバーチャル検証・現場巡回を効果的に行うポイント



すべてのプロジェクト関係者が
ボーダレスに《つながる》ことで...



- 3ds Max®
- AutoCAD®
- Autodesk®
- BIM 360®
- Revit®
- Navisworks®

「BIM 360」ですべてのプロジェクト関係者がボーダレスに《つながる》

- ・エビデンスに裏付けされたプランニング
- ・重複入力解消による工数削減と整合性の確保
- ・設計変更から施工図修正完了までに要する時間を短縮
- ・干渉チェックを自動化とセルフチェックによる干渉削減

アジャイルスクラム思考

「モデル化→統合→チェック→調整」を状況に応じ迅速に修正しながら、柔軟に作図・修正作業を実行し干渉解消を目指す

設計施工プロセスにおけるリードタイムを短縮！

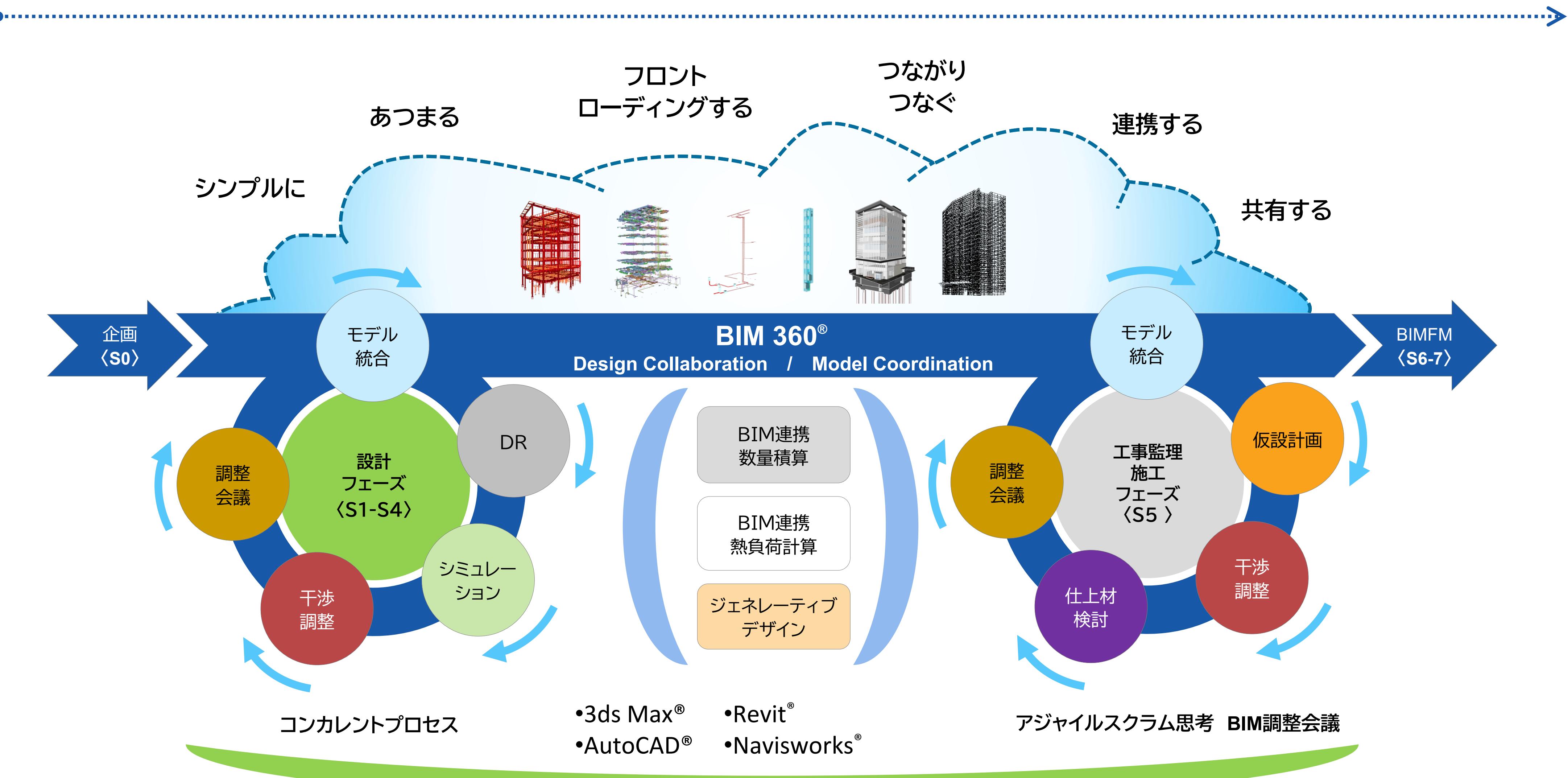
“単なる手待ち・やり直し”をなくす

プロジェクト情報に“より短い時間”でアクセスし
対応を完了することで

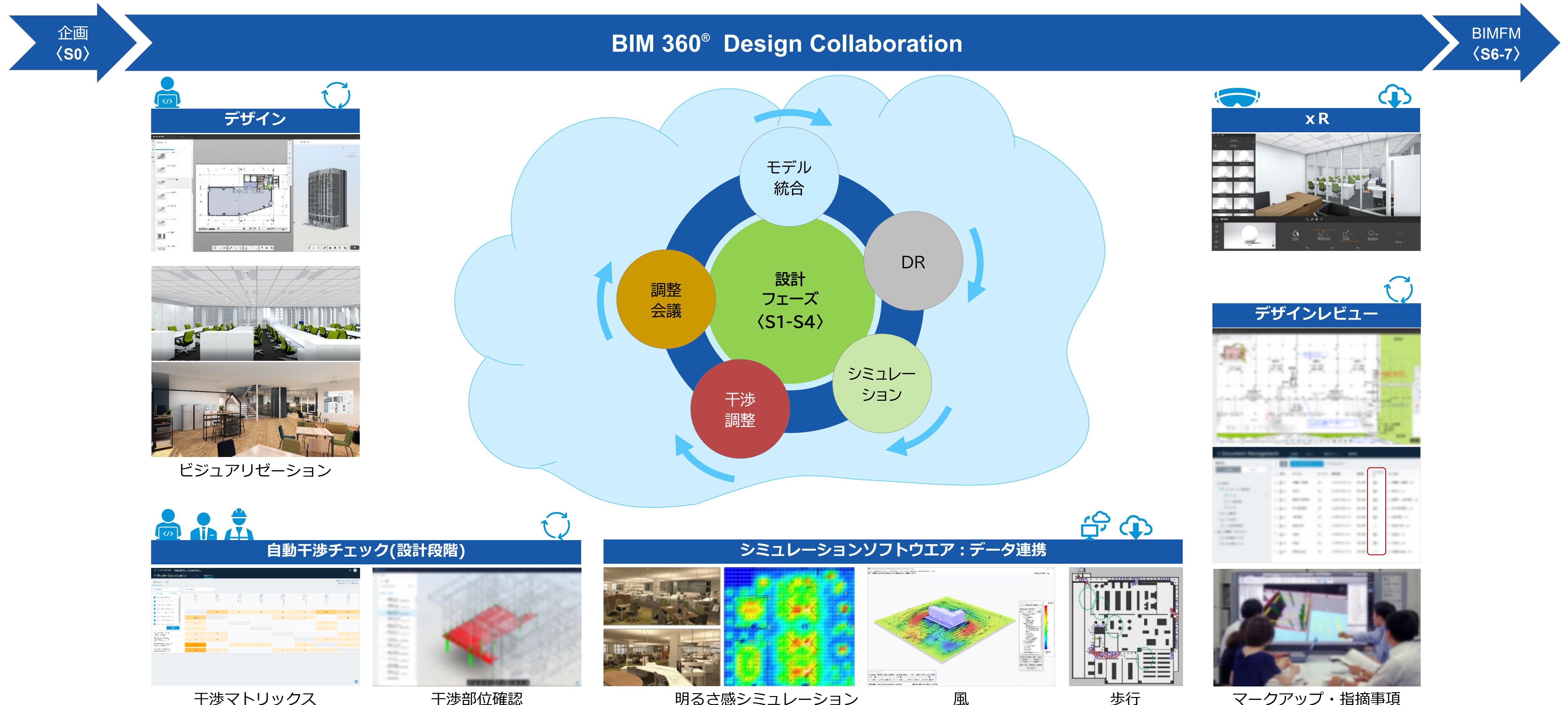
BIM 360[®] = low latency

ジャスト イン タイムで
次工程の作業工程を妨げない

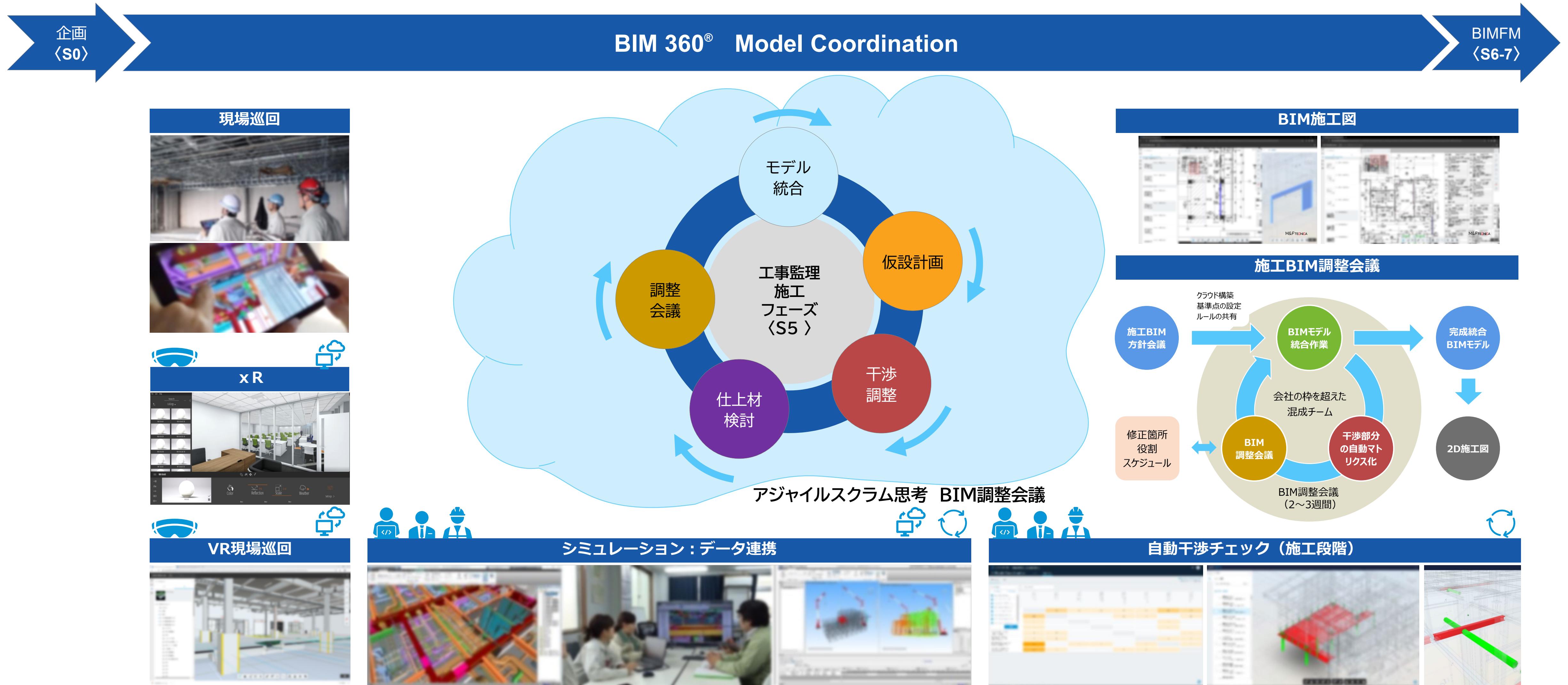
設計施工BIMプロセスに欠かせなくなつた「BIM 360」によるBIMモデル連携



Revitモデルを中心とした専門ソフトとのデータ連携



Revitモデルを中心とした専門ソフトとのデータ連携



設計施工BIMプロセスに欠かせなくなつた BIM 360によるBIMモデル連携

BIM 360 のより詳細な情報は、以下のアドレスから確認できます。

コラボレーションツール BIM 360 活用オンラインセミナー
オートデスク株式会社 技術営業本部 2020.04.17

http://bim-design.com/file/20200417_BIM360_Online_Seminar.pdf



Autodesk およびオートデスクのロゴは、米国およびその他の国々における Autodesk, Inc. およびその子会社または関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品およびサービスの提供、機能および価格を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。
© 2020 Autodesk. All rights reserved.

